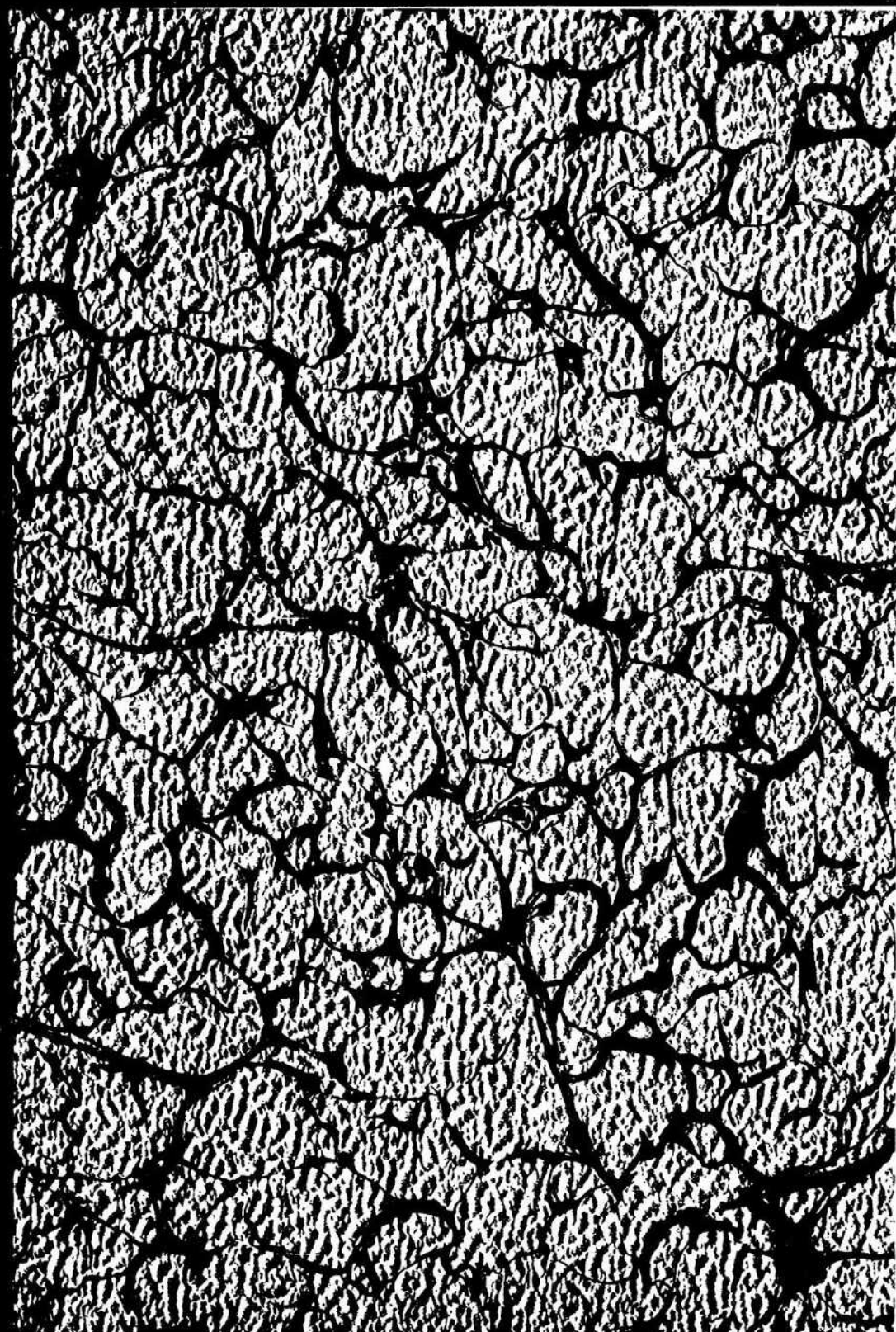
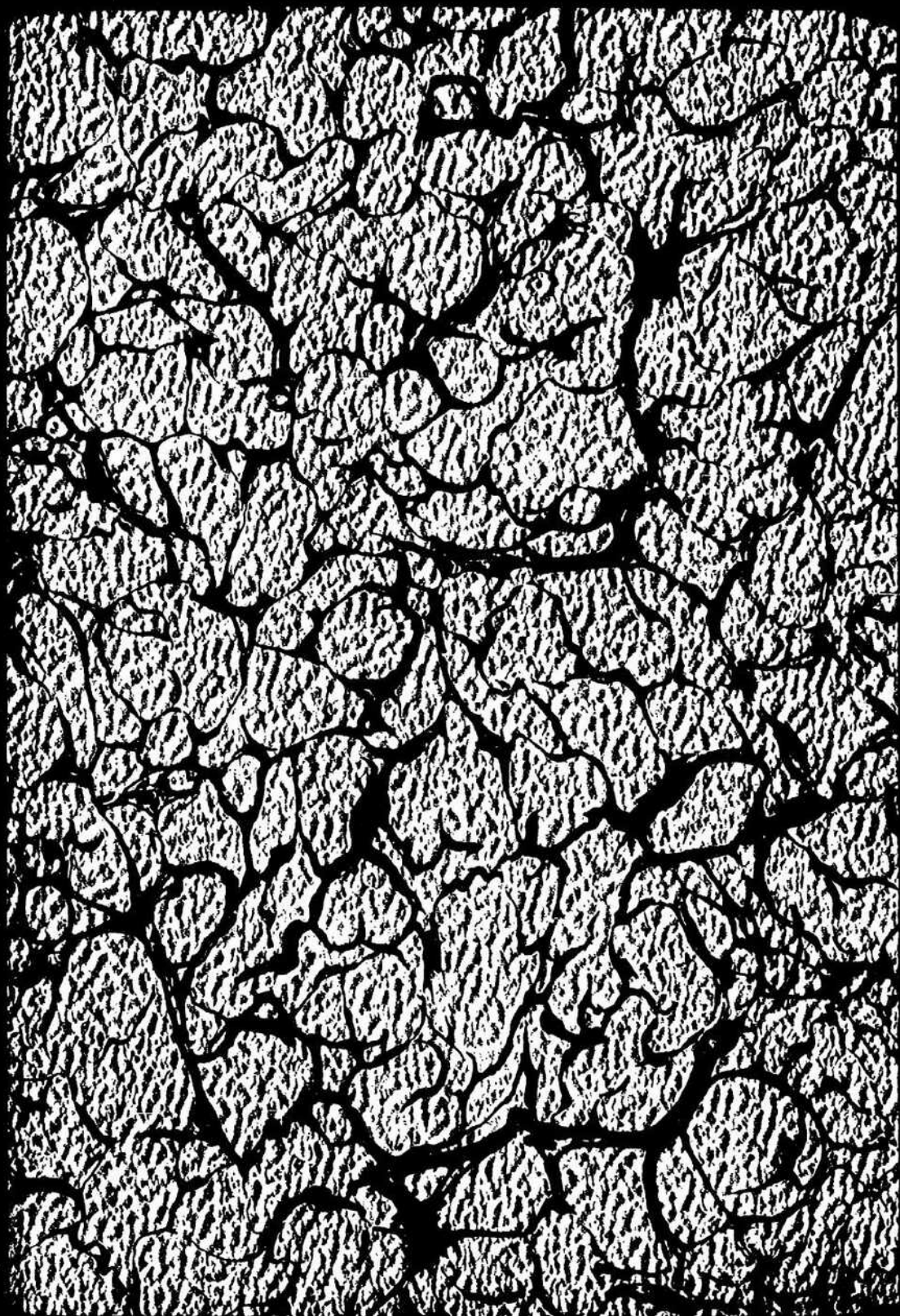


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	(返) (赤)
配架番号	3 A
	14
	44-3

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	①
配架番号	3 5
	14
	44-3



第 79 號
查 原 簿
新 樣 式 輕 機 關 銃

秘

試驗原簿記載事項

- 一、試驗目的
- 二、試驗官
- 三、試驗開始及終了年月日
- 四、試驗ノ實施

1. 準備
2. 實施
3. 成績

- イ 曆日、試驗日次、天候要スレハ氣象
- ロ 開始及終了時刻及主要事項ノ時刻
- ハ 所要人員及其配當
- ニ 試驗成績ニ現ハレタル數量現象狀態
- ホ 射撃ハ每發所要ノ記入ヲナス其事項ハ試驗ノ目的種類ヨリ左ノ諸項ヨリ取捨ス

4. 記錄項目

時刻、射順、彈番、彈種、彈量、裝藥、種類及量(要スレハ点火藥量)射角、信管、分画、後坐長、後復坐、時間、初速、落高、假速、失腔、壓風向、風速、氣壓、溫度、射程、偏流等、尚摘要トシテ各射彈ニ應スル所見及所置等要スレハ初速腔壓、射程、偏流等、公算、躲避

五、試驗結果ノ總括所見所感判決及將來ノ處置

摘 要	頁 數	摘 要	頁 數	摘 要	頁 數	摘 要	頁 數
試製輕機関銃第三回第一次試験	1						
同 第三回第二次試験	47						
同 實用試験委託要領	137						
同 審査報告	137						
A号輕機関銃命中精度探究試験	141						
B号輕機関銃反動測定試験	142						
試製輕機関銃第四回試験 (多崎兵學校へ連合)	147						
A号輕機関銃命中試験	167						
同 寒気機能試験	171						
同 第五回命中試験	173						

第三回試製輕機関銃

昭和九年十一月

第一次現品持込納入

11月15日 A銃(南部銃製) 3挺 (No. 1, 2, 3)

16日機能試験、命中試験、結果若干不具合あり、後又

28日再納入

11月28日 B銃(連発廠製) 3挺 (No. 1, 2, 3)

昭和九年十一月
試製輕機関銃第三回第一次試験要領

陸技壹銃要第二〇號

昭和九年十一月
陸軍技術本部第一部

回次	報告年月	報告番號
一	昭和八、一。	陸技壹銃報第六號
二	全九、一	陸技壹銃報第九號

試製輕機関銃第三回第一次試験要領

第一 試験ノ目的

第二回試験ノ結果ニ基キ試製セル輕機関銃ノ一部今般竣工セルヲ以テ機能命中速率等ノ試験ヲ実施シ其ノ性能ヲ檢シ北滿ニ於ケル冬季試験ヲ準備セントス

第二 供試兵器及彈藥

試製輕機関銃(南部銃製作所製品)Aト稱ス

全 (東京兵器製造所製品)Bト稱ス

三八式銃実包 二〇〇〇

被甲実包 一〇〇〇

第三 試験ノ方法

第一次試験ニ於テハ主トシテ左記事項ニ就キ実施ス

一 機能

ニ 命中精度

三 速率

第一次試験ハ左記要領ニ依リ実施ス

一 基礎的審査

構造機能ノ調査

分解結合並取扱法ノ研究

諸元調査

二 実射ニ依ル審査

射撃機能

一回ノ発射弾数ヲ一五。發及三。發ノ真射トシ銃ノ

冷却ヲ待テ之ヲ復行シ約一。發ニ達セハ分解手入

ヲナシ各銃三。發ニ達スル迄射撃ヲ実施ス

氣温零下三。度乃至四。度ニ於ケル機能ヲ當部耐寒室

内ニ於テ実施ス

本試験間ニ於テ一二回連續五。發ノ真射ヲ実施ス

二 命中試験

試験当初並一。發及三。發々射後ニ於テ三。米ノ單發

命中試験ヲ一。發々射後ニ於テ三。米、六。米、一ニ。米ノ連發

(概テ四五發)ノ命中試験ヲ実施ス

三 検速

試験當初並一。發及三。發々射後ニ於ケル銃口前二十五

米ニ於ケル速率ヲ測定ス

四 部品ノ堅牢性

機能試験間分解手入ノ際各部ノ検査ヲ実施シ各部各部

品衰損損傷ノ景況ヲ檢ス

五 銃加熱並放熱

機能試験間一五。發三。發並五。發々射後ニ於ケル銃身

ノ加熱並放熱ノ景況ヲ檢ス

細部ノ実施豫定附表ノ如シ

本試験ハ昭和九年十一月十三日ヨリ全月二十八日ニ亘リ當部構内、東京兵器製造所構内及陸軍富津射場ニ於テ実施ス

陸軍砲兵大佐	河内權五郎
陸軍歩兵中佐	吉川喜芳

考		日		月	
1 = ハスビシトル					
可ス					
試験ハ前日					
東室内ニ收					
モノトス					
既本五聲典射					
スルモ時=30					
典ヲ混ス					

附表第一

試製輕機関銃審査豫定										
月	日	試験項目		供試銃	一發射弾数	銃 一發射弾数計	場所	備	考	
十一月	15	試験當初	測腔	A B 各 三 挺			東京兵器製造所	照準具ヲ規正ス 連發率=就*実施ス	1. 潤滑油=ハ「スビソドル」油ヲ使用ス 2. -35°試験ハ前日ヨリ冷凍室内ニ收容シ置クモノトス 3. 連發ハ概ネ五發卓射コ主トスルモ時=30發ノ連發ヲ混ス	
			機能		30					
			命中(彈10)(300%)		150	180				
	16		速率		20	200	十條兵器製造所	分解検査		
			彈痕		40	240				
			機能		7 ⁽³⁰⁾ 60	17 ⁽³⁰⁾ 00				
	17		測腔		B			東京兵器製造所		分解検査
			速率		20	1020				
			彈痕		20	1040				
	19	一〇〇〇發後	命中(彈10連30)(300%)			120	1160	陸軍富津射場		分解検査
			全上(600%)			120	1280			
			全上(1200%)			120	1400			
	20	26	機能		三	1000	2400	東京兵器製造所		分解検査
	全上		6 ⁽³⁰⁾ 00		30 ⁽³⁰⁾ 00					
	測腔									
	27	三〇〇〇發後	命中(彈10)(300%)			30	3030	十條兵器製造所		分解検査
速率				20	3050					
彈痕				40	3090					
28	29	-35°於ハ機能		30	3120	坂本				

裏面白紙

3)

ス

)

第一回 機能試験

時刻	銃		種	規程子 分画	姿勢	発射弾数	故障				障	
	正分	番号					抽	後	突	不		
10.00		1	固有	2	脚架 中姿勢	150	1	2			142発目 其後8発目	
11.00	A	2				150						
12.00		3				150			3	1		

射撃終了後各銃(固有銃身)・薬室・模範→交換セル→模範入極145→

逆底完全閉鎖し薬室・深過フル感ス

第一回機能試験後命中試験ヲナシタルニ各銃失照呈度低ク不可能ノヲ中止ス

第二回 機能試験

時刻	銃		種	規程子 分画	姿勢	発射弾数	故障				障	
	正分	番号					抽	後	突	不		
前		1	予備	2	脚架 中姿勢	100			2		90発目 100 98	
10.00						98						
11.00	A	2	固有			300			2			
						300			2			
		3				300	1		5	3		
						300	1		10	1		

以上試験ノ結果銃全部一時会社・返付シ次ノ項目ヲ修正・上

ニ十六日再提出方ノ示達ス (十六日午向)

1. 銃身薬室径始(深過フル)ノ改修
2. 照呈全(照呈低過フル)ノ改修
3. 突込・頻発(弾倉・依ル)・依ル頓憲
4. 其他試験間損傷セル各部品ノ改修頓憲

昭和九年十一月十五日

於小石川

試験官 吉川中佐

損 傷 射 手 摘 要

	吉川中佐	薬室切・便向多数アリ
弾倉左銃射撃中離脱飛散ス		

昭和九年十一月十六日
於小石川

第一回試験成績・繼ニ第一号銃・予備銃身交換ニ他ノ一挺ニ
過600発・機能試験ヲモナスコトセリ

損	傷	射 手	摘 要
彈子室蓋射撃中閉リ ② 同後撃基交換ス 18発止交換ス		吉川中佐	突・毎回彈倉最後ニ以テ目・起ル此ノ排除トシテ受筋 飯・彈作・文良ノ僅・別肉ス 費其切・遊取・安全閉鎖・於内筒・門子・前後・線・アリタリ以テ 送案止ヲ交換・其後・送案少シタルヲ以テ再行セリ
同心銃小口分環脱ス 右方防塵板・摘・折換ス 模範・防塵板離脱ス 抽筒子口折換ス ③ 同後撃基交換ス			突・毎回最後・起ル
内筒撃子・機能不良ニ(彈倉撃時)ハ内筒撃止セル			突・彈倉時突込過下スルヲ以テ

第一回機能試験 { A. 再提出後
B. 最初

時刻	銃		種		規格	弾数	故障				降		
	正分	番号	銃身別	弾倉別			安	装	抽	破	閉	不	
午前 10時 5分 11分	A	1	固有		(最小)	210	1		2				
		2			1	300	(最後1)						
		3			1	300	(最後1)				1		
	B	1		B	小	210				6			
		2			中	150	1	1					
		3			中	180		1					

昭和九年十一月二十八日

於小石川

試験官 吉川中佐

損傷	射手	其他
	吉川中佐	120発後復座板交換(全長67mmに74mm) (本欄故障・は交換前)
抽筒子折損(基部) 1		

寒気試験實施經過表

月日	11月28日		11月29日		
時刻	右 2.30'	右 4.30'	↑前 2.30'	午前	右 2.50'~3.08'
温度	-10°C	-14°C	-5°C	-32°C	-34°C
区分	銃 { A---1.2 B---2.3 彈藥 各銃共一彈倉宛 (30發裝彈)	モ-タ-駐止ス	モ-タ-移動ス		射撃實施
摘要	銃・内外印油拭 除シ更ニ耐寒油 (常用油油ノ) 遊走尾筒其他各 部・並存ニ脚架・ 裝着ニ冷凍室・入・ 彈藥・一彈倉・30發 裝彈ニ銃例・置?	此間モ-タ-駐止ス 15時間			

寒気機能試験

昭和9年十一月十九日
於 技本第二部冷凍室

時刻	温度	銃種				規整拍面	奇射彈數	機能	射撃
		正金	番号	銃身別	彈倉別				
右 2.50 3.08	-34℃	A	1	固有	1	30	良好	命中佐 須藤少佐	
			2	,	1	30			
		B	2	,	B	中	30		後退不足・タ×露出不良・頻発ス (打撃美ヲ失)
			3	,	.	中	30		

豫備銃身測腔表 (受領当初)

銃別 銃身別 銃身挿入量 後退中(米)	A						B					
	1		2		3		1		2		3	
	銃口 mm	銃尾 mm	銃口 mm	銃尾 mm	銃口 mm	銃尾 mm	銃口 mm	銃尾 mm	銃口 mm	銃尾 mm	銃口 mm	銃尾 mm
6.49			通		(4.48-2E) 250	246	通		通		通	
50			5	231	7	172	3	75	4	73	1	71
51	通		5	98	5	106	3	73	4	73		71
52	3	77	3	70	2	70	0	73	1	68		66
53	3	70										

速率試験 彈痕形狀

昭和九年十二月一日(土)

於 富 津

射順	時刻	銃		銃身別	弾数	弾痕(20m)	假速		音波測定器位置	
		区 分	番 号				銃身別	平 均	第一の	第二の
1	2.25	B (逆)	1	予備銃身	試本 20	20	732.4	734.4	銃口前 5m	銃口前 45m
2	2.55		2	"	20	20	735.8		"	"
3	3.30		3	"	20	20	735.1		"	"
4	3.45	A (南)	1	"	20	20	748.1	746.4	"	"
5	4.05		2	"	20	20	746.7		"	"
6	4.25		3	"	20	20	744.6		"	"

試験官 吉川中佐

彈痕形狀		機能其他	射 手
20米ホーロー紙の	50米ホーロー紙の		
横着弾 1	横着弾 1		板浦工長
ナレ	ナレ		"
ナレ	ナレ		"
ナレ	ナレ		"
4	ナレ		"
ナレ	ナレ		"

命中試験

射距離 300 米

射撃	時刻	銃			照尺	規程子割	装弾率数	色澤別	標的種類	銃容界	照準表	
		区	番	銃身別							上	右
1	2.40	A		同有銃身			10	白	右4m枝	同有脚(高)	2	2
2			1		200	1	10	赤				
3							10	青				
4	3.15						10	白				
5			2		200	1	10	赤				
6							10	青				
7	3.45						14 本10	白				
8			3		300	1	10	赤				
9							10	青				
10	3.50	B					10	白				
11			1		300	中	10	赤				
12							10	青				
13	4.00						10	白				
14			2		300	中	10	赤				
15							10	青				
17	4.10						10	白				
18			3		300	中	10	赤				
19							10	青				

十一月一日 気象表

時刻	天候	気温	気圧	湿度	風向	風速
2.30	晴	11.3	758.5	62	90	2.69
3.30		11.0	758.5	57	90	2.14
4.30		10.9	758.5	51	5	10.00

昭和九年十一月一日(土)

於 盛 津

試験官 吉川中佐

平均点		公算		射撃		平均公算		射撃	
垂直	水平	垂直	水平	合成	合成	垂直	水平	合成	射撃
252.0	173.8	15.14	6.05	16.24	18.83	11.81	22.18		吉川中佐
176.2	132.5	24.45	14.61	28.19					
200.0	155.2	16.92	14.79	22.38					
221.5	240.0	29.93	13.72	32.87	20.72	13.75	24.85		
115.4	217.9	13.72	10.05	16.94					
157.4	222.7	18.53	17.48	25.37					
138.8	193.0	9.76	9.80	13.78	10.57	12.78	16.61		
121.4	234.7	5.34	11.36	12.44					
124.4	172.9	16.63	17.17	23.81					
154.2	163.0	9.57	7.12	11.83	9.34	11.22	14.52		
158.1	160.5	10.42	14.52	17.83					
151.4	143.9	8.05	12.02	14.38					
185.3	196.7	4.72	6.86	8.24	7.54	9.85	12.32		
173.4	202.0	11.22	11.22	15.81					
171.7	195.5	6.68	11.49	13.15					
209.0	178.9	14.08	14.13	19.84	12.42	9.14	15.36		
217.8	174.1	12.51	9.55	15.68					
211.5	171.5	10.69	3.79	11.18					

命中試験

射距離 300 米 (銃)

射順	時刻	銃			照尺	規整画面	銃姿勢	射撃別	発射回数	色澤別	標的別	照準差	
		区	番	銃身別								上	下
22	11.06	13	1	豫備	300	中	= 節 = 脚架(左)	連発 (5 発連射)	30	白	左 4 米板	2	2
23						中			30	赤			
24						大			30	青			
25	11.38	13	2	豫備	300	中		単発	10	白	左 4 米板		
26						中			10	赤			
27	11.42					中		連発 (5 発連射)	10	青			
28						大			30	白	右 4 米板		
29									30	赤			
30									30	青			
31	12.10	13	3	豫備	300	中		単発	10	白	右 4 米板		
32									10	赤			
33									10	青			
34	12.13							連発 (5 発連射)	30	白	左		
35									30	赤			
36						大			30	青			

平均値		公算距離		合成	平均公算距離		射手	銃機能其他	
垂直	水平	垂直	水平		垂直	水平			
176.4	182.3	22.64	12.18	25.65	18.44	12.63	21.97	吉川中佐	① 1. ② 折損 1.
162.5	175.0	18.68	11.03	21.67					
167.7	171.5	14.01	12.89	19.02					
189.2	187.2	9.76	7.94	12.56	9.33	8.23	13.07		
174.3	177.1	10.24	8.87	14.21					
177.5	201.1	8.01	9.89	12.72					
182.3	196.1	15.67	12.12	19.82	11.90	10.56	15.93		③ 1. ④ 2. ⑤ 2.
197.5	205.4	8.34	8.58	12.68					
177.3	196.9	11.71	10.00	15.39					
135.7	215.7	8.82	12.50	15.29	14.25	10.38	17.69		
145.5	210.8	14.34	8.05	16.43					
137.0	221.1	19.60	10.60	22.27					
147.9	226.7	14.73	14.79	22.22	17.42	17.12	24.39		⑥ 3. ⑦ 2. ⑧ 折損 1.
125.4	225.2	19.32	19.32	22.27					
122.3	228.0	18.23	15.27	24.73					

命中試験

射距離 600米

射順	時刻	銃種		照尺	照尺分画	銃姿勢	射撃別	発射弾数	色弾別	標的別	照準差	
		正分	番号								上	右
1	12.6			700	2	＝節 ＝脚架(左)	単発	10	白	左 6m布	3	3
2								10	赤			
3								10	青			
4	12.6	A	1	予備			連発 (5発発射)	30	白	右 8m布	4	4
5								30	赤			
6								30	青			
7	15.0			600	1	前脚、破鉄土 土袋敷(下)	単発	10	白	左 6m布	3	3
8								10	赤			
9								10	青			
10	15.4	A	2	予備			連発 (5発発射)	30	白	右 8m布	4	4
11								30	赤			
12								30	青			
13	2.10			800			単発 試木	10	白	左 6m布	3	3
14								10	赤			
15								10	青			
16	2.25	A	3	予備			連発 (5発発射)	30	白	右 8m布	4	4
17								30	赤			
18								30	青			
19	2.45			700	中		単発	10	白	左 6m布	3	3
20								10	赤			
21	2.51	B	1	予備				10	青			
22				800	大		連発 (5発発射)	30	白	右 8m布	4	4
23								30	赤			
24								30	青			

昭和九年十二月二日(日)

於 富 津

試験官 吉川中佐

須藤少佐

平均値		公算距離		平均公算距離		射手	銃機能其他
全通	水平	全通	水平	全通	水平		
						吉川中佐	
246.2	515.9	529.2	344.7	624.5			
362.9	505.5	92.10	66.14	113.13	76.20	44.90	87.44
219.3	419.3	82.60	40.10	92.73			
320.8	426.5	37.20	41.76	55.67			
262.2	418.9	28.57	29.37	38.07	30.95	34.01	45.77
219.9	406.9	31.09	30.91	43.58			
439.7	408.0	42.90	34.62	54.77			
451.9	395.4	55.24	58.62	80.62	43.66	44.41	64.03
432.8	456.2	32.84	46.02	56.56			
210.4	391.0	32.53	46.17	55.67			
571.9	413.6	32.57	37.99	50.90	36.32	43.81	56.33
576.1	395.0	42.87	45.27	62.45			

命中試験

射距離 600米 (銃)

射順	時刻	銃種			照尺	規格子画面	銃姿勢	射撃別	発射弾数	色澤別	標的別	照準差	
		区	分	番号								上	右
25	3.12				700	大	二脚(仰)	単発	10	白	左m布	3	3
26									10	赤			
27									10	青			
28	3.15	13	2	予備				連発 (5発発射)	30	白	右m布	4	4
29									30	赤			
30									30	青			
31	3.36				600			単発	10	白	左m布	3	3
32									10	赤			
33									10	青			
34	3.40	13	3	予備				連発 (5発発射)	30	白	右m布	4	4
35									30	赤			
36									30	青			

十二月二日気象表

時刻	天候	気温	気圧	湿度	風向	風速
午前 9.00	晴	5.8	762.5	69	90	1.85
10.00		7.3	762.9	70		2.35
11.00		8.3	762.1	65		2.27
正午		9.2	762.0	59		1.64
午後 1.00		9.5	762.0	49		1.11
2.00		10.1	761.3	66		3.03
3.00		10.0	761.5	61		1.42
4.00		9.3	761.5	72		1.2

平均差		公算		誤差		平均公算		誤差		射手	銃機能其他
垂直	水平	垂直	水平	合成	垂直	水平	合成	垂直	水平		
										吉川中佐	
471.0	382.5	22.59	20.86	31.36							
498.2	399.5	25.58	29.15	38.69	25.11	29.31	38.57				
425.3	409.5	26.16	37.93	45.82							
260.6	399.6	36.24	47.33	60.00							
267.8	451.4	27.56	30.67	41.23	37.05	38.07	50.00				
254.9	469.1	37.35	36.42	53.85							

命中試験

射距離 600米

射順	時刻	銃			銃口	銃口	銃口	銃口	銃口	銃口	銃口	銃口	銃口
		区分	番号	銃別									
16		A	1	予備	700		二脚架(砲)	單発	10	白	左	5	3
17		A	1	予備			砲脚上土表		10	赤			
18		A	1	予備			載る		10	青			
1	8.35	A	2	予備	600				連10	白	右	4	4
2		A	2	予備					10	赤			
3		A	2	予備					10	青			
4		A	3	予備	800				10	白	左	5	7
5		A	3	予備					10	赤			
6		A	3	予備					10	青			
7		B	1	予備	800				10	白			3
8		B	1	予備					10	赤			
9		B	1	予備					10	青			
10		B	2	予備	700				10	白	右	4	4
11		B	2	予備					10	赤			
12		B	2	予備					10	青			
13	9.35	B	3	予備	600				10	白	左	5	7
14		B	3	予備					10	赤			
15		B	3	予備					10	青			

昭和九年十一月三日(月)

於 富 津

平均	全	公	算	算	算	平均	公	算	算	算	射	銃	機	能	其	他
390.4	189.2	38.31	24.94	44.72		28.96	22.42	36.55			吉川中佐					
507.7	230.6	27.35	21.56	34.74												
485.6	217.9	21.31	20.76	29.69												
426.0	398.9	33.08	25.79	41.23												
413.4	401.0	34.66	51.60	61.64												
427.6	413.5	47.32	42.39	94.71		27.27	33.68	42.42								
429.2	426.8	14.07	23.66	27.42												
622.1	745.9	15.21	22.54	27.14												
651.3	774.3	31.57	43.56	52.91		20.18	32.67	38.26								
692.9	709.0	13.77	31.36	34.16												
544.0	267.0	12.65	18.53	22.36												
545.1	228.5	16.64	28.33	32.78		16.89	21.89	27.56								
516.0	177.7	21.38	18.80	28.40												
508.4	331.2	22.91	13.89	26.72												
527.4	364.8	16.64	38.45	41.23		20.04	22.65	30.91								
536.9	334.1	20.58	18.62	27.65												
372.9	652.9	27.42	21.82	35.00												
367.1	655.5	20.93	26.83	33.97		24.13	24.22	34.13								
364.8	674.2	24.05	24.02	33.94												

命中試験

射距離 1000米

射順	時刻	銃		照尺	照尺	銃姿勢	射撃別	発射回数	色澤別	標的別	原準	
		正分	番号								上	右
1	10.35	A	1	予備	1000	= 脚架 (低)	単発	10	白	右 8m 布	6	4
2	10.45						連発	10	赤	左 10m 布	7	7
3							連発	10	赤	左 10m 布	7	7
4	10.47						連発	30	白	左 10m 布	8	8
5							連発	30	赤	左 10m 布	8	8
6							連発	30	赤	左 10m 布	8	8
7	11.05	A	2	予備	1000	= 脚架 (低)	単発	10	白	右 8m 布	4	4
8	2.35						連発	10	赤	左 10m 布	6	6
9							連発	10	赤	左 10m 布	6	6
10							連発	30	白	左 10m 布	5	5
11							連発	30	赤	左 10m 布	5	5
12							連発	30	赤	左 10m 布	5	5
13	11.50	A	3	予備	1100	= 脚架 (低)	単発	10	白	右 8m 布	4	4
14							連発	10	赤	左 10m 布	5	5
15							連発	10	赤	左 10m 布	5	5
16							連発	30	白	左 10m 布	5	5
17							連発	30	赤	左 10m 布	5	5
18							連発	30	赤	左 10m 布	5	5
19	11.05	B	1	予備	1000	= 脚架 (低)	単発	10	白	右 8m 布	4	4
20							連発	10	赤	左 10m 布	5	5
21							連発	10	赤	左 10m 布	5	5
22	1.12						連発	30	白	左 10m 布	5	5
23							連発	30	赤	左 10m 布	5	5
24							連発	30	赤	左 10m 布	5	5

昭和九年十二月三日

於 富 津

平均	全通	水平	公算	全通	水平	公算	平均	全通	水平	公算	射手
223.2	191.2	32.43	54.49	63.24			44.17	45.09	63.24		吉川中佐
54.6	498.9	33.78	52.64	51.96							
113.7	485.2	66.37	41.16	72.46							
203.3	571.8	51.70	59.97	72.74							
276.9	622.5	41.56	61.76	74.16	55.18	64.31	84.26				
362.4	526.2	72.28	71.21	100.99							
632.0	590.0	59.87	58.27	83.06							
770.6	545.8	34.60	62.34	53.85	50.39	41.28	64.80				
451.9	662.6	32.54	32.79	45.82							
186.2	589.2	58.77	32.79	67.08							
725.4	566.6	59.95	40.03	71.41							
628.3	597.7	57.69	55.12	77.37	64.92	51.98	77.46				
612.6	611.3	77.11	60.80	97.98							
679.1	402.4	52.53	42.67	67.82							
576.1	327.9	47.31	59.99	76.15	51.17	49.93	71.41				
564.1	327.5	52.67	47.13	70.00							
621.4	348.2	57.38	77.88	97.98							
445.1	335.6	49.35	38.22	61.64	53.22	66.74	85.44				
462.0	330.2	52.25	82.13	97.46							
281.9	336.1	60.33	38.02	70.71							
228.6	254.9	30.11	24.48	38.72	42.88	33.88	54.77				
223.3	291.1	38.22	39.15	53.85							
410.3	357.9	68.10	38.73	72.10							
336.1	359.8	53.44	42.24	74.70	58.62	37.77	74.71				
276.1	406.7	54.31	33.33	63.24							

命中試験

射距離 1,000 米 (陸)

射順	時刻	銃			照尺	照尺の面	銃姿勢	射撃別	発射弾数	色弾別	標的別	照準差	
		正	分	秒								上	下
25	1.35				1000		二脚架(低)	單發	10	白	右 8m 布	4	4
26									10	赤			
27		13	2	予備					10	青			
28	1.45							連發(5 發)	30	白	左 10m 布	5	5
29									30	赤			
30									30	青			
31	2.07				1000			單發	10	白	右 8m 布	4	4
32									10	赤			
33		13	3	予備					10	青			
34	2.15							連發(5 發)	30	白	左 10m 布	5	5
35									30	赤			
36									30	青			

十一月三日気象表

時刻	天候	気温	気圧	湿度	風向	風速	風向器の關係
午前 8.00	曇	8.8	761.5	84	5	1.66	
9.00		7.0	761.5	84	0	3.33	
10.00		7.8	761.5	71	0	5.00	
11.00		8.4	761.0	71	5	2.65	
正午		8.6	761.0	78	0	2.12	
1.00		8.6	760.5	78	90	1.50	
2.00		8.6	760.5	78	90	1.28	
3.00		8.6	760.5	78	90	2.33	
4.00		8.3	760.0	71	90	4.00	

平均差		公算誤差		平均公算誤差		射手
垂直	水平	垂直	水平	合成	合成	
339.7	501.2	39.80	39.95	55.67	42.07	吉川中佐
507.6	521.2	35.92	31.75	46.90		
334.1	440.4	50.51	58.73	76.81		
448.5	557.9	37.34	56.94	67.82	51.04	
411.7	468.3	55.01	69.45	88.88		
379.2	511.8	60.77	60.12	85.44		
198.9	391.8	42.29	30.82	55.67	37.07	
221.0	458.9	32.43	29.65	43.58		
218.8	416.2	31.50	36.49	47.95		
421.5	469.7	82.71	57.68	100.00	91.31	
388.7	534.4	99.36	39.61	106.70		
408.8	508.6	91.88	61.76	107.70		

機能試験

昭和九年十一月四日

小雨

時刻	銃		銃子 分画	銃空勢	射撃別	米射弾数	故障					障 害	備 考	
	区	分					閉	抽	跳	後	突			不
前 8.57 9.06 9.15 9.20 9.28 9.42 9.51 10.00 10.08 10.15 10.23	A	1	固有	2	固有脚射	連良	150	1					1	
				2			150	5						
				3			300	6	1				3	
				3			450	17		3			6	
				2			152				2			
				1										
				合 計		1202	29	1	5		10			
10.56 9.02 9.13 9.18 9.24 9.33 9.41 9.55 10.10 10.17 10.22 10.26 10.40 10.50 10.55 10.58 11.06	A	2	固有	1			150	1					2	
				1			150					1	3	
				1			300							1
				1			450						5	
				1			150						2	
				1			150						2	
				1			300				1		7	
				1			300			1			5	
				1			60			1				
				合 計		2010	1			2	1	1	26	1
12.58 13.04 13.15 13.19 13.27 13.38 13.45 13.50 14.00 14.02 14.08 14.12 14.27 14.34 14.57 14.58 15.00	A	3	固有	1			150						2	
				2			150						2	
				1			300						2	1
				1			450						1	(360)
				1			150	1					6	
				1			150						3	
				1			300	2					7	
				1			60						2	
				合 計		1710	3						25	1

銃富津

損傷	米射速度	摘	要	射手
抽筒子ばね折損	30発→2.5秒			須藤少佐
抽筒子ばね離脱ス 凡筒内部筒部、滑走路、後場及起ス 撃基交換ス(突不足、9x) 凡筒、前方筒部、銃身左側亀裂(小) 凡筒左側、筒部塞土吻鉤ス(附近亀裂ス(=箇所))				吉川中佐
筒部駐子機能不良	30発→2.5秒			吉川中佐
抽筒子ばね折損				須藤少佐
抽筒子ばね折損	30発→3.0秒			
射撃後、突検 凡筒、前方筒部、銃身左側亀裂(小) 凡筒左側、筒部塞土吻鉤ス(附近亀裂ス(=箇所))				木浦工長
弾倉口蓋、摘破損	30発→3.0(脱脱子)秒 2.6(脱脱子)秒			伊藤工長
撃基交換ス(突不足、9x)				
射撃後、突検 凡筒、前方筒部、銃身左側亀裂(小) 凡筒左側、筒部塞土吻鉤ス(附近亀裂ス(=箇所))				

機能試験 (続)

時刻	銃			銃撃子 分面	銃撃勢	射撃別	発射弾数	故障									
	区	番	銃射時					開	抽	跳	後	安	不	着	脱		
10.2 5 10.8 11 17 23 34 51 3.06 15	13	1	固有	中	固有脚 伏射	連発	150										
				小							150				1		
											300			2			
											450				1		1
											350			1		1	
				合 計					1400			3		3		2	
11.54 12.4 3.13 14	13	2	固有	大			150			3	16	1		2			
						60											
	合 計					210			3	16	1		2				
10.21 27 55 11.00 12 20 34 43 1.46 49 59 2.03 54 3.01 02 04	13	3	固有	大			150			5							
									150			2					
									300			4	1				
									450			4		2		2	
				小					150			1					
				大					150								
									140			2				1	
									60			2					
				合 計					1550			20	1	2		3	

損	傷	発射速度	損	要	射手
		30発 = 3.2 秒			吉川中佐
瓦斯が「P」型 = 瓦斯附着し運動不能 = 付着油ス					
			瓦斯漏孔 2.5 = 改4		
		30発 = 3.4 秒	調整子漏孔 3.5		板垣工長
			4.3 = 改4		
		30発 = 2.8 秒	調整子漏孔 5.0 = 改4		

固有銃身測腔表 十一月四日 於富津

銃身別 銃身長 口径(mm)	A						B					
	1		2		3		1		2		3	
	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾
6.49									通			
50	通								5	225	通	
51	63	377					通		3	140	0	467
52	4	333			通		258	247	0	113		184
53	1	301	通		2	499	245	201		101		162
54	0	266	1	481	0	395	223	169		85		142
55		239	0	328		351	0	146		77		127
56		201		307		281		117		71		108
57		180		294		250		100		69		99
58		137		263		210		77		67		80
59		75		232		190		72		66		75
6.60		70		200		164		70				68
61		67		184		141		68				67
62				161		107		67				66
63				143		82						
64				123		74						
65				104		69						

銃身別
銃身長
口径(mm)

十一月五日 気象表

時刻	天候	気温	気圧	湿度	風向	風速
午前 9.00	小雨	3.5	759.5	100	30	2.30
10.00		3.3	759.5	100	90	5.26
11.00		3.5	759.0	100	90	5.88
午後 0.00		3.6	758.5	100	90	6.25
1.00		4.3	758.5	91	90	6.66
2.00		4.8	758.0	91	90	4.61

命中試験 射距離 300米

射順	時刻	銃			照尺	照標子 合画	銃姿勢	射撃別	平射弾数	色澤別	標的別	照準	
		正合	番号	銃身別								上	下
1	9.40				300	1	＝節 ＝脚架 (低)	單発	10	白	右 9m板	2	2
2									10	赤			
3		A	2	固有					10	青			
4	9.45							連発 (5中射)	30	白	左 9m板		
5	9.52								30	赤	右		
6									30	青	左		
7	10.16							單発	10	白	右		
8									10	赤			
9		A	3	固有					10	青			
10								連発 (5中射)	30	白	左		
11	10.30								30	赤	右		
12									30	青	左		
13						小		單発	10	白	右		
14									10	赤			
15		B	1	固有					10	青			
16	10.45							連発 (5中射)	30	白	左		
17									30	赤	右		
18									30	青	左		
19	10.55							單発	10	白	右		
20									10	赤			
21		B	3	固有					10	青			
22								連発 (5中射)	30	白	左		
23									30	赤	右		
24									30	青	左		
25	11.15	B	3	固有			固有脚		30	白	右		
26									30	赤	左		
27	11.30	A	1	固有		1	＝節 ＝脚架	單発	10	白	右		

昭和九年十一月五日

於 富 津

平均 欠 公 算 解 避					平均 公 算 解 避			射 手	銃 機 能 其 他
全 通	水 平	全 通	水 平	合 成	全 通	水 平	合 成		
141.1	228.7	6.86	125.6	143.1				吉川中佐	
144.1	213.9	9.00	127.4	147.6	7.93	14.99	16.95		
124.7	200.4	7.93	125.6	21.01					
120.5	170.8	26.71	26.66	37.74					
143.7	212.0	23.96	15.30	28.43	24.89	18.24	30.86		②
131.0	206.4	24.05	12.78	27.23					① 内筋止、脚脱し射撃ス
167.8	220.2	6.42	128.7	143.8				文雄、瓦斯漏孔 4.5	
166.5	227.7	7.40	5.31	9.11	8.56	9.11	12.50		
167.3	208.9	11.85	9.15	14.97					
150.1	184.0	15.02	29.78	37.35					
151.5	203.4	16.14	26.68	31.18	15.06	26.35	30.35		
145.6	185.6	14.03	22.61	26.61					
125.5	157.8	7.66	11.05	13.45				文雄、瓦斯漏孔 5.0	
117.2	167.3	5.99	9.18	10.96	6.18	9.71	11.44		
123.9	171.4	4.70	8.91	10.17					
117.7	142.8	28.40	22.88	36.47					
172.3	110.1	24.14	34.24	41.89	24.43	27.24	38.57		
169.5	92.9	20.75	32.41	38.48					
263.9	178.6	21.10	13.47	25.03				文雄、瓦斯漏孔 5.0	
216.6	172.7	18.78	7.22	20.12	16.24	7.86	18.97		
226.9	186.0	8.84	8.91	12.55					
237.8	157.5	19.01	25.68	31.95					
225.8	164.8	23.48	23.27	33.07	24.27	21.87	32.67		
224.1	158.7	30.22	17.57	35.05					
240.0	131.4	19.40	29.53	35.33	21.62	31.02	37.81	足筋、銃身重傷裂と瓦斯漏孔 730修つては後射せしむ再世 後射撃中止ス	
172.4	112.8	28.17	32.52	43.02					
151.7	177.3	13.51	14.87	20.11					

第三回第一次
試製輕機開銃

諸元表

昭和九年十一月

諸元		A (南)	B (北)	十一年式	チエツコ
長	全長	1,150	1,015	1,100	1,170
	銃身長	587	750	472.5	569
	銃身長	550	550	485	600
	銃身長	487.7	457.7		508
重	全備 (除彈倉)	7,980	7,000	11,000	9,330
	彈倉	510	450		20発 317 5発102 10 190
	銃身	1,940	(除弾倉) 2,400	1,415	(除弾倉) 2,362
	進底活塞	750	1,200 (同7大)	932	1,232
復	全長	550	320	390	
	全後退	長サ(北)	250	100	176
	抗力(北)	7,000	13,000	12,500	
		長サ(北)	405	245	325
	抗力(北)	3,400	4,500	1,800	
		長サ(北)	274	120	192
	抗力(北)	6,400	9,500	11,000	
		線径(北)	1.6	1.4	1.2
	中径(北)	14.8	12.7	11.0	
		ヒョツ(北)	4.5	5.0	4.0
	瓦新漏孔	銃身	1号 2.4 2号 3.0 1号 3号 20.25 30	18.3号 3.5 2号 6.7 18.3号 3.5 20.25 30	2.5
		規整子	2号 20.25 50	2号 6.7 10.15 18.20 28	2.5
部	容勢高(北)	320 (高) 280 (低)	355 (高) 290 (低)	360 (高) 300 (低)	290
	品数(備)	145	126	142	135
	彈匣重量(北)	1,500	1,500	1,500	
	尾筒地金	半硬鋼	銃用鋼		

銃 中 心				銃 中 心	銃 中 心
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	001
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	002
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	003
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	004
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	005
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	006
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	007
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	008
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	009
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	010
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	011
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	012
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	013
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	014
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	015
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	016
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	017
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	018
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	019
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	020
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	021
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	022
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	023
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	024
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	025
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	026
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	027
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	028
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	029
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	030
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	031
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	032
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	033
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	034
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	035
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	036
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	037
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	038
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	039
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	040
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	041
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	042
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	043
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	044
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	045
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	046
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	047
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	048
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	049
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	050
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	051
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	052
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	053
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	054
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	055
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	056
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	057
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	058
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	059
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	060
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	061
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	062
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	063
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	064
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	065
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	066
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	067
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	068
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	069
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	070
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	071
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	072
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	073
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	074
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	075
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	076
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	077
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	078
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	079
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	080
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	081
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	082
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	083
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	084
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	085
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	086
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	087
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	088
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	089
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	090
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	091
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	092
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	093
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	094
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	095
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	096
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	097
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	098
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	099
不發火 (検査機用) 銃身標準				11+10+10+10	100

部外秘

試製輕機開銃比較表

試製機關銃比較表

銃	兩銃ノ相異スル主ナル点	主要諸元	機能ノ概要	命中精度																								
A	1. 四筒ハ四子ニ依リ閉栓ス從テ四筒ハ直線運動ヲナス 2. 瓦斯漏孔ハ施載部ニ穿テアリ 3. 床尾ハ用心鉄ニ装着セラル 4. 活塞ニ對スル緩衝裝置ヲ有スルモ其他ノ緩衝的裝置ヲ有セス 5. 特種ノ四筒駐止裝置ヲ有ス 6. 脚頭ハ左右ニ旋回シテ銃ノ傾斜ヲ修正シ得 7. 兼英蹴出器ハ常ニ閉鎖セラレ蹴筒ノ開閉ヲ行ハシメ得 8. 兼英蹴出器ハ右下方ニ蹴出セラル 9. 照星ハ瓦斯即筒ニ装着シアリ 10. 瓦斯調節ノ調節ハ中徑ヲ異ニスル數種ノ漏孔ニ依ル	全長 1 ^m 150 銃身長 550 全重量 7 ^k 980 銃身重量 1 ^k 940 彈倉容量 空 510 實 1 ^k 140 彈重 空 1 ^k 500 實 4 ^k 920 V25 ^m 746 ^m 4 發射速度 500~600 ^發 /分 發射高低 高 320 ^m 低 280 ^m	概シテ良好ナリ 生起湯キ故障 突込 (彈倉ノ不良ニ起因スルコト多シ)	單發連發(概シテ五發連射)ノ成績下ノ如ク一年式輕機ノ精度ニ比シ良好ナルカ如シ																								
銃				<table> <tr> <th>射距離</th><th>300^m</th><th>600^m</th><th>1,000^m</th></tr> <tr> <td rowspan="3">A 單發</td><td>垂直 8.2</td><td>25.5</td><td>48.6</td></tr> <tr> <td>水平 10.6</td><td>29.5</td><td>45.4</td></tr> <tr> <td>合成 13.4</td><td>38.9</td><td>66.3</td></tr> <tr> <td rowspan="3">銃發</td><td>垂直 21.4</td><td>43.7</td><td>57.8</td></tr> <tr> <td>水平 17.2</td><td>42.4</td><td>61.0</td></tr> <tr> <td>合成 27.4</td><td>60.8</td><td>84.2</td></tr> </table>	射距離	300 ^m	600 ^m	1,000 ^m	A 單發	垂直 8.2	25.5	48.6	水平 10.6	29.5	45.4	合成 13.4	38.9	66.3	銃發	垂直 21.4	43.7	57.8	水平 17.2	42.4	61.0	合成 27.4	60.8	84.2
射距離	300 ^m	600 ^m	1,000 ^m																									
A 單發	垂直 8.2	25.5	48.6																									
	水平 10.6	29.5	45.4																									
	合成 13.4	38.9	66.3																									
銃發	垂直 21.4	43.7	57.8																									
	水平 17.2	42.4	61.0																									
	合成 27.4	60.8	84.2																									
B	1. 四筒ハ閉栓ニガリ活塞ニ依リ後端ヲ打上セラルモ其ノ後端ハ尾筒ニ鉤ス故ニ四筒ハ前後運動ノ外其ノ後端ハ上下運動ヲ為ス 2. 瓦斯漏孔ヨリ前方ニハ腔線ナシ 3. 床尾ハ尾筒ニ装着セラル 4. 活塞ニ對スル緩衝裝置ノ外床尾板ニ直接滑部ニ對スル緩衝裝置尚緩衝器ヲ兼スル消火器ヲ銃口ニ装着ス 5. 四筒駐止ハ彈倉ノ受彈板ヲ以テ兼ス 6. 脚頭ハ旋回セズ左右ノ傾斜修正ヲナシ得ス 7. 打撃兼英ハ下方ニ蹴出セラル 8. 提把ハ左下方ニ旋回ス 9. 照星ハ銃身ニ装着シアリ 10. 瓦斯調節ノ調節ハ規正子ニ依リ漏孔ノ面積ヲ變化ス	全長 1 ^m 150 銃身長 550 全重量 9 ^k 000 銃身重量 2 ^k 500 彈倉容量 空 450 實 1 ^k 080 彈重 空 1 ^k 500 實 4 ^k 740 V25 ^m 743 ^m 0 發射速度 530~650 ^發 /分 發射高低 高 355 ^m 低 290 ^m	概シテ良好ナリ 生起湯キ故障 蹴筒不良 (兼英保持確實ナラザルトキ後退不足ノ氣味アル場合生起シ易シ)	單發連發(概シテ五發連射)ノ成績下ノ如ク一年式輕機ノ精度ニ比シ良好ナルカ如シ																								
銃				<table> <tr> <td rowspan="3">B 單發</td><td>垂直 8.3</td><td>20.4</td><td>40.7</td></tr> <tr> <td>水平 9.8</td><td>23.3</td><td>36.5</td></tr> <tr> <td>合成 12.8</td><td>30.9</td><td>54.7</td></tr> <tr> <td rowspan="3">銃發</td><td>垂直 15.9</td><td>31.2</td><td>66.9</td></tr> <tr> <td>水平 13.2</td><td>37.1</td><td>52.7</td></tr> <tr> <td>合成 20.6</td><td>47.9</td><td>84.8</td></tr> </table>	B 單發	垂直 8.3	20.4	40.7	水平 9.8	23.3	36.5	合成 12.8	30.9	54.7	銃發	垂直 15.9	31.2	66.9	水平 13.2	37.1	52.7	合成 20.6	47.9	84.8				
B 單發	垂直 8.3	20.4	40.7																									
	水平 9.8	23.3	36.5																									
	合成 12.8	30.9	54.7																									
銃發	垂直 15.9	31.2	66.9																									
	水平 13.2	37.1	52.7																									
	合成 20.6	47.9	84.8																									

昭和九年十二月

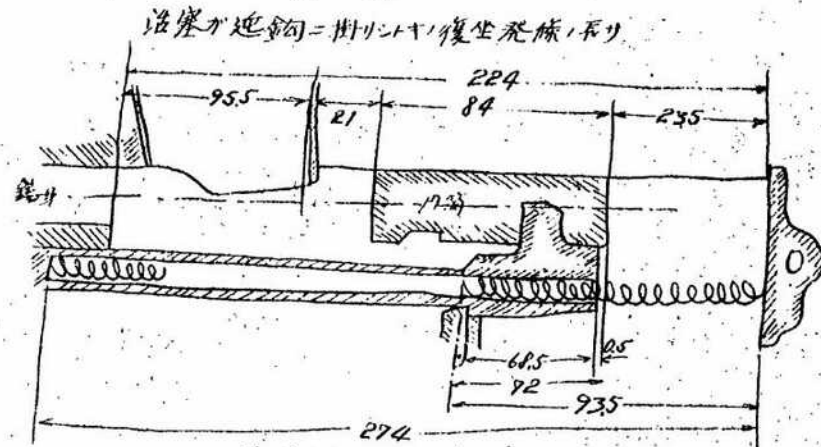
昭和九年十二月

裏面白紙



A 銃 復坐ばね状態

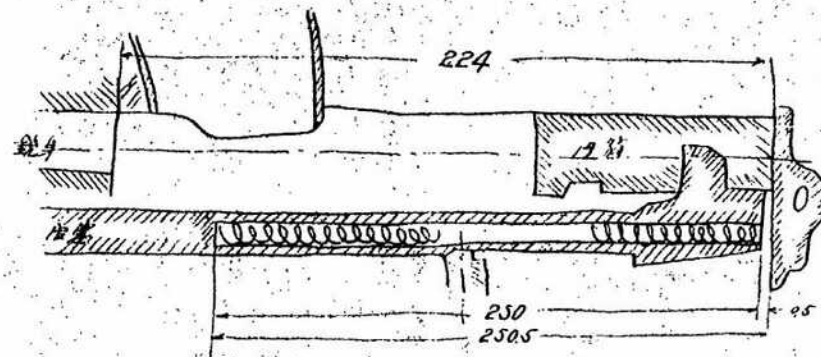
第一圖



6.40
kg

第二圖

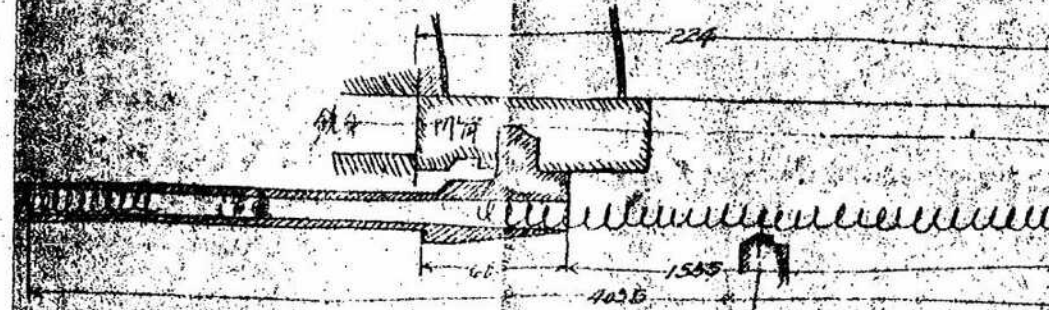
活塞カ尾筒底ニ復坐バネ到着セトヤ復坐飛條ノ長リ



7.300

第三圖

内筒口ニ活塞カ閉塞シトヤ復坐飛條ノ長リ



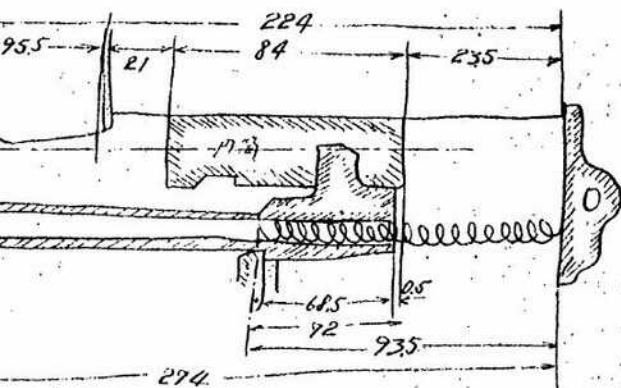
3.600

銃

復坐板状態

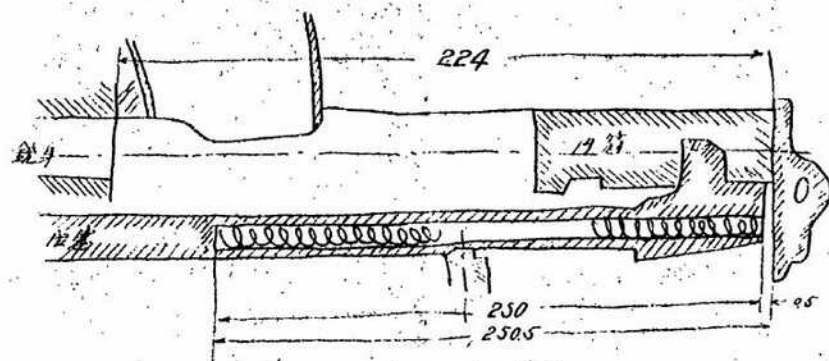
第一圖

カ連鉤=閉リトヤ復坐板係ナリ



第二圖

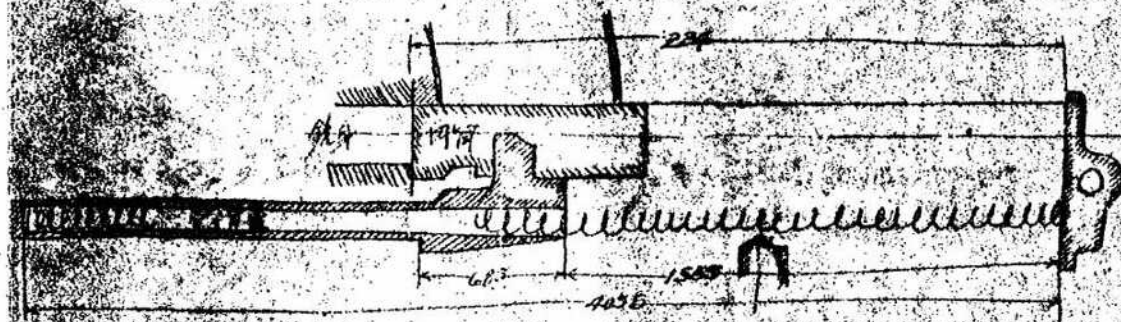
活塞カ尾筒底ニ復坐板到着セトヤ復坐板係ナリ



7,300

第三圖

門筒底カ閉塞シトヤ復坐板係ナリ



3,600

裏面白紙

第三回試製輕機関銃

昭和10年1月

第二次現品納入

1月28日

B銃(造天廠製)

7挺
(No 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10)

2月20日

A銃(市部銃製)

7挺(No 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10)

銃種	番号	摘要	試験区分	實用試験筆記区分
A	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
B	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9	尾筒銃身結合部増肉		
	10	同上		

命中試験(試験当初)

昭和10年1月25日

於小石川

射撃場(小石川検査工)

銃		種		姿勢	照尺	射撃別	発射弾数	平均値		公差		備考
区分	番号	銃身別	銃口					全通	水平	全通	水平	
B	4	固有 豫備	机上 固有 脚	300	單發	10	下 0.4	左 5.7	11.32	9.04	18.45	
						10	上 3.4	右 4.0	11.49	9.29	18.72	
	5	固予				10	下 2.8	左 3.3	7.35	9.29	11.87	
						10	上 4.3	右 2.1	10.31	9.52	12.72	
	6	固予				10	下 0.6	左 12.6	9.80	5.07	11.04	
						10	上 2.3	右 0.7	3.55	9.12	9.69	
	7	固予				10	下 0.9	左 2.4	8.36	6.84	10.81	
						10	上 4.5	右 2.8	10.81	6.33	12.49	
	8	固予				10	下 0.5	左 4.4	10.48	7.18	12.72	
						10	上 10.4	右 2.4	11.15	9.43	13.41	
	9	固予				10	下 0.4	左 6.0	12.51	7.74	14.77	
						10	上 1.0	右 1.2	9.46	11.49	14.93	
	10	固予				10	下 2.4	左 0.3	7.35	7.60	10.63	
						10	上 0.1	右 2.3	9.72	9.21	13.37	

機能試験 (試験当初)

銃	種	射撃別	規整子 分画	射撃別	発射弾数	故障				障
						破	欠	装	棄切	
B	4	固有	2	單發 及 連發	300		2			
		予備	2		60					
		固有	2		500	2	5			
		計	3		860	2	7			
	5	固有	2		300		1			
		予備	2		60		2			
		固有	2	500	2	5				
		計	3	860	2	8				
	6	固有	2		300		3			
		予備	2		60					
		固有	2	500		4	3			
		計	3	860		7	3			
	7	固有	2		300					
		予備	2		60					
		固有	2	500		2				
		計	3	860		2				
	8	固有	2		300		5			
		予備	2		60		1			
		固有	2	500		3				
		計	3	860		9				
	9	固有	2		300	2	1			
		予備	2		60		3		1	
		全	1		60				1	
		固有	2		300		6			
予備		2		300	3	4				
計			1,020	5	14		2			

昭和10年1月29日

於小石川

試験官 吉川中佐

損傷	其他	射撃	摘要
320発頃より後退不足、タメ欠達ノ頻発 スルニ至リ規整子ヲ逐次増大シ射撃ヲ終 結ス		吉川中佐 榎浦工長	
450発頃より後退不足、傾向ツ跳出す状 (著スクワエ)ヲ生ジタメ以後規整子ヲ3トス			
抽筒子(4部)欠損 1 300発目頃より後退不足、傾向ツ跳 出す			
抽筒子(4部)欠損 1 予備銃身、棄棄切排除、為次通 過置ス 予備銃身、棄棄切ヲ生ジタメ以後固有銃身ノ深ク 予備同位ノ修正シ後同子受ヲ修正シテ遊差ヲ若干 進メタメ改修ス 本改修後300発射撃スルモ棄棄切、傾向跳 出ナシ			

機能試験 (銃)

銃	種	銃身別	銃口直径	射撃別	発射弾数	故障		備
						知	障	
B	10	固有	2	単連	300	1		
		予備	2		60	1		
		固有	2		500	1		
		計			860	3		

固有銃身測腔表

発射弾数
4 5 6 7 8 10 --- 860発
9 --- 1220

銃種 銃身長 銃口直径 (mm)	B													
	4		5		6		7		8		9		10	
	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾
6.49					通		通							
5.0	通		通		278	107	232	163			通			
5.1	5	120	12	104	13	73	8	90	通		25	133	通	
5.2	3	90	2	75	2	67	2	70	15	163	4	75	270	160
5.3	3	80	2	71	2	67	2	67	5	140	2	72	6	136
5.4	0	71	0	68	0	65	0	66	1	77	0	65	1	98
5.5		68		67				65	0	74		65	0	77
5.6		65		65						70				70
5.7		65								68				67
5.8										66				67

昭和10年3月撮影

A



B



部外秘

陸技重銃要第四號

昭和十年二月三月
試製輕機關銃第三回第二次試驗要領

昭和十年一月
陸軍技術本部第一號

目次	報告年月	報告番號
一	昭和八・一〇	陸海軍銃製第六號
二	昭和九・一	陸海軍銃製第七號
		第九號

試製輕機關銃第三回第二次試驗要領

第一 試驗の目的

第二回試驗並第三回第一次試驗ノ成績ニ鑑ミ所要ノ修正ヲ加ヘ試製セル輕機關銃完成セラレテ機能命中速率堅牢性等ノ試験ヲ實施シ其ノ性能ヲ比較審査セントス

第二 供試兵器及彈藥

試製輕機關銃 (南部銃製作所製) (Aト稱ス)
 同 (東京火器製造所製) (Bト稱ス)

十一年式輕機關銃 (屬元共)

三八式銃實包

被甲實包

輕三脚架

第三 試驗ノ方法

一本試驗ニ於テハ左記事項ニ就テ審査ス

九五、〇〇〇發

五〇〇〇發

四

ニ本試験ハ左ノ如ク實施ス

1. 発射機能
 2. 命中精度
 3. 速率
 4. 堅牢性
 5. 取扱ノ難易
 6. 製作ノ難易
1. 基礎的審査
修正点ノ調査
諸元ノ調査

2. 實射ニ依ル審査

供試銃全部ニ就キ発射彈數三〇〇〇發ニ達スル迄射撃ヲナシ爾后兩種銃ヨリニ拔兎ヲ撰出シテ發射彈數一五〇〇〇ニ達スル迄射撃ヲ實施ス此ノ間左記事項ノ調査

ヲ為ス

イ. 発射機能

手入良好ナル場合

水ヲ蒙リタル場合

砂塵ヲ蒙リタル場合

傾角及俯角

連銃発射

ロ. 命中精度

三〇〇、六〇〇、一〇〇〇米ニ於ケル命中精度

爾后發射彈數五〇〇、一〇〇〇、一五〇〇發毎ニ

調査ヲナシ腔中屠減ニ伴フ命中精度ノ変化ヲ檢ス

尚参考ノモノトシテ一年式輕機関銃ノ命中精度ヲ檢シ本

成績ニ比較ス

ハ. 速率

銃口前ニ五米ニ於ケル速率ヲ檢ス

爾後牽射彈數一〇、〇〇〇及一五、〇〇〇發ニ於テ調査
シ腔中磨減ニ伴フ速率減退ノ度ヲ測定ス

ニ 彈 痕

二〇、及五〇米ニ於ケル彈痕ヲ調査シ彈軸保持ノ狀
態ヲ檢ス

爾后一〇、〇〇〇及一五、〇〇〇發牽射後ニ於テ調査ヲ
ナシ腔中ノ磨減ニ伴フ變化ノ狀態ヲ檢ス

ホ 堅 牢 性

試驗間ヲ通シ各部各部品ノ堅牢性ヲ檢スル外裝ニ測
腔ノ前後ニ於テ各部ノ長短ヲナシ衰損ノ狀態ヲ檢ス
ハ、採用上ニ關スル事項

射擊並手入間等ニ於テ携帶、照準、擊發各部品ノ交換
並分解結合等ノ難易便否ヲ調査ス

三 本試驗ノ實施予定 附表ノ如シ

四 本銃ノ製作關係者ハ本試驗ニ立會スルヲ得

五 本試驗間試驗ノ進捗ヲ妨ケサル限り小修正ハ之ヲ實施セ
シム

第四 試驗ノ期日及場所

本試驗ハ昭和十年二月廿八日ヨリ三月中旬ハ豆リ東京兵
器製造所構内及千葉縣富津射場ニ於テ實施ス

第五 試 驗 員

陸軍砲兵大佐 河内權五郎
歩兵中佐 吉川 嘉 芳

附表 試製輕機関銃第三回第二次試験手次

試日 順次	日	試験項目	供試銃				一銃 手次 銃数		當日 所費	場所
			A 銃	B 銃	土 銃	銃 数	銃 数	銃 数		
I	18/2	機能(手次好ハ状態)	7	7		14	1,000		14,000	東京 大塚 内
II	19/2						1,000	2,000	14,000	
III	20/2						(60) 1,000	3,000	(840) 13,160	
I	25/2	測腔 速率V ₂₅ 各20 彈着20150° 各20 命中300° 各10 ・ 600 ・	7	7	3	17	20	3,020		富 津 射 場
II	26/2	・ 600 ・					120	3,160	2,720	
III	27/2	・ 1,000 ・					120	3,280	2,040	
IV	28/2	機能(手次好ハ状態)					120	3,400		
V	1/3	機能(仰角好ハ場合)	2	2		4	500	3,900	4,040	
VI	2/3	命中300° 各10 機能(連射時1,000)					1,100	5,000	4,040	
		・ 600 ・					120	5,120		
		機能(手次好ハ場合)					2,880	8,000	11,520	
		測腔					(60) 2,000	10,000		
VII	3/3	速率V ₂₅ 各20 命中300 各10 ・ 600 ・					20	10,020		
							120	10,140		
							120	10,260	(840) 8,800	
VIII	4/3	命中1,000 ・ 機能(連射時1,000一回)					120	10,380		場
							1,500	11,880	6,480	
IX	5/3	機能(仰角好ハ場合)					(60) 3,120	15,000	(1240) 12,880	
		測腔								
		速率V ₂₅ 各20					20	15,020		
		彈着20150° 各20					20	15,040		
		命中300 各10					120	15,160		
		・ 600 ・					120	15,280	1,120	
		・ 1,000 ・					120	15,400	480	
XI	7/3									
XII	8/3	帰還								
備考		1. 彈着・欄中()ヲ附セルハ概銅突包トス 2. 命中試験ハ各銃ヲ脚ニ取付テ実施ス 3. 測腔毎ニ銃各部・細密ナル検査ヲ実施ス								

3月 撮影

機能試験 (試験當初)

月日	銃		銃種	銃番号	銃別	弾種別	米射弾数	故障					弾倉
	区分	番号						銃	復	安	不	装	
2.18	A	4	固有	2	弾	90				1			
				1	及	210							
2.21			予備	2	連発	60							
			固有			500					1		
			計			860				1	1		
2.18	A	5	固有	1		90							
				2		210							
2.21			予備	2		60		1					
			固有	2		500				2			1
			計			860		1	2				1
2.18	A	6	固有	2		120							
				1		180							
2.21			予備			60							
			固有			500							
			計			860							
2.18	A	7	固有	2		90							
				1		210				1			
2.21			予備			60							
			固有			500	1				1		
			計			860							
2.18	A	8	固有	1		90				1			
				2		210							
2.21			予備	1		60							
			固有			500							
			計			860				1			

二月十八日 (於國分寺市部銃)
二十一日 (於小石川)

損傷	其他	射手	摘要
現1(90発)後、傾向アルタ規2(120発)に			
現1(30発)後、傾向アルタ規2(120発)に			
内筒駐子機能不良(毎日)			
			連発速度 { 規2 (30発) 2.98 " 1 (1) 3.5
内筒駐子機能不良(毎日)			

機能試験 (試験当初)

月 日	銃 種		規 格	射 撃 別	発 射 弾 数	故 障			陣			
	区 分	番 号				欠	装	弾倉				
2.18	A	9	固有	1	300	(弾倉)		1				
2.21			予備	2	60							
			固有	1	500							
			計		860	1		1				
2.18	A	10		2	90							
				1	210							
2.21				1	60		1					
				1	500	1	1					
			計		860	1	2					

損 傷 其 他	射 手	捕 要
	吉川中佐 木澤上長	
銃基部・依り筒・左側面・擦傷スル等之ヲ 修正ス		

固有銃身測腔表 (※射弾数)
800発

銃種 銃番号 横銃挿入量 銃身口径	A													
	4		5		6		7		8		9		10	
	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸
6.51													通	
6.52			通						通				2	78
6.53			6	132	通				354	74	通		1	70
6.54			1	67	1	456			7	66	1	68	0	66
6.55	通		0	66	0	210	通		1	65	0	66	16	
6.56	1	68		65		70	291	68	0	65		65	65	
6.57	0	66				67	82	66						
6.58	0	65				67	4	65						
6.59						65	1	65						
6.60						0	65							

予備銃身測腔表 (※射弾数)
210発 二月十五日

銃種 銃番号 横銃挿入量 銃身口径	A													
	4		5		6		7		8		9		10	
	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸	銃口 寸	銃尾 寸
6.50					通		通						通	
51	通		通		4	119	9	279	通		18	137	12	108
52	4	69	3	116	1	66	2	68	1	65	3	67	2	69
53	2	69	3	69	0	66	2	67	0	65	1	67	1	68
54	1	65	0	65		65	0	65		65	0	66	0	65
55	0	65		65		65						65		

機能試験

月	日	銃		種		射撃別	発射弾数	故障			
		正分	番号	銃別	分			故障	後	差	弾全脱
2, 25 1, 30 4, 00	A	4	予備	1	量差	150				3	
			予備	果計	210						
		5	"	1	"	150					
			"	果計	210						
		6	"	1	"	150					
			"	果計	210						
		7	"	1	"	150				1	
			"	果計	210						
		8	"	1	"	150					
			"	果計	210						
	9	"	1	"	150					2	
		"	果計	210							
	10	"	1, 2	"	150		2				
		"	果計	210							
	B	4	固有	2.5	"	150		1	2		
			"	果計	950						
5			"	2, 2.5	"	150	3	1			
			"	果計	950						
7			"	2	"	150			1		
			"	果計	950						
8	"	2.5	"	150		1					
	"	果計	950								
9	"	2.5	"	150	7						
	"	果計	750								
10	"	2	"	150	2						
	"	果計	950								

昭和十年二月二十五日(月)晴 午後1時30分~4時

於 富津

損傷	其他	射撃	摘	要
		歩校 中込軍曹		
内筒駐子機能不良		歩校 鈴木上等兵		
軍務装置(引鉄)引鉄(右)移動(引鉄)		歩校 相崎上等兵		
		中込		
引鉄硬し		騎校 天野軍曹		
引鉄硬し		騎校 手塚上等兵		
軍務装置(引鉄)引鉄(右)移動(引鉄)		騎校 高倉上等兵		
		中込		
		鈴木		
		天野		
		天野		
		手塚		
		高倉		

速率試験 (發射彈數(本試験以前累計))
彈痕形狀

A---固有(800発) 予備(210発)
B---固有(950発) 予備(80発)

月・日	時刻	銃分	種	銃身別	發射彈數	假連	25m	發射位置
					彈頭(20m)	銃身別	平均	第一の 第二の
2.26	前 2.40		4	予備	10	10	736.7	銃口前 5米
"	3.40		5	"	10	10	729.9	
"	4.20		6	"	10	10	728.7	
2.27	前 8.40	A	7	"	10	10	728.6	
2.26	前 4.00		8	"	10	10	732.7	
2.27	前 11.00		9	"	10	10	729.5	
"	11.30		10	"	10	10	728.1	
"	10.10		9	固有	10	10	735.4	
"	9.50		10	"	10	10	732.1	
2.26	前 11.00		4	予備	10	10	736.7	
"	11.20		5	"	10	10	723.5	
"	1.20		7	"	10	10	728.8	
"	1.40		8	"	10	10	723.0	
"	2.10	B	9	"	10	10	736.4	
"	3.05		10	"	10	10	731.8	
2.27	前 11.00		9	固有	10	10	736.2	
"	11.30		10	"	10	10	720.6	
"	1.20		2	"(改)	10	10	731.3	
2.26	前 10.10		8226		10	10	707.9	
"	10.30	十一号式	8434		10	10	716.4	
"	9.55		20849		10	10	715.5	

昭和十年二月二十六日

二十七日

於富津

彈痕形狀(機着弾)		射子	揚	要	象					
20米前方に於ける	50米前方に於ける				天候	気温	気圧	湿度	風向	風速
0	0	板浦工長			雨	5.1	760.0	91	15	5.5
0	1					5.2	760.0	91	15	5.8
0	1					5.2	759.0	91	15	9.9
0	0				小雨					
0	0				雨	5.2	759.0	91	15	8.3
2	0									
0	0									
0	0									
0	0									
1	0	(中)			雨	6.1	762.8	84	15	4.7
1	2					5.1	760.0	91	15	5.0
0	0					5.1	760.0	91	15	4.1
1	2									
0	0					5.0	760.0	91	15	5.5
0	0					5.2	760.0	91	15	7.6
2	0									
0	0									
1	1									
1	1				雨	6.2	764.0	84	20	4.7
3	0					6.1	763.5	84	20	4.7
4	1					6.2	764.0	84	20	4.7

命中試験

射距離 300 米

月日	時刻	射順	銃		照尺	銃姿勢	射撃別	射撃数	色弾別	標的	照準度	
			正合	1/2							上	右
226	1.07	1			300	同有脚伏射	單発	11	白	右4米板	1	2
	11	2					單発	10	赤			
	22	3					單発	10	青			
	32	4					單発	30	白			
	44	5					連発	30	赤			
	55	6					連発	30	青			
210	7						單発	4	白			
	16	8					單発	10	赤			
	20	9					單発	10	青			
	26	10					連発	30	白			
	42	11					連発	30	赤			
	51	12					連発	30	青			
205	13						單発	20	白		2	
	9	14					單発	10	赤			
	14	15					單発	10	青			
	19	16					連発	30	白			
	33	17					連発	30	赤			
	45	18					連発	30	青			
354	19						單発	10	白			
	58	20					單発	10	赤			
	402	21					單発	10	青			
	9	22					連発	30	白			
	21	23					連発	30	赤			
	31	24					連発	30	青			

發射彈数 { 銃 --- 10/10 發
銃身 { A --- 210
B --- 60昭和十年二月十六日
十七日
於 富 津

平均度		公算距離		平均公算距離		射 手	摘 要
全 通	水平	全 通	水平	全 通	水平		
206.2	247.9	19.25	14.35	21.17		歩 兵	
208.1	203.4	21.67	22.36	39.00	19.18	中 込 軍 曹	
200.8	222.4	16.61	6.95	18.03		鈴木上等兵	
						松崎上等兵	
205.7	176.3	31.35	38.39	49.60		中 込	
164.7	166.5	16.11	14.90	21.93	28.82	鈴木	
200.5	140.5	39.01	51.67	64.76		松崎	
282.2	211.7	39.49	16.13	42.66		中 込	
222.1	190.6	20.22	15.61	25.52	23.65	鈴木	
247.6	201.6	11.23	13.90	17.86		松崎	
215.4	228.6	24.51	30.27	38.96		中 込	
173.4	157.4	32.00	33.50	46.33	33.37	鈴木	
217.6	168.9	43.41	44.78	62.37		松崎	
267.6	197.0	21.32	16.57	26.23		中 込	
235.6	167.7	23.75	18.80	30.48	22.22	鈴木	
216.2	172.7	21.38	18.15	28.09		松崎	
243.9	156.8	37.28	28.98	47.25		中 込	
234.5	18.1	26.71	72.86	78.57	31.09	鈴木	
255.1	130.9	29.27	46.74	55.13		松崎	
295.4	186.3	16.72	7.72	18.47		中 込	
232.4	172.4	5.39	5.41			鈴木	
276.9	188.6	28.96	24.50	7.62	11.45	松崎	
246.7	153.2	12.23	6.98	14.07		中 込	
271.8	207.3	23.83	33.57	41.18		鈴木	
249.5	156.7	28.11	40.62	49.38	33.73	松崎	
219.8	230.5	49.25	57.38	75.67		中 込	

命中試験

射距離 300米

月日	時刻	射順	銃種		照尺	銃姿勢	射撃別	銃弾数	色弾別	標的	照準点	
			正合	No							上	右
2.26	3.05	37		予備	300	肩有脚式射		10	白	左板	2	2
	9	38					單発	10	赤			
	12	39		8				10	青			
	19	40						30	白			
	33	41					連発	30	赤			
	45	42						30	青			
	54	43					單発	10	白			
	58	44						10	赤			
	4.02	45	A	9	予備			10	青			
	7	46					連発	30	白			
	21	47						30	赤			
	30	48						30	青			
	42	49					單発	10	白			
	46	50						10	赤			
	49	51		10	予備			10	青			
	55	52					連発	30	白			
	57	53						30	赤			
	5.04	54						30	青			
	9.20	1					單発	24	白			
	29	2						10	赤			
	35	3						10	青			
	44	4	B	4	予備			30	白			
	51	5					連発	30	赤			
	58	6						30	青			

平均点			公算躲避			平均公算躲避			射手	備考
全通	水平	垂直	全通	水平	合成	全通	水平	合成		
277.7	218.9	12.62	12.85	18.74					騎技 天野軍曹	
230.4	233.0	16.22	14.97	22.29	13.45	14.20	19.60		高倉上等兵	
247.6	244.4	11.51	12.79	17.97					手塚上等兵	
292.9	223.9	24.77	26.37	36.22					天野	
262.6	188.4	16.60	25.54	30.43	22.63	26.63	34.90		高倉	
218.2	244.6	23.86	27.99	36.81					手塚	
212.4	174.7	16.10	11.90	20.03					天野	
193.7	201.1	15.24	10.59	18.52	15.18	12.19	19.49		高倉	
214.9	191.6	14.19	14.08	20.03					手塚	
244.1	208.6	28.46	13.89	31.72					天野	
244.5	175.0	8.74	23.96	25.77	20.44	18.94	27.80		高倉	
215.2	199.5	23.13	18.97	29.92					手塚	
228.9	252.1	25.95	15.06	30.07					天野	
253.6	186.7	12.83	35.73	38.28	20.99	19.69	28.79		高倉	
192.3	227.5	23.20	8.29	24.64					手塚	
216.3	206.9	28.95	24.64	38.03					天野	
212.0	193.8	18.30	28.62	33.96	21.40	25.96	33.67		高倉	
153.7	193.7	16.95	24.63	29.90					手塚	
152.9	147.1	24.62	19.45	31.38					天野	
173.8	129.0	23.13	25.48	34.39	19.01	19.85	27.51		高倉	
152.7	114.4	9.28	14.61	17.32					手塚	
119.3	179.6	25.96	21.01	33.42					天野	
155.0	133.9	27.91	24.67	37.26	27.34	24.60	36.76		高倉	
155.5	117.3	28.16	28.12	32.81					手塚	

不
実
2
2

命中試験 射距離 300m

月日	時刻	射順	銃	弾	照尺	銃姿勢	射撃別	命中数	色弾別	標的	脱弾	点
2.26	2.10	31			300	固有伏射	単発	10	白	丸	2	2
	16	32					連発	10	赤	丸		
	23	33	B	10	予備			10	青	丸		
	28	34						30	白	丸		
	42	35						30	赤	丸		
	51	36						30	青	丸		
2.27	10.31	13					単発	10	白	丸		
	35	14						10	赤	丸		
	37	15			8226固有 300			10	青	丸		
	44	16					連発	30	白	丸		
	56	17						30	赤	丸		
	11.05	18						30	青	丸		
	15	19					単発	10	白	丸		
	19	20						10	赤	丸		
	22	21			8434固有 300			10	青	丸		
	30	22					連発	30	白	丸		
	45	23						30	赤	丸		
	56	24						30	青	丸		
	1.33	13					単発	10	白	丸		
	37	14						10	赤	丸		
	41	15			20849固有 300			10	青	丸		
	47	16					連発	30	白	丸		
	56	17						30	赤	丸		
	11.06	18						30	青	丸		

平均点	100算	100算	100算	100算	平均合算	射手	摘要
235.9	216.1	9.32	6.62	11.40		天野	
169.9	197.5	13.09	12.81	18.33	8.45	高倉	
170.3	195.2	2.94	2.42	3.87	7.28	手塚	
182.6	202.5	18.98	16.82	22.52		天野	
114.9	197.8	18.55	12.66	22.52	16.50	高倉	
188.5	155.7	25.97	17.10	31.11	15.53	手塚	
229.4	177.8	16.14	12.65	20.52		天野	
250.6	178.4	14.26	11.55	18.41	13.43	高倉	
286.6	183.1	9.90	15.06	18.06	13.06	手塚	
298.7	195.8	21.27	18.44	27.02		天野	
278.2	195.8	46.02	14.44	48.20	30.30	高倉	
283.8	175.8	23.61	17.05	27.14	18.98	手塚	
210.3	154.7	18.67	8.10	20.37		天野	
194.8	158.3	6.24	9.53	11.36	11.87	高倉	
178.0	167.5	10.70	10.25	14.87	9.29	手塚	
204.9	159.9	30.53	26.88	40.67		天野	
209.0	132.8	21.60	19.63	29.17	24.60	高倉	
215.5	204.2	21.67	26.87	34.57	24.46	手塚	
191.7	151.5	14.27	10.15	17.55		中込	
213.2	147.6	18.18	15.25	23.77	15.79	鈴木	
215.8	155.8	14.79	11.62	18.82	12.34	松崎	
198.1	146.4	17.40	24.50	39.05		中込	
197.8	143.8	22.52	16.43	27.84	20.04	鈴木	
241.6	199.1	36.26	19.18	41.06	25.39	松崎	

命中試験

射距離 300 米

月 日	時刻	射順	銃		照尺	銃物	射撃	弾数	色澤別	標的	照準	
			区分	種類							上	右
3. 4	10.50	13						10	白	4米板走	2	2
	53	14					單發	10	赤			
	55	15	B	2	予備	300		10	青			
	11.00	16						30	白			
	3	17					連發	30	赤			
	5	18						30	青			

三月四日

平均			公算			平均公算			射手	摘要
全直	水平	垂直	全直	水平	合成	全直	水平	合成		
174.1	202.4	4.54	10.15	11.02					天野軍曹	
210.5	192.2	24.41	7.23	25.42	14.38	12.96	19.20	高倉上等兵		
171.9	204.7	14.18	21.53	25.72				手塚上等兵		
199.1	213.6	14.94	12.93	19.70				天野		
241.9	182.3	17.34	20.33	22.50	15.02	14.72	21.00	高倉	実 1	
173.2	195.5	12.72	10.72	16.74				手塚	装 1	

命中試験
(耐久試験用銃)

射距離 300米

月日	時刻	射順	銃		照尺	銃姿勢	射撃別	弾射数	色弾別	標的	照準					
			口	寸							上	下				
2-27	前	1	A	9	固有	300	固有脚 伏射	單発	10	白	右 4枚	2	2			
	8.54	2							10	赤						
	9.00	3							10	青						
	9.05	4							30	白						
	10	5							30	赤						
	20	6							30	青						
	32	1						10	固有	300	單発	13 10	白	左 4枚		
	8.54	2										10	赤			
	9.02	3										10	青			
	4	4										30	白			
	10	5										30	赤			
	20	6										30	青			
	32	7	B	9	固有	300	單発				10	白	右 4枚			
	9.45	8									10	赤				
	50	9									10	青				
	55	10									30	白				
	58	11									30	赤				
	10.08	12									30	青				
	20	1					10	固有	300	單発	10	白	左 4枚			
	10.49	2									10	赤				
	51	3									10	青				
	54	4									30	白				
	58	5									30	赤				
	11.09	6									30	青				
20	7															

 発射弾数 { 銃 1130発
銃身 { A 800
B 950 }
0820十年二月十七日(水)
小雨 於富津

平均	公算	平均	公算	平均	公算	平均	公算	外	子	描	要
全連	水平	全連	水平	全連	水平	全連	水平	全連	水平	全連	水平
211.2	160.9	16.04	15.25	22.06							
167.4	153.1	13.19	13.44	18.73	15.96	17.02	23.35				
199.4	185.5	18.64	22.36	29.00							
205.5	182.8	13.07	22.42	25.94							
112.5	103.6	20.08	43.27	47.74	20.65	33.62	39.97				
164.4	162.1	28.80	35.17	45.48							
202.7	176.2	15.00	11.76	19.08							
222.0	180.5	12.83	14.26	19.18	12.39	11.57	17.72				
191.2	182.7	12.33	8.70	15.07							
214.4	194.8	26.23	17.71	31.62							
204.1	157.3	15.14	22.23	26.85	19.09	20.90	28.32				
126.3	181.9	15.91	22.76	27.80							
206.5	187.0	27.26	19.60	33.62							
209.2	153.2	12.22	8.23	15.56	16.82	10.94	20.03				
206.4	159.4	8.98	4.99	10.30							
200.5	129.1	23.32	39.87	46.20							
197.1	100.9	28.11	46.25	54.16	27.09	44.53	53.17				
249.0	109.7	35.84	47.46	58.48							
206.3	155.5	12.63	9.44	16.52							
213.0	140.0	10.51	8.19	13.34	9.65	9.71	13.68				
197.0	145.4	4.81	11.51	12.65							
201.5	161.2	15.42	8.78	17.75							
220.9	120.6	24.15	16.42	27.24	18.32	14.03	24.31				
216.2	115.6	15.38	22.88	27.60							

命中試験

射距離 600米

月日	時刻	射順	銃		照尺	銃管	射撃別	発射率数	色弾別	標的	弾道	
			区分	No.							上	右
2.27	13.30	1	十一年式	8226	固有	600	固有脚	10	白	4米板	2	2
	37	2						10	赤	5米板	1	1
	42	3						10	青	6米板	1	1
	55	4						30	白	6米板	1	5
	57	5						30	赤	5米板	1	1
	59	6						30	青	5米板	1	1
	2.29	7						10	白	4米板	1	2
	31	8						10	赤	5米板	1	1
	34	9						10	青	6米板	1	1
	39	10						30	白	6米板	3	3
	42	11						30	赤	5米板	1	1
	44	12						30	青	5米板	1	1
2.28	1.31	1	LMG	8434	固有	600		10	白	4米板	2	2
	45	2						10	赤	5米板	1	1
	40	3						10	青	6米板	1	1
	55	4						30	白	6米板	3	4
	57	5						30	赤	5米板	1	1
	59	6						30	青	5米板	1	1
	10.12	13						10	白	4米板	2	2
	14	14						10	赤	5米板	1	1
2.28	20	15	A	4	平備	500		10	青	5米板	1	1
	2.43	16						30	白	8米板	4	4
	10.46	17						30	赤	5米板	1	1
	50	18						30	青	5米板	1	1

昭和十年二月二十七日(水) 曇

二十八日(木) 於 常津

平均		公算		平均公算		射手	備考
全連	水平	全連	水平	全連	水平		
331.0	113.2	1878	20.10	28.21		天野 軍曹	
320.8	91.6	2473	27.37	38.26	29.65	高倉上等兵	
162.8	161.6	4184	34.14	53.94	27.23	手塚上等兵	
298.9	399.4	9409	89.10	128.43		天野	
256.2	422.2	9985	98.50	141.30	107.92	高倉	
197.9	389.5	129.8	119.93	174.70	102.84	手塚	
139.6	137.4	20.85	13.36	24.82		天野	
139.1	112.4	16.31	17.71	24.06	21.92	高倉	
122.7	172.5	28.60	26.37	38.92	19.15	手塚	
176.5	258.5	50.01	37.66	62.62		天野	
17.8	253.6	47.59	52.10	70.60	66.12	高倉	
221.8	236.6	40.76	70.60	81.50	53.45	手塚	
185.7	112.5	25.69	17.19	20.92		中込 軍曹	
22.0	72.5	28.33	30.00	41.24	25.50	鈴木上等兵	
190.7	126.3	22.67	15.64	27.39	20.94	松崎上等兵	
246.4	233.6	40.55	35.24	53.70		中込	
112.5	269.5	30.41	36.17	47.27	36.89	鈴木	
204.4	342.7	39.71	43.27	58.75	38.23	松崎	
204.1	195.5	33.93	20.85	37.41		中込	
224.6	221.5	25.13	31.98	40.69	32.31	鈴木	
255.1	210.9	37.87	20.94	43.29	24.59	松崎	
337.1	310.1	36.86	67.91	77.22		吉川 中佐	
151.4	186.3	38.92	57.68	69.59	48.43	鈴木	
272.7	199.7	69.80	60.00	92.04	61.86	松崎	

命中試験

射距離 600米

月日	時刻	射順	銃		照尺	銃姿勢	射撃別	弾数	色弾別	標的	頭準	
			正分	1分							上	右
2.28	3.56	19						10	白	4米板	2	2
	59	20						10	赤	1	1	1
	4.03	21						10	青	1	1	1
	10	22						30	白	6米布	3	3
	13	23						30	赤	1	1	1
	16	24						30	青	1	1	1
	3.08	13						10	白	4米板	2	2
	18	14						10	赤	1	1	1
	27	15						10	青	1	1	1
	32	16						30	白	6米布	3	3
2.28	34	17						30	赤	1	1	1
	36	18						30	青	1	1	1
	12.53	25						10	白	4米板	2	2
	1.00	26						10	赤	1	1	1
	10	27						10	青	1	1	1
	15	28						30	白	6米布	3	4
	2.39	29						30	赤	8米布	4	1
	41	30						30	青	1	1	1
	1.50	31						10	白	4米板	2	2
	54	32						10	赤	1	1	1
2.28	2.01	33						10	青	1	1	1
	6	34						30	白	6米布	3	4
	10	35						30	赤	1	1	1
	12	36						30	青	1	1	1

平均		公算			平均公算			射手	備考
直	水平	直	水平	合成	直	水平	合成		
178.5	152.6	25.13	15.47	27.50				中込年曹	
195.3	140.6	6.69	27.06	27.70	15.58	25.19	27.63	鈴木上等兵	
164.3	124.9	14.93	23.05	27.50				松崎上等兵	
204.5	266.6	38.19	14.70	40.90				中込	装 1
146.2	174.2	28.63	32.27	31.88	32.82	27.57	53.30	鈴木	
194.6	246.0	31.63	30.72	44.10				松崎	
229.9	155.2	36.42	27.87	46.80				天野年曹	
165.0	97.1	25.66	27.62	37.71	27.16	27.46	41.50	高倉上等兵	
158.7	185.2	25.39	30.90	40.00				手塚上等兵	
293.2	282.4	45.19	34.09	36.70				天野	
277.8	175.6	37.24	52.27	66.16	46.90	47.57	66.50	高倉	
183.7	303.1	52.78	55.14	76.90				手塚	
301.7	193.4	20.74	34.11	39.51				天野	不 1
182.8	212.9	20.28	24.16	31.59	22.95	35.84	42.50	高倉	
195.8	220.6	27.84	49.36	56.69				手塚	不 1
306.4	396.1	41.86	49.62	65.26				天野	
398.3	320.4	40.75	47.74	62.71	57.50	53.67	80.14	高倉	
354.4	308.6	95.90	63.65	115.10				手塚	
115.4	183.1	34.04	45.00	56.40				中込	
131.8	157.5	26.55	25.84	37.05	27.43	30.82	42.60	鈴木	
174.5	168.9	27.71	21.62	35.13				松崎	
266.8	259.7	61.22	61.22	93.40				中込	装 1
261.9	265.0	45.88	60.36	75.87	53.50	70.58	88.59	鈴木	
325.6	216.2	53.39	90.15	104.70				松崎	

命中試験

射距離 600 米

月 日	時刻	射候	銃 種		照 尺	銃姿勢	射撃別	発射回数	色弾別	標的	照準差	
			正 全	1/0							上	下
2.28	150	31						4	白	4*板 丸	2	2
	55	32						10	赤	5	5	5
	200	33						10	青	5	5	5
	7	34	7	予備	700			30	白	6*布 丸	3	4
	9	35						30	赤	5	5	5
	11	36						30	青	5	5	5
	230	37						10	白	4*板 右	2	2
	46	38						10	赤	5	5	5
	48	39	8	予備	600			10	青	5	5	5
	50	40						30	白	6*布 右	3	4
2.27	52	41						30	赤	5	5	5
	54	42						30	青	5	5	5
	442	25						10	白	4*板 右	2	2
	47	26						10	赤	5	5	5
	51	27	9	予備	600 固有脚			10	青	5	5	5
	55	28						30	白	6*布 右	3	3
	346	1						30	赤	8*布 左	4	4
	351	2						30	青	5	5	5
	359	19						10	白	4*板 丸	2	2
	404	20						10	赤	5	5	5
2.28	8	21						10	青	5	5	5
	12	22	10	予備	600 固有脚			30	白	6*布 丸	3	3
	14	23						30	赤	5	5	5
	16	24						30	青	5	5	5

平均差				公算報時				平均公算報時				射 手	備 考
垂直	水平	垂直	水平	合成	垂直	水平	合成	垂直	水平	合成	合成		
36.3	214.2	17.91	25.55	31.24								天野 軍曹	
200.3	155.6	29.76	28.01	34.89	19.16	25.40	31.84					高倉上等兵	
93.5	210.0	18.80	22.63	22.39								手塚上等兵	
187.4	258.7	48.65	119.79	121.06								天野	
268.6	304.3	45.26	38.51	52.43	44.40	78.97	88.68					高倉	
154.2	235.2	27.28	87.60	99.08								手塚	
145.5	179.8	20.14	24.20	33.05								中込	
141.9	145.1	10.91	18.27	21.21	15.74	21.59	26.70					鈴木	
146.9	141.9	16.16	20.30	25.92								松崎	
191.0	285.3	41.87	33.43	53.52								中込	
181.3	352.5	61.87	30.90	69.08	48.78	41.66	64.96					鈴木	
202.6	320.6	45.59	60.66	75.95								松崎	
234.3	182.7	27.23	23.79	36.48								中込	
217.7	202.3	17.84	23.02	29.06	21.57	23.98	32.30					鈴木	
238.8	166.0	20.64	25.13	32.46								松崎	
304.3	211.0	35.07	64.19	73.20								中込	
363.9	290.2	41.65	35.60	54.82	36.78	47.78	60.32					鈴木	
390.5	376.9	33.61	43.56	55.04								松崎	
189.1	154.5	27.51	22.19	35.34								天野	
161.7	160.7	26.57	37.92	46.40	25.23	30.42	39.48					高倉	
148.7	203.3	21.60	31.15	37.95								手塚	
192.2	233.0	37.82	22.27	44.00								天野	
174.1	227.4	33.11	36.00	48.90	33.72	30.87	45.70					高倉	
224.2	261.7	30.14	34.33	45.55								手塚	

命中試験

(耐久試験銃)

射距離 600米

月日	時刻	射順	銃			射距離	銃姿勢	射撃別	弾数	標的	照準	
			二分	一分	秒						上	下
2.27	4.42	25				600		單発	10	赤	2	2
	46	26						單発	10	赤	5	5
	50	27						單発	10	赤	5	5
	54	28						連発	30	赤	3	3
	56	29						連発	30	赤	5	5
	58	30						連発	30	赤	5	5
2.28	9.26	7						單発	10	白	2	2
	29	8						單発	10	赤	5	5
	34	9						單発	10	赤	5	5
	44	10						連発	30	白	3	4
	46	11						連発	30	赤	5	5
	48	12						連発	30	赤	5	5
2.29	8.36	1						單発	10	白	2	2
	29	2						單発	10	赤	5	5
	43	3						單発	10	赤	5	5
	51	4						連発	30	白	3	4
	54	5						連発	30	赤	5	5
	59	6						連発	30	赤	5	5
2.30	8.37	1						連発	10	白	2	2
	40	2						連発	10	赤	5	5
	44	3						連発	10	赤	5	5
	52	4						連発	30	白	3	4
	9.00	5						連発	30	赤	5	5
	2	6						連発	30	赤	5	5

昭和十年二月二十七日(水) 曇

二十八日(木) 晴

於富津

平均	水平	垂直	水平	垂直	平均	水平	垂直	射撃	摘要
186.2	181.1	36.70	13.10	13.60				天野軍曹	
187.2	165.8	28.80	25.95	38.79	31.24	15.48	34.73	高倉上等兵	
131.5	172.3	28.24	12.38	33.14				手塚上等兵	
235.3	262.7	29.60	30.80	42.90				天野	
198.3	242.9	31.20	54.70	63.00	33.88	39.87	62.40	高倉	
202.1	289.8	40.85	34.12	54.12				手塚	
159.7	138.9	15.59	25.39	29.82				中込軍曹	
96.1	165.2	27.35	30.29	40.86	26.11	24.89	32.68	鈴木上等兵	
114.6	179.2	35.39	19.99	40.65				松崎上等兵	
283.1	322.8	34.44	46.01	74.68				中込	
190.1	253.6	33.67	43.31	54.89	32.18	49.66	59.13	鈴木	
187.2	401.7	28.42	39.66	48.81				松崎	
168.5	160.9	12.38	16.13	20.24				中込軍曹	
205.2	160.6	23.30	15.89	28.14	19.35	17.05	25.87	鈴木上等兵	
188.9	198.2	22.36	19.14	29.35				松崎上等兵	
219.1	312.5	27.31	47.43	54.70				中込	抽 1
296.6	289.6	48.96	93.26	105.40	36.72	65.12	74.50	鈴木	抽 2
246.9	358.9	33.89	54.66	64.40				松崎	抽 1
203.3	168.8	14.83	20.00	24.88				天野軍曹	
219.5	114.6	28.51	12.28	33.35	22.91	21.36	31.34	高倉上等兵	
171.9	116.3	25.39	26.81	36.92				手塚上等兵	
236.9	281.3	37.63	25.48	45.40				天野	抽 1
288.8	268.6	34.99	24.17	42.59	42.04	33.89	53.99	高倉	抽 1
199.6	271.7	53.51	52.03	74.69				手塚	

命中試験

射距離 600米

月日	時刻	射順	銃			照尺	銃姿勢	射撃別	銃弾数	色澤別	標的	照準	
			已分	1/4	銃別							上	右
2.28	11:20	19						單	31	白	4米板	2	2
	25	20							10	赤	1	1	1
	28	21	B	2	予備	600			10	青	5米板	1	1
	36	22				標尺+2		連	30	白	6米板	4	4
	40	23							30	赤	1	1	1
	43	24							30	青	1	1	1

気象表

月日	時刻	天候	気温	気圧	湿度	風向	風速	月日	時刻	天候	気温	気圧	湿度	風向	風速
二月二十六日	8時	雨	6.1	763.5	84	40	4.7	二月二十七日	8時	曇	9.1	752.0	92	15	2.5
	9		6.1	763.5	84	25	4.7		9		8.9	751.8	92	15	2.0
	10		6.2	764.0	84	20	4.7		10		8.7	755.0	93	30	2.3
	11		6.1	763.8	84	15	4.7		11		8.8	755.0	86	35	2.3
	12		5.1	760.0	91	15	5.0		12	晴	9.9	755.0	59	30	2.2
	1		5.1	760.0	91	15	4.1		1		10.8	755.0	70	30	4.7
二月二十七日	2		5.0	760.0	91	15	5.5		2		11.7	755.0	66	35	3.3
	3		5.2	760.0	91	15	7.6		3		12.8	755.0	66	35	4.3
	4		5.2	759.0	91	15	8.3		4		13.8	755.0	63	35	2.6
	5		5.2	759.0	91	15	10.0		5		13.7	754.0	59	40	2.3
	8時		7.3	753.0	92	33.5	9.9		8時		13.1	754.0	58	40	0.8
	9	小雨	7.3	753.0	92	33.5	5.0		9		12.9	754.0	66	40	0.7
二月二十七日	10		8.2	753.0	92	33.5	9.9	二月二十七日	10						
	11		8.2	753.0	92	34.0	9.9		11						
	12		8.9	752.8	92	34.0	8.3		12						
	1	曇	8.4	752.8	92	35.5	5.8		1						
	2		8.5	752.8	92	35.5	4.8		2						
	3		8.5	752.0	92	33.5	4.5		3						

日8和十年二月十八日 晴
於常津

平均		公算		公算		平均		公算		射手	結果
垂直	水平	垂直	水平	合成	垂直	水平	合成	垂直	水平		
97.9	166.7	27.87	30.38	41.28	27.35	28.10	39.24	天野	高倉	手塚	等天
198.3	197.3	25.93	24.15	35.45							
143.5	220.5	28.24	29.76	41.06							
344.7	419.3	28.14	48.79	56.50	42.84	54.75	72.72	天野	高倉	手塚	等天
417.0	372.1	52.29	47.50	74.43							
162.8	425.1	52.58	62.97	89.16							

實施者 二月十八日午後

騎兵學校 騎兵中尉 北島之等之
高倉盛雄

命中試験

射距離 1000米

月日	時刻	射候	銃		照尺	銃姿勢	射撃別	弾数	色弾別	標的	標準	
			正分	No							上	下
3.1	9.53	7				同有脚状射	單	10	白	10米標	5	6
	58	8						10	赤		1	1
	10.00	9		8	予備			10	青		1	1
	11.15	16						30	白		1	1
	10.18	11						30	赤		1	1
	20	12						30	青		1	1
	10.57	13					同上	10	白	右	5	6
	11.00	14	A	9	予備			10	赤		1	1
	5	15						10	青		1	1
	30	17						30	白		6	7
	33	18						30	赤		1	1
	35	19						30	青		1	1
	10.57	13					同上	10	白	左	5	6
	11.00	14						10	赤		1	1
	3	15						10	青		1	1
	30	17						30	白		1	7
	34	18						30	赤		1	1
	37	19						30	青		1	1
	2.31	26					同上	10	白		1	4
	37	27						10	赤		1	1
	40	28						10	青		1	1
	3.07	29						30	白		1	6
	10	30						30	赤		1	1
	12	31						30	青		1	1

三月一日

平均			公算			平均公算			射手	摘要
全直	水平	垂直	全直	水平	垂直	全直	水平	垂直		
568.8	431.1	58.63	4827	72.46					天野幸吉	
524.1	464.0	69.57	60.05	91.93	62.44	46.71	77.96		高倉	
456.2	622.6	59.13	35.82	69.10					千塚	
390.6	455.5	101.32	77.81	127.72					真田中佐	
423.9	428.2	96.93	74.82	122.43	92.46	104.43	139.49		高倉	
400.5	440.8	78.97	160.58	178.98					千塚	
565.8	362.1	33.04	39.63	51.55					牛込軍曹	
205.0	358.0	32.79	62.73	74.72	37.90	45.82	57.48		鈴木上等兵	
209.8	357.8	47.76	35.10	59.31					相崎上等兵	
554.8	445.4	57.29	67.89	85.40					中込	
453.8	397.3	137.82	82.26	161.93	84.44	64.17	106.04		鈴木	
94.3	509.2	58.21	41.36	71.48					相崎	
149.8	566.5	45.80	25.30	52.32					天野	
545.0	496.3	31.36	49.01	58.20	46.83	34.43	58.10		高倉	
446.4	655.9	63.22	28.97	69.62					千塚	
646.9	561.2	91.92	67.29	113.70					天野	
455.9	522.8	66.84	62.56	91.56	85.21	57.95	101.92		高倉	
307.8	574.3	96.86	50.00	109.03					千塚	
493.5	645.7	55.69	24.53	61.70					天野	
424.1	661.4	63.37	46.12	82.76	50.37	40.56	64.72		高倉	
591.2	721.2	31.86	49.04	58.47					千塚	
441.7	410.4	65.27	61.98	90.09					天野	
449.9	462.1	68.70	50.77	85.49	85.04	70.75	110.62		高倉	
535.5	423.3	131.16	99.51	165.00					千塚	

命中試験

射距離 1000 米

月 日	時刻	射順	銃 種		照 尺	銃姿勢	射撃別	弾数	白弾別	標的	照準尺	
			口 径	Na							銃身長	上
3. 1	3.35	32	4	予備	1000	固 有 脚	單	10	白	10米布	6	7
	43	33						10	赤	右	5	5
	45	34						10	青	左	5	5
3. 2	9.13	1				代 射	連	30	赤紫	右	5	10
	16	7						30	赤紫	左	5	5
	11.10	17						30	赤紫	右	4	5
3. 1	2.31	27				5	予備	1000	同 上	單	10	白
	37	28	10	赤	右						5	5
	41	29	10	青	左						5	5
	3.03	30	連	30	白				右		5	6
	7	31		30	赤				左		5	5
	9	32		30	青				右		5	5
3. 2	9.02	4	7	予備	1000	同 上	單	10	白	10米布	6	10
	8	5						10	赤	右	5	5
	10	6						10	青	左	5	5
	36	8				連		30	白	右	5	5
	38	9						30	赤	左	5	5
	10.39	10						30	青紫	右	5	5
3. 1		33	8	予備	1000	同 上	單	10	白	10米布	5	7
		34						10	赤	右	5	5
		35						10	青	左	5	5
3. 2	8.22	1				連		30	白	右	6	10
	29	2						30	赤	左	5	5
	31	3						30	青	右	5	5

平均値	合 算 離 避			平均値	合 算 離 避			射 手	備 考
	全 値	水 平	垂 直		全 値	水 平	垂 直		
433.3	382.7	25.66	37.42	45.31	40.40	34.33	53.00	天野	
360.8	307.3	46.87	35.25	58.56				高倉	
426.7	283.2	48.68	30.33	57.33				手塚	
321.9	603.1	73.84	132.18	151.42	106.23	142.47	177.50	吉川中佐	
534.7	549.6	108.55	109.89	154.38					
410.7	490.2	136.72	185.35	230.00					
475.9	648.2	55.33	45.98	71.96	49.09	53.04	72.28	中込	
429.4	697.3	26.91	84.81	88.96				鈴木	
472.0	744.0	65.04	28.33	75.44				松崎	
619.2	453.7	73.81	43.49	85.67	84.10	49.21	97.47	中込	
452.8	462.5	66.60	61.88	90.92				鈴木	
598.5	557.1	111.89	42.26	119.91				松崎	
347.1	533.5	69.03	34.48	77.10	66.71	58.44	88.63	天野	
428.1	447.3	64.20	69.53	94.60				高倉	
487.4	427.7	66.89	71.31	97.70				手塚	
310.4	475.4	151.75	123.93	195.20	106.84	111.66	154.42	天野	表 1
563.3	437.2	55.18	80.39	97.37				高倉	
412.2	489.8	113.59	130.67	173.10				手塚	
564.5	298.2	77.96	58.20	97.36	48.14	42.36	64.16	中込	表 1
312.0	259.8	31.01	23.34	38.78				鈴木	
447.4	345.5	35.46	45.53	57.77				松崎	
516.9	471.4	63.01	69.50	93.73	73.51	78.00	107.16	中込	表 1
313.7	294.6	70.87	74.42	102.71				鈴木	
419.1	443.6	86.67	60.07	105.40				松崎	

命中試験 (耐久試験銃) 射距離 1000米

月日	時刻	射撃	銃	種	照尺	銃姿勢	射撃別	米射弾数	色弾別	標的	弾着点	備考										
3.1	1.23	21	A	9	固有	1000	固有脚伏射	10	白	10米布	8	3										
	33	22						10	赤													
	38	23						10	青													
	48	24						30	白		7	0										
	2.01	25						30	赤													
	3	26						30	青													
	1.23	20						10	固有	1000	同上	10	白	左	8	2						
	33	21										10	赤									
	38	22										10	青									
	48	23										10	白									
	2.01	24										30	赤		7	0						
	3	25										30	青									
	3.2	11.46										17	B	9	固有	1000	同上	10	白	右	5	8
		50										18						10	赤			
52		19	10	青																		
1.00		20	30	白																		
4		21	30	赤																		
6		22	30	青																		
11.46		18	10	固有	1000	同上	10	白	左													
50		19					10	赤														
52		20					10	青														
1.00		21					30	白		6												
4		22					30	赤														
6		23					30	青														

三月二日
命中試験終了後米射弾数累計 A { 9号銃 1603 固有銃身 1223
10号銃 1613 固有銃身 1223

昭和十年三月一日

平均長			公算距離			平均公算距離			射撃	備考
垂直	水平	合成	垂直	水平	合成	垂直	水平	合成		
355.6	772.5	20.85	45.71	50.21					中込年曹	
684.0	797.0	89.00	47.76	100.92		66.18	66.72	93.99	鈴木大尉	
629.6	758.6	89.10	36.60	76.31					松崎大尉	
740.2	388.3	55.48	67.49	88.97					牛込	
618.8	372.3	53.97	94.06	108.20		60.03	63.27	87.24	鈴木	
531.8	313.5	70.23	96.33	112.21					松崎	
341.0	721.3	67.62	40.90	79.03					天野	
781.4	652.1	85.89	32.34	91.79		64.68	43.67	78.10	高倉	
711.5	737.2	40.54	57.77	70.60					牛込	
576.9	275.2	87.41	105.01	136.63					天野	
548.9	276.3	107.64	61.72	124.01		86.29	88.42	123.52	高倉	
583.5	392.7	63.83	98.52	117.37					牛込	
446.2	722.8	37.10	46.54	59.42					中込	
398.8	722.3	77.48	30.15	83.03		55.68	41.81	69.52	鈴木	
510.1	736.6	52.48	48.75	71.52					松崎	
381.7	717.2	71.60	47.42	85.83					中込	矢 1
276.3	603.3	67.49	90.00	113.65		65.91	70.17	46.20 32.20	鈴木	矢 1
532.9	598.8	56.66	77.61	96.08					松崎	
314.8	511.1	43.98	28.24	52.14					天野	
500.5	619.1	31.72	44.46	54.50		36.96	35.78	51.34	高倉	
194.1	524.0	35.02	34.64	49.23					牛込	
507.9	456.5	86.27	62.57	106.41					天野	若 1
599.3	584.5	77.67	83.80	115.65		77.28	71.53	105.25	高倉	
303.4	395.6	65.92	68.23	99.94					牛込	

B { 9号銃 1609 固有銃身 1240
10号銃 1590 固有銃身 1240

機能試験

発射弾数累計

5000発

月 日	銃		銃身別	現銃子 分画	射撃別	発射弾数	故障							月間止欠
	区 分	No.					射	抽	蹴	後	突	不	装	
3. 2	A	9	固有	1		150								
				1		300								
				1		150							1	
				1		300								1
				1		450		1	1		1			6
				1		150			1		1		1	2
3. 3				1		300							1	4
				1		450		1						3
				1		150		1			1			1
				1		300		4						1
				1		450								5
3. 4				1		247								
				計		3397		7	2		3		3	23
				累 計		5000								
3. 2	A	10	固有	2		150					1			
				1		300								
				1		150								
				1		300							1	
				1		450								
3. 3				1		150								
				1		300								
				1		450					1		2	
				1		150								
				1		300								
				1		450							1	
3. 4				1		237								

三月

損 傷 其 他	摘 要	射 手
	分解手入ス	歩天学校 中込年曹 金林上兵 松崎上兵
	分解手入ス	
	分解手入ス	
抽筒子爪部磨損(交換ス) 1 尾筒底縁衝巻蓋止折損 1	分解手入ス	
	分解手入ス	
	分解手入ス	
	分解手入ス	
9筒止蹴子履射撃間振動ニシ開ク事 能 540発目・ア雷塞・遊査後退スズ 分解良快 セシ異状ヲ再行ス	分解手入ス	騎天学校 入野年曹 高倉上兵 中家上兵
蹴子折損 1	分解手入ス	
握把緩ミ 1	分解手入ス	
	分解手入ス	
後座索軸駐栓抽脱 1 (之ガ後座索軸抽脱ニ後座索係ノ屈曲ス)	分解手入ス	

機能試験

発射弾数累計
5000発

月日	銃 口分	種 別	銃身 寸法	射撃 位置	発射 弾数	弾 種	弾 頭	弾 尾	弾 底	弾 蓋	弾 帯	弾 箱
	A	10		計	3387					2		4
				果	計	5000						
3.2				2.5	150		3		2	4	1	
				3.0	300		8		1	1		
				4.0	150		5		1			
				5.0	300		9		2			
				6.0	450		4		2		2	
3.3	B	9	固有	7.0	150		6					
				8.0	300		5		1		1	
				9.0	450		6		4		1	
				10.0	150		7					
				11.0	300		34		1		1	
				12.0	450							
3.4				13.0	241		2		2			
				計	3391		1	81		16	5	6
				果	計	5000						
3.2				3.0	150		5		1	3	1	
				4.0	300						1	
				5.0	150		2		1			
				6.0	300				2		1	
				7.0	450		1		2		1	
3.3	B	10	固有	8.0	150							
				9.0	300						1	
				10.0	450							
				11.0	150							
				12.0	300						1	
				13.0	450	1			1		2	
				14.0	150						1	
				15.0	300						2	

損傷其他	摘	要	射手
不発排除、タメ後座金板押基部前方、具内筒、別内、活塞、前進、強ク開鎖、完全ナラシム	分解手入ス		歩兵学校 中込軍曹 鈴木士夫 板崎士夫
銃筒、タメ損壊(交換) 1	分解手入ス		
	分解手入ス		
銃筒、不発頻発セル、タメ、機能調整、射撃、ニシテ、調査セズ(活塞頭面、銃筒大ニ使用、好シム、可ナリ)	分解手入ス		(吉川中佐)
銃筒、不発排除、タメ、銃身、及、銃口、子、瓦斯、漏れ、ニシテ、拡大ス	分解手入ス		
	分解手入ス		
	分解手入ス		
雷管、突、破、使用アリ	分解手入ス		
銃筒、タメ損壊(交換) 1	分解手入ス		騎兵学校 天野軍曹 鈴木士夫 板崎士夫

命中試験 5000発後

月日	時刻	射順	銃種		照尺	銃姿勢	銃型別	発射弾数	色澤別	標的	照準表	
			口徑	Na							銃身長	上
3.4	10.08	7	A	9	固有	300	單発	10	白	4米板	2	2
	11	8						10	赤	右		
	14	9						10	青			
	19	16						30	白			
	21	11						30	赤			
	24	12						30	青			
	11	7					連発	10	白	丸		
	12	8						10	赤			
	13	9						10	青			
	19	10						30	白			
	21	11						30	赤			
	23	12						30	青			
	9.32	1	B	9	固有	300	單発	10	白	右		
	36	2						10	赤			
	39	3						10	青			
	42	4						30	白			
	45	5						30	赤			
	47	6						30	青			
	25	1					連発	10	白	丸		
	29	2						10	赤			
	32	3						10	青			
	39	4						30	白			
	42	5						30	赤			
	45	6						30	青			

射距離 300米 三月四日 晴

平均点		台算		台成	平均台算		台成	射手	摘要
全直	水平	全直	水平		全直	水平			
203.9	166.7	15.04	9.84	17.90				中込軍曹	
216.0	170.8	10.16	8.87	13.42	11.98	9.86	15.52	鈴木上等兵	
241.1	170.2	10.76	10.87	15.12				松崎上等兵	
241.2	152.3	17.29	35.82	39.71				中込	
252.9	182.1	22.48	21.33	30.90	24.24	27.92	36.90	鈴木	
254.2	161.9	32.97	26.62	42.32				松崎	
223.4	185.4	17.25	6.63	15.90				天野	
187.9	223.0	17.41	28.16	33.02	18.20	16.94	25.58	高倉	
191.2	242.5	19.96	16.04	25.53				手塚	
157.3	214.5	22.67	22.86	31.97				天野	
192.1	271.5	23.15	41.81	47.75	24.92	32.41	40.86	高倉	
169.6	217.1	29.15	32.55	43.65				手塚	
199.8	197.8	12.55	11.02	16.60				中込	
209.7	194.4	11.38	12.59	16.80	11.37	10.36	15.29	鈴木	
200.7	197.4	10.19	7.48	12.51				松崎	
127.0	192.3	18.91	12.79	22.74				中込	
190.3	146.9	14.81	29.60	33.10	18.15	23.24	29.48	鈴木	
208.6	168.4	20.74	27.33	34.22				松崎	
196.8	183.1	9.09	15.00	17.50				天野	
229.1	182.6	11.14	7.02	13.10	9.87	13.68	16.88	高倉	
216.7	205.0	9.40	19.02	21.20				手塚	
166.1	181.4	13.99	16.32	21.53				天野	
252.5	183.9	30.72	19.38	36.20	21.01	16.99	26.94	高倉	
219.2	202.6	18.33	15.28	23.77				手塚	

機能調整試験

月日	銃種		改修の凡 銃身瓦斯漏孔	適當な凡 調整子分画	発射弾数
	正分	No. 銃身別			
3. 4	13	2 予備 固有	4. 5	中	120 90
		4 固有 予備	5. 0 2. 5	2. 5	210
		5 固有 予備	5. 0	3. 5	150
		7 固有 予備	5. 0	4. 0	240
		8 固有	5. 0	4. 0	210
		9 固有	5. 0		
		10 固有	4. 5		

三月四日

試験官 吉川中佐

成

續

担任者

調整子(1)=アハ30発=③/回生じ(中)=ア60発連発せし故障ナシ
漏孔40=ア調整子(中)=ア概シ良好ナシ予備銃身同じク4.5^発。改修ス
現制/保=ア150発々射せし=③3回。④/回発生じ瓦斯漏孔5.0^発=改修
後更=60発々射し③/回生じルモ機能概シ可ナリ
現制/保=ア90発々射せし=③3回④/回発生じ(調整子2.5)漏孔
5.0=改修^尚調整子3.5=ア60発々射せし=機能良好ナリ
現制/漏孔7.50=改修し調整子ア2=ア150発々射せし=③3④/回
生じ調整子ア4=ア90発々射せし=機能良好ナリ
現制/漏孔7.50=改修し調整子ア4^{2.5}=ア150発々射せし=③4④後1.
④1.発生じ調整子ア4=ア60発々射せし=③2=ア照準維持困難ナリ不。

板浦工長

須藤少佐

横田雇員

機能試験

月日	銃種 区分	No	銃型	現銃子 区分	射撃別	發射彈數	故障						障 害	
							閉	抽	跳	復	要	不		
3.5	A	10	周有	2		450							1	
					150						1			
					300					1				
					450					1				
3.6					150									
					300									
					450	1								
					380									
				計		4880		1			3	1	5	1
				累計		10000								
3.4 4	B	9	周有	1		150								
					300			1		2				
				2	450			1	1	4				
					150					1				
3.5 5					300	2				3				
					450									
					150							2		
					300			1		1				
3.6					450			1		3	1			
					150					2				
					300									
					450			2		2	2			
3.6					150									
					300									
					450			5						
					380					1				

損傷其他	摘要	射手
	分解手入ス	
	分解手入ス 腔中塞城 (彈數累計 6.53 全通 8220発)	
抽筒子欠損并損 1		
尾筒左側 (注塞止衝部) 亀裂ス	分解手入ス	
	分解手入ス	
彈倉変形頻発ス (以下全シ) -- 側板開シ、修正ス	分解手入ス	
抽筒子欠損欠損 1	分解手入ス	
	腔中塞城 (彈數累計 6.56 全通 8243発)	
抽筒子欠損欠損 1		

機能試験

月日	銃 区	銃 No	機 銃 別	規 定 分 割	射撃別	発射弾数	計	抽 取	後 装	不 装	装 弾	暴 発
	B	9			計	4880		2	11	1	19	5
					果計	10,000						
3.4				2.5		150						
						300						
						450				2	6	
						150				1	1	1
3.5	13	10	固有									
						300				2		
						450				3	2	
						150		1				
						300		1				
						450				2		
						150				1		
						300					1	
						450		1		2		
						150				1		
						300						
						450				2		
						380		1		2	1	
					計	4880		4		18	11	1
					果計	10,000						

損傷其他

摘

要

射手

弾倉変形(倒板、口部)頻発ス(以下全ジ)

暴発、状況
弾倉、射撃、横桿引次、弾倉、第一発、暴発、火薬瓦斯後方、吹、弾倉、入、弾倉
内、空包、圧上、空包、弾倉、内、受筒板、上前方、跳、出、セ、ル

損傷部品

1. 銃身 薬室前方全周、歪、リ、膨、張、ス

2. 尾筒 弾倉口部両側、約、45、度、開、大、ス

3. 弾倉 両側板、開、大、ス

系同、推定

1. 前弾倉最後、一、発、カ、装、弾、際、弾、頭、部、変、心、シ、ハ、依、薬、室、込、込、シ、テ、口、部、緩、ミ、劣、化、シ、タ

衝撃、発、火、シ、テ、装、薬、火、火、キ、薬、室、前、方、停、弾、シ、テ、火、付、カ、ズ、テ、発、射、シ、ハ、シ、タ

3. 装、薬、変、敗、シ、テ、装、薬、圧、カ、少、シ、薬、室、前、方、停、弾、シ、テ、(以下全ジ)

弾倉、装、着、ス、ト、同、時、発、火、ス(頻、発、ス)

抽筒子、口部、欠、損、1

之、カ、排、除、タ、メ、逆、鉤、下、部、急、係、軸、生、命、接、ス、ル、同、部、割、切、鉤、面、上、昇、セ、シ、活、塞、ト、吻、鉤、確、実、セ、ル

撃差折損 1

横桿止駐栓脱落

腔中発減 弾数
6.56全通 (8543発)

抽筒子、口部、欠、損、1

三月五日 実視者 歩兵学校 歩兵大尉 大橋健三

測月空表 (固有銃身) 発射弾数 10,000発

銃種 銃番号 模範 中径	A				B			
	9		10		9		10	
	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾
6.5 6					通			
5 7					144	411	通	294
5 8					36	223	3	224
5 9	通		通		1	178	1	244
6 0	2	485	2	480	1	163	1	201
6.6 1	1	411	1	409	0	153	0	182
6 2	0	399	0	401		128		163
6 3		228		228		122		160
6 4		203		202		114		144
6 5		190		191		107		137
6 6		178		178		96		132
6 7		164		163		88		130
6 8		153		152		82		128
6 9		143		143		80		127
7 0		127		128		78		125
6.7 5		69		68		71		120
6.8 0		59		59		67		75

速率試験
弾痕形状

発射弾数 10,000発 三月六日

時刻	銃種		銃身		銃口		銃尾		銃口		銃尾		平均	弾痕形状 (横着弾)		射手
	正分	1/2	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾	銃口	銃尾		20米前方	50米前方	
6.1 1	A	9	固有	2/0	10	723.5	722.6	7	4	木浦上長						
2.15		10		10	10	721.7		5	2							
3.00	B	9	固有	試	6	703.0	693.4	9	11							
3.30		10		試	6	683.9		6	7							

命中試験

10,000発後 射距離 300米

月日	時刻	射順	銃		種	照尺	銃姿勢	射撃別	発射回数	色弾別	標的	照準表	
			正分	秒								上	右
3.6	11.06	1	A	9	固有	300		單発	10	白	4枚板	2	2
	12	2							10	赤			
	15	3							10	青			
	18	4							30	白			
	13.3	12							30	赤			
	27	13							30	青			
	41	14							30	青			
	11.45	7						連発	10	白	丸		
	40	8							10	赤			
	50	9							10	青			
	54	10							30	白			
	58	11							30	赤			
	12.00	12							30	青			
	10.48	1	B	10	固有	300		單発	10	白	丸		
	49	2							10	赤			
	55	3							10	青			
	11.06	4							30	白			
	27	5							30	赤			
	34	6							30	青			
	12.0	13						連発	10	白			
	22	14							10	赤			
	24	15							10	青			
	28	16							30	白			
	33	17							30	赤			
	41	18							30	青			

三月六日

平均値					公算					射撃					射手		摘要
全直	水平	垂直	水平	合成	全直	水平	垂直	水平	合成	全直	水平	垂直	水平	合成	射手	摘要	
206.6	168.8	25.19	13.58	28.50	203.5	218.7	34.66	38.17	52.30	30.20	24.63	38.92			中込軍曹		
221.0	208.7	39.65	22.06	37.78	210.9	192.8	23.59	27.83	36.40						鈴木上等兵		
					178.6	211.8	40.23	27.07	48.48	34.36	37.38	50.63			松崎上等兵		
216.9	174.2	39.27	57.26	69.32	280.5	216.4	38.13	22.92	44.48						中込	蹴 1	
234.2	240.7	30.61	12.86	33.60	179.3	228.1	26.77	47.38	54.40	31.84	28.05	42.32			鈴木	蹴 1	
156.6	234.5	29.26	20.89	31.50	163.8	184.0	21.33	41.53	46.63	25.26	33.10	41.60			天野軍曹		
166.1	212.4	25.20	37.53	45.18	190.5	166.8	40.72	25.41	47.96						高倉上等兵		
206.3	138.1	44.18	12.86	46.20	232.8	167.7	20.92	19.28	28.32	35.27	19.52	40.22			手塚上等兵		
215.8	180.3	39.71	39.91	54.26	200.6	192.3	46.93	40.51	61.92						天野		
250.3	171.9	126.86	249.61	279.12	140.9	184.5	20.06	18.10	26.94	43.32	40.21	58.21			高倉		
200.6	192.3	46.93	40.51	61.92	230.4	190.3	8.55	14.22	16.54						手塚		
140.9	184.5	20.06	18.10	26.94	202.8	216.4	22.95	16.07	27.91						天野		
230.4	190.3	8.55	14.22	16.54	161.5	179.0	25.91	20.86	33.22	22.21	21.56	30.92			高倉		
202.8	216.4	22.95	16.07	27.91	236.7	172.3	17.58	19.61	26.22						手塚		
161.5	179.0	25.91	20.86	33.22	162.6	165.8	23.14	24.39	33.52								

命中試験

月日	時刻	射便	銃			照尺	銃姿勢	射撃別	弾射弾数	色弾別	標的	照準差	
			区分	1a	銃制							上	右
36	120	7						單発	10	白	4米板右	2	2
	22	8							10	赤			
	24	9	B	9	予備	300			10	青			
	27	10						連発	30	白			
	33	12							30	赤青			
	41	13							30	青			

三月六日 気象表

時刻	天候	気温	気圧	湿度%	風向	風速
前 8 時	晴	4.5	752.8	62	295	8.3
9		5.7	752.8	54	295	3.3
10		6.9	752.7	56	0	4.5
11		7.9	752.7	48	350	4.8
12		8.7	752.7	48	350	6.3
1		8.2	752.7	48	350	4.0
2		8.4	752.7	52	340	7.1
3		7.9	752.0	52	350	12.8
4		7.9	752.0	52	350	14.3
5						

平均表			公算解			平均公算解			射手	摘要
全直	水平	合成	全直	水平	合成	全直	水平	合成		
177.8	182.2	12.97	7.30	14.88					中込軍曹	
200.6	192.6	8.27	8.30	13.05	10.80	10.12	14.73		鈴木上士	
228.3	178.2	10.17	13.76	14.83					柏崎上士	
197.8	200.6	37.85	14.05	39.90					中込	
181.0	178.7	16.74	19.20	25.41	23.13	16.63	26.97		鈴木	
204.9	223.3	15.12	16.65	22.43					柏崎	

三月七日 気象表

時刻	天候	気温	気圧	湿度%	風向	風速	摘要
前 8 時	晴	4.9	757.7	58	340	10.00	2.2
9		5.4	757.7	53	350	12.75	2.5
10		6.9	757.7	56	350	10.00	3.9
11		8.5	757.0	52	350	18.33	4.5
12		8.2	756.0	57	30	5.00	4.5
1		8.2	756.0	57	40	2.85	4.6
2		8.0	756.0	62	360	2.66	4.9
3		9.4	755.0	50	150	2.50	4.8
4		8.9	755.0	54	250	1.00	5.2
5		6.9	755.0	54	250	1.00	5.2

命中試験 10,000発 射距離 600米

月日	時刻	射候	銃	種	照尺	射撃別	発射回数	色弾別	標的	照準尺	上	右
3.7	1.02	1	A	9	周有 600	單発	10	白	4米板	2	3	
	6	2					10	赤	5			
	14	3					10	青	5			
	25	4					30	白	8米布	6	6	
	28	5					30	赤	1			
	30	6					30	青	1			
	1.00	1				連発	10	白	4米板	2	3	
	4	2					10	赤	5			
	12	3					10	青	5			
	25	4					30	白	10米布	7	6	
	28	5					30	赤	1			
	30	6					30	青	1			
3.6	2.18	1	B	9	予備 600	單発	10	白	4米板	2	3	
	21	2					10	赤	5			
	26	3					10	青	5			
	33	4					30	白	10米布	6	8	
	35	5					30	赤	1			
	37	6					30	青	1			
	2.18	1				連発	10	白	4米板	2	3	
	21	2					10	赤	5			
	25	3					10	青	5			
	33	4					30	白	10米布	6	8	
	35	5					30	赤	1			
	37	6					30	青	1			

平均尺		公算距離		平均合算距離		平均合算距離		射手	摘要
全通	水平	全通	水平	全通	水平	全通	水平		
224.6	230.9	33.11	41.24	52.82				中込軍曹	
192.0	252.6	27.80	42.41	50.70	32.77	35.85	48.43	鈴木上兵	
201.4	223.7	37.62	23.90	44.33				松崎上兵	
598.1	496.9	53.96	107.45	120.14				中込	
608.2	482.1	61.05	83.93	103.28	58.38	88.33	105.80	鈴木	
598.2	591.4	60.13	73.64	95.14				松崎	
211.5	322.0	32.25	31.19	44.73				天野軍曹	
181.3	298.4	36.62	29.87	47.20	30.33	27.24	40.70	高倉上兵	
128.3	378.6	22.12	20.68	30.19				手塚上兵	
512.3	640.0	96.85	49.64	108.72				天野	
601.1	623.0	88.39	55.57	88.00	75.01	66.18	99.72	高倉	
547.7	605.0	59.80	93.35	110.93				手塚	
156.5	199.8	26.55	20.85	33.77				中込軍曹	
154.7	250.4	6.98	20.25	21.42	21.46	23.56	43.92	鈴木上兵	
212.7	226.0	30.85	29.58	42.62				松崎上兵	
559.9	776.5	27.71	24.85	37.12				中込	
555.5	781.1	41.38	47.84	63.20	31.64	38.85	49.93	鈴木	突 1
583.6	791.7	25.82	43.86	50.73				松崎	
141.2	222.4	32.33	22.52	39.32				天野軍曹	
207.2	180.3	25.52	51.12	57.10	30.15	31.56	43.47	高倉上兵	
184.7	205.0	32.59	21.80	38.70				手塚上兵	
597.3	642.6	21.45	29.52	36.41				天野	
548.4	717.9	29.66	36.08	46.60	38.42	31.60	49.72	高倉	
569.7	718.3	64.14	29.19	70.36				手塚	

命中試驗

10.000 癸

射距離 1000 米

月日	時刻	射順	銃		照尺	射學別	發射彈數	色彈別	標的	彈			
			區分	NO						銃身別	上	右	
3.15	7	A		9	固有	1000	單發	10	白	8米布右	8	8	
	16							8	赤	1	1		
	19							9	青	1	1		
	22							10	白	10米布右	1	1	
	23							11	赤	1	1		
	25							12	青	1	1		
	8.12		7		10	固有	1000	單發	20	白	8米布右	4	2
	14		8						赤	1	1		
	15		9						青	1	1		
	40		10						白	10米布右	8	4	
	41		11						赤	1	1		
	43		12						青	1	1		
3.17	2.01	B		9	予備	1000	單發	10	白	8米布右	5	6	
	35							2	赤	1	6	1	
	306							3	青	1	5	1	
	9							4	白	10米布右	7	1	
	10							5	赤	1	1	1	
	12							6	青	1	1	1	
	2.36		40		10	予備	1000	單發	10	白	8米布右	5	5
	44		2						赤	1	1	1	
	44		3						青	1	1	1	
	47		4						白	10米布右	6	6	
	48		5						赤	1	1	1	
	50		6						青	1	1	1	

平均点		公算躲避			平均公算躲避			射手摘要
主点	水平	主点	水平	合成	主点	水平	合成	
635.3	555.6	62.58	68.36	92.53				中込
507.3	623.1	71.90	56.56	91.44	68.62	53.89	87.10	鈴木
468.1	608.3	71.39	36.71	80.26				松崎
138.9	679.9	103.06	78.45	137.15				中込
520.8	553.8	118.27	136.44	180.55	112.46	117.44	162.50	鈴木
495.4	604.2	116.07	137.45	179.80				松崎
281.0	657.0	72.77	62.01	94.35				天野
251.8	619.9	63.62	46.25	78.67	71.35	54.49	89.66	高倉
229.8	597.2	76.66	57.20	95.68				牛塚
534.6	602.0	114.16	175.34	209.22	114.72	146.56	186.00	天野
455.8	603.9	115.29	117.78	164.82				高倉
21 突合中他小込着成績捕査不能								牛塚
491.1	520.6	42.77	29.22	50.74				中込
523.7	562.5	56.22	47.32	73.44	49.99	45.20	67.20	鈴木
517.3	601.5	51.00	59.03	77.92				松崎
723.3	409.1	58.17	52.39	78.11				中込
458.6	690.3	64.81	51.50	82.76	58.85	65.50	88.01	鈴木
760.1	403.0	53.58	92.63	106.93				松崎
355.4	207.9	72.99	61.03	95.02				天野
497.5	279.1	48.38	23.42	52.94	57.76	38.87	69.52	高倉
476.1	292.3	51.90	32.16	60.78				牛塚
342.6	282.5	164.65	56.24	173.00				天野
439.1	252.5	44.59	52.62	68.90	103.08	54.98	116.71	高倉
238.1	429.2	100.00	56.10	114.62				牛塚

機能試験

※射弾数累計 15,000発

月日	銃種		口径	射撃別	発射回数	故障					
	区分	NO				閉	抽	跳	後	要	不
3.7	A	9	固有	1 普通機能	300	1					
				2 戦斗射撃	270						
					150						
					300						
				1 仰射機能 (約30°~70°)	225	1					
				2 俯角機能 (約20°~40°)	225						
					150						
3.8					300	1					
					450	1					
					150						1
				1 (100%) 2 被水機能	300						
					450	20					1
					150	1			1		2
					300						
				被砂塵機能	450	2	1				
3.9					387						
				計	4,557	22	1			1	4
				累計	15,000						
3.7	A	10	固有	2 普通機能	300					1	1
					150						
					300						
				1 仰射機能 (40°~60°)	270	1	1				
				2 俯射機能 (20°~40°)	180				4		1
					150				1		
					300						
					450	1					
3.8											

三月七日 } 晴
八日 }

損傷其他	摘要	射手
弾倉変形 一	本部長供覧	
弾倉脱落 2 (全般、其傾向アリ)		
後坐力強引で交換ス		
弾倉変形 二		
抽筒子に右折損 1	本部長供覧	
射出位置がズレ換ス		
三月七日 本部長 岸本中将 実視者 副官 日賀田大尉		

機能試験

月日	銃		種類	口径	射撃別	発射弾数	故障						障
	区分	NO					閉	抽	跳	後	退	不	
3.8	B	9	固有	2.5		150							
					被砂塵機能	300			1	1	1		1
						450	1		2		2		1
						150			3				3
						300			9		4		
3.9						253							
				計		4603	4		27	1	14	5	6
				果計		15000							
3.7	B	10	固有	2.5	普通機能	300			1				
					戦射撃	270			1		2		1
						150							1
						300					3		
					仰角機能	270					3		
						450							
					俯角機能	150					2		
						150					1		
						300			3		3		1
						450					2		
						150			1	1			
						300			1				3
				2.5, 3.5 4.0	被水機能	50	2		1	7			
				2.5		550							
				2.5, 3.0 3.5	被砂塵	300							
				2.5, 3.0 3.5	被砂塵機能	450		1	1	2	5		
3.9				2.5, 3.0 3.5		272							
				計		4442	2	1	9	10	21		6
				果計		15000							

損傷其他

摘要

射手

活塞作左側(横桿鉤部)及作前方電装ス(サ6手鉤, 活塞ト夫換ス)
彈倉変形 8.

彈倉 3.
変形

安全装置ニ於テ一発々射ヲ
(軟4射撃動作中一彈倉中途ニ安全装置ヲ變更・前進ニ能ハル地ニ於テハ瞬間発射ヲ、銃振盪・9x内筒前進セシメ)

彈倉変形ニハ突込多シ

後衛ニ4交換

活塞・後退不足ニテ射撃不能

抽筒子凡部交換ノ
活塞(内筒下面ノ串鉤部)交換(左方)
内筒(活塞上面ノ串鉤部)交換(右方)

命中試験

15,000発後

射距離 300米

月 日	時刻	射撃	銃		照尺	射撃回数	色弾別	標的	照準表		
			正分	1分					上	下	
3.9	9.56	1	A	9	固有	300	10	白	4米板	2	2
	10.07	2					10	赤	1	1	
	11	3					10	青	1	1	
	19	4					30	白	8米布	4	4
	20	5					30	赤	1	1	
	21	6					30	青	1	1	
	10.03	1		10	固有	300	10	白	4米板	2	2
	7	2					10	赤	1	1	
	10	3					10	青	1	1	
	19	4					30	白	10米布	5	5
	20	5					30	赤	1	1	
	23	6					30	青	1	1	
	47	7	B	9	予備	300	10	白	4米板	2	2
	49	8					10	赤	1	1	
	51	9					10	青	1	1	
	55	10					30	白	1	1	
	11.00	11					30	赤	1	1	
	3	12					30	青	1	1	
10.47	7	10		予備	300	10	白	4米板	1	1	
49	8					10	赤	1	1		
51	9					10	青	1	1		
55	10					30	白	1	1		
57	11					30	赤	1	1		
59	12					30	青	1	1		

三月九日

平均		公算		合計	平均公算		合計	射撃	摘要
垂直	水平	垂直	水平		垂直	水平			
194.1	174.6	38.38	39.49	54.94	32.58	34.69	47.53	中込軍曹	鈴木上兵 松崎上兵
168.8	231.9	34.78	34.13	48.64				中込軍曹	
196.2	175.2	24.59	30.44	39.02				鈴木上兵	
190.9	407.3	36.43	40.29	54.23	42.66	47.69	63.82	鈴木上兵	松崎上兵
401.17	390.1	47.90	54.61	72.63				鈴木上兵	
418.53	388.67	43.64	48.19	64.92				鈴木上兵	
191.80	114.7	43.83	23.56	49.70	28.73	20.42	35.20	天野軍曹	高倉上兵 手塚上兵
191.80	114.7	43.83	23.56	49.70				高倉上兵	
211.3	195.0	22.49	19.96	29.95				手塚上兵	
176.3	211.7	19.87	17.72	26.53	46.58	45.42	64.92	天野	高倉 手塚
442.6	490.7	42.16	32.52	53.76				高倉	
443.8	475.76	41.68	42.69	59.53				手塚	
405.0	495.26	55.19	61.04	82.20	9.32	13.11	16.13	中込	鈴木 松崎
178.5	229.0	11.77	18.00	21.44				鈴木	
136.9	300.6	8.27	10.73	13.45				松崎	
196.5	229.1	7.93	10.60	13.22	15.94	17.64	23.72	中込	鈴木 松崎
152.07	279.63	14.79	19.12	24.00				鈴木	
140.67	279.53	13.34	19.51	23.40				松崎	
196.4	259.23	19.68	14.29	24.21	15.14	10.16	18.18	天野	高倉 手塚
191.8	222.1	11.44	8.64	14.20				高倉	
203.3	201.2	14.93	12.50	19.45				手塚	
187.0	222.5	19.06	9.35	21.15	18.83	14.61	23.80	天野	高倉 手塚
170.4	212.63	22.93	14.49	27.03				高倉	
211.8	195.17	11.89	11.81	16.62				手塚	
182.4	216.4	21.67	17.54	27.80					

めくれず

命中試驗

射距離 600米

月日	時刻	射順	銃種		照尺	射擊別	發射彈數	色彈別	標的	照準	左右
			區分	N O							
3.9	11.26	1	A	9	固有	600	10	白	8布	4	3
	49	2					10	赤	右	5	3
	52	3					10	赤	右	5	3
	55	4					30	白	10布	5	4
	57	5					30	赤	右	5	3
	59	6					11	赤	右	5	3
	12.30	1					30	赤	右	5	3
	32	2					10	白	8布	4	3
	33	3					10	赤	右	5	3
	35	4					10	赤	右	5	3
	36	5					30	白	10布	5	4
	38	6					30	赤	右	5	3
							30	赤	右	5	3
							30	赤	右	5	3

三月九日 氣象表

時 刻	天 候	氣 溫	氣 壓	濕 度 %	風 向	風 速	
前 10	晴	8.6	761.6	79	180	1.81	
11		12.8	761.5	71	180	8.29	
12		13.7	760.6	59	180	10.00	
后 1		14.4	760.2	59	180	11.11	
2		14.6	759.0	60	180	16.66	
3							
4							
5							

平均算		公算		避	平均公算		避	射手	摘要
量面	水平	量面	水平		量面	水平			
121.8	491.0	487.9	72.52	87.34	66.95	82.44	106.20	中野	1.
159.1	613.7	594.6	73.33	97.30				鈴木	
220.6	572.9	92.59	101.48	137.20				鈴木	
468.2	544.5	91.43	70.62	115.40	95.77	101.17	139.20	中野	
503.7	513.2	120.99	131.01	178.20				鈴木	
501.3	598.8	47.90	101.89	126.33				鈴木	
215.5	563.1	67.32	30.56	75.70	62.37	53.50	78.32	天野	
419.4	594.5	47.68	63.97	77.62				高倉	
390.6	563.1	70.17	65.97	96.04				鈴木	
384.6	673.1	57.22	49.58	75.60	69.10	62.53	93.13	天野	
351.7	603.8	69.70	80.34	106.30				高倉	
300.3	705.4	80.23	57.66	96.14				鈴木	

測腔表 (固有銃身)

銃発射弾数 15,000発

銃種 銃番号 模範 口径	A				13			
	9		10		9		10	
	銃口 27	銃尾 27	銃口 27	銃尾 27	銃口 27	銃尾 27	銃口 27	銃尾 27
6.58					通			
59					4	305	通	
60					3	220	2	281
61			通		2	189	1	251
62	通		2	428	2	169	0	216
63	3	421	1	405	1	161		198
64	1	402	0	395	0	152		185
65	0	382		370		140		177
66		257		286		131		168
67		230		258		125		157
68		214		242		120		146
69		202		218		118		143
6.70		187		206		112		141
7.1		173		197		109		136
7.2		164		185		104		131
7.3		152		175		100		130
7.4		144		170		97		129
7.5		137		155		94		127
7.6		130		147				
7.7		109		133				
7.8		96		115				
7.9		79		91				
8.0		74		79		83		123
8.8						73		83

速率試験
弾痕形状

発射弾数 15,000発 三月十日

時刻	銃種	銃身別	発射弾数		假造	平均	弾痕形状 (横着弾)		銃手
			速率	弾径(%)			20米前方	50米前方	
11.35	A	9	固有	10	10	721.6	8	9	松浦工長
12.05		10		10	10	720.8	4	5	

昭和拾年四月八日 發送

試製輕機關銃實用試驗系統要領

昭和十年三月
陸軍技術本部

第一 試驗の目的

二種ノ試製輕機關銃ニ就テ各種ノ試驗ヲ實施シ其ノ利害並
實用上ノ適否ヲ判定シ何レノ樣式ヲ可トスヘキヲ判定シ
且必要ナル改善事項ヲ求ムルニ在リ

第二 供試兵器

步兵學校

試製A號輕機關銃 屬前共

△ B號輕機關銃

騎兵學校

試製A號輕機關銃 屬前共

△ B號輕機關銃

一銃ニ附屬スル屬前左ノ如ク

四
|
No 6. 7. 8. 9.
5. 7. 8. 9.

二
|
No 4. 10.
4. 10.

彈倉匣(彈倉三箇ヲ收容ス)

屬匣匣(予備品分解器等ヲ收容ス)

射入具裏(射入用具ヲ收容ス)

頁 華

彈倉裏實器 甲

乙

三 (B 號銃ハ一)

備考

供試銃ニ就テ左記ノ点承認セラレ度

A 號銃

1. 尾筒ノ銃身室ハノ號10號ノニ銃以外ハ薄弱ニシテ患裂
缺損ノ惧アリ將來ハノ10號ノ如ク堅牢ト爲ス予定

2. 銃ノ左側上部ニ取付ケアル四筒駐止(彈倉ノ實包ヲ射
込シタル際筒底ヲ開選位置ニ駐止セシムル作用ヲ爲ス)
ハ漸次其ノ機能不良ト爲リ却テ故障ノ因ヲ爲スニ至ル
コトアリ斯ノ如ク際ハ除去セラレ度

B 號銃

1. 彈倉薄弱ニシテ變形シ易ク之ヲ爲故障ヲ生起スルコト
多シ堅牢ナルモノヲ製作中ニ付四月下旬全部交換ス
予定

2. 銃身ハ系射彈數六七千發ニ達スルトハ命中精度著シ
ク不良トナリ実用ニ供シ得サルニ至ル但シ此ノ点ニ就
テハ研究中ニ付將來銃身命數ハ又ニ延長シ得ル見込

3. 安全裝置稍不確實ノ傾向アリ使用上注意セラレ度
將來ハ確實ト爲ス予定

4. 首部ノ試射ニ於テハ一三〇〇乃至一八〇〇發ノ不手入
射撃ヲ故障ナク實施シ得タルモ瓦斯膨脹ニ燃焼時積シ
テ汚塞ノ運動ヲ妨クルニ至ルコトアルヲ以テ使用上注
意セラレ度 將來ハ修正ノ予定

第三 試驗希望事項

實用上、現地ヨリ主トシテ左記事項ニ就テ試験ス

一、命中精度、堅牢性等、良否

二、携帶、携行、便否

三、射撃操作、難易

四、地物利用、便否

特ニB號銃ニ在リテハ打殺藥莢ヲ下方ニ撒出スル關係上
之カ實用上、適否殊ニ地物利用ニ及ホス關係

五、射撃教育、難易

六、分解結合特ニ野外ニ於ケル本操作、難易

七、構造機能、理解、取入取扱、難易

八、照門孔、適否

野外目標ニ對シテ特ニ黎明薄暮ニ於ケル照準、難易ヲ各種
地形各種距離ニ於テ實用的現地ヨリ其、適否ヲ試験ス
九、A號銃、照準具ニ張着セル夜光劑、價值並要否

一、照尺距離ハ一五〇〇米並ニテ可ナリヤ

二、横尺、左右移動量ハ此、程度ニテ可ナリヤ

三、彈倉數、適否

四、彈匣、樣式並收容數

五、彈倉填實器、適否並何レノ樣式ヲ可トスルヤ

六、銃側ニ於ケル彈倉填實、能否

七、屬元震手入具震等、適否

八、其、他實用上ヨリスル改修所要事項

以上、試験ハ現制十一年式輕機關銃トモ比較シ其、利害得
失ヲ判定セラル度

第四 成績通報期

成績ハ昭和十年五月五日迄ニ技術本部ニ通報ス

昭和十一年

八月

製造

銃輕機関銃

銃負數表

(步兵學校委託)

分

陸軍

填	裝	属	彈	彈	復	空	更	銃	A	銃	負數	銃	B	銃	負數
洗	打	銃	品	倉	倉	銃	銃	銃	(銃口蓋失)	四(10.6.7.8.9)		(消焰器失)	四(10.6.7.8.9)		
桿	板	板	差	差	差	差	差	差							
甲乙丙各一	一	大小各一	一	一	一	一	一	一							
填	裝	属	彈	彈	復	空	更	銃	B	銃	負數	銃	B	銃	負數
着	打	銃	品	倉	倉	銃	銃	銃	(消焰器失)	四(10.6.7.8.9)		(消焰器失)	四(10.6.7.8.9)		
并	復	轉	品	差	差	差	差	差							
款	生	螺	品	差	差	差	差	差							
拔	板	子	差	差	差	差	差	差							
一組	一	大小各一	一	一	一	一	一	一							

二箇
道

五箇
後

(騎兵學校委託，分)

陸軍

[illegible][illegible]

めくられず

		緩装		(分揚)		数負		(組一)		品	
		御彈		油		品		入		收	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子		逆筒子	
		器		器		差		抽筒子</			

昭和十年三月廿八日

A 號銃支機改修要領

1 號銃銃身ハ本像兩銃身共

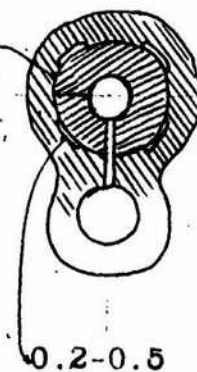
嵌合緩ナルモノ (中徑 -0.1 -0.05)

嵌合緊密ナルモノ

嵌合緊密ニシテ左圖ノ如キモノ (一)

(緊密ナラシムルコトニ特ニ注意セラレタシ)

計六ヶ



位ノ遊隙トス

5 號銃銃身ハ本像共

螺著式トシ

螺著緩ナルモノ (簡單ナル工具ニテ螺入シ得)

螺著緊密ナルモノ (工具ヲ用ヒサレハ螺入シ得ス)

二種・計四ヶ

最初コノ支機ヲ結合シ置カレタシ

秘

試製輕機関銃審査報告

昭和十年八月
陸軍技術本部調製

判決

試製輕機関銃ハ各種試験ノ成績ニ鑑ミA 號銃(當部設計南部銃製作所製)ニ所要ノ修正ヲ施シ採用スルヲ可トス

理由

A 號銃ハ機能良好ニシテ重量輕ク又相當ノ耐久性ヲ有シ命中精度モ現制十一年式輕機関銃ニ比シ著シキ遜色ヲ認メス而シテ試験成績ニ見ル如ク改修ヲ要スル点未タ尠シトセサルモ何レモ銃ノ根本的散計變更ヲ要スルカ如キ事項ニ非ルヲ以テ容易ニ改正シ得ル見込多シ
B 號銃ハ機能良好ト言ヒ難ク(更ニ改修研究セハ良好トナシ得ル見込ナキニ非ルモ)疵箇不良ノ故障ハ某程度尠其ノ生起ヲ豫想セサルヲ得ス)重量ハA 號ニ比スレハ約一珣大ニシテ主要部品ノ耐久性十分ナラス(耐久性ノ増加ハ更ニ重

量ノ増加ヲ豫想セサルヲ得ス。命中精度ハ概ネ現制十一年式輕機関銃ト大差ナク特ニ優秀ト認メ難シ又改修所要事項中ニハ稍銃ノ根本的改修ヲ要スルカ如キ事項尠シトセス以上ノ理由ニ依リB號銃ハ其ノ審査ヲ中止シA號銃ニ所要ノ改修ヲ施シ採用スルヲ可トス

各種試験ノ綜合成績及改修意見別紙ノ如シ

第三回試験輕機関銃試験綜合成績表

所見	決	判
		陸軍技術本部
		陸軍歩兵學校
		陸軍騎兵學校
		北滿冬季試験

兩機関銃共細部ニ於テハ研究改修ヲ要スル点尠カラスト雖モ機関銃シテ良好シテ命中精度又現制輕機関銃ニ比シテ若干色ナキヲ以テ而實施學校ノ實用試驗ニ附シ實用上ノ意見ヲ徴セン

A日機関銃共相當多數彈ヲ發射スルトキハ彈道若シク低下(0.5%ニテ0.1100g)スルヲ以テ墜落點ヲ改善シ實用試驗ヲ爲スヲ要ス。A號機関銃良好ニシテ故障點モ尠ク輕量モテ部品ノ毀損亦殆ト絶無。此ニ照ルニ日機関銃ハ機関若シクA號ニ比シテ簡便ナルモ重要ナル部品ノ毀損小カラシメテ各種ノ故障亦相當多ク且重量大ナルヲ以テA號機関銃ヲ採用シ之ニ別項ノ改修ヲ加フルヲ適當トス

A日機関銃共命中精度ヲ曲一層向上スルト共ニ抗堪力ヲ増加スルヲ要ス

A日機関銃ハ十年式ニ比シテ輕量ナルヲ取容容易ニシテ戰場ニ於ケル行動輕快ニシテ共實用ニ適スルモノト認ム。而シテ日機関銃ハ機関性能不良ニシテ銃加熱ニ伴ヒ彈著低下スルノ傾向アルモ他ノ全般成績良好ナルヲ以テ之等ノ缺點ヲ修正スルヲ得ハ制式ヲシムルヲ可トス

A號機関銃ハ全般成績ハ日機関銃ニ稍劣ルルモアルモ日機関銃ノ故障修正困難ナルヲ以テ制式ヲシムルヲ可トス

銃側ニ於ケル彈倉填實ハ困難ナルノ不利アルヲ以テ彈倉數増加ニヨリコノ不利ノ緩和ニ努ムルヲ要ス

A日機関銃共機能上ノ故障點力々然レトモ之等ノ故障點主として影響ヲ及ボスモノハ即斷シ難シ蓋シ常溫ニ於テモ

能機射	特種射擊機能	命中精度
仰俯射 A 概シテ良好 B 概シテ良好 被込射撃 A 概シテ良好 B 不可 被込砂射撃 A 概シテ可 B 概シテ良好 冷凍室内射撃 (100) A 良好 B 不可 不手入射撃 A 良好 B 概シテ良好	砂地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 岩石地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 傾斜地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 雨地 A 概シテ良好 B 概シテ良好	現制 比シタル色 ナキモ稍劣ル銃加熱ニ伴 ニ彈著漸次下降ス B 号銃 現制 比シタル色 ナキモ稍劣ル銃加熱ニ伴 ニ彈著漸次下降ス B 号銃 共ニ比シタル色 ナキモ稍劣ル銃加熱ニ伴 ニ彈著漸次下降ス B 号銃
砂地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 岩石地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 傾斜地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 雨地 A 概シテ良好 B 概シテ良好	砂地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 岩石地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 傾斜地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 雨地 A 概シテ良好 B 概シテ良好	現制 比シタル色 ナキモ稍劣ル銃加熱ニ伴 ニ彈著漸次下降ス B 号銃 現制 比シタル色 ナキモ稍劣ル銃加熱ニ伴 ニ彈著漸次下降ス B 号銃 共ニ比シタル色 ナキモ稍劣ル銃加熱ニ伴 ニ彈著漸次下降ス B 号銃
砂地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 岩石地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 傾斜地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 雨地 A 概シテ良好 B 概シテ良好	砂地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 岩石地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 傾斜地 A 概シテ良好 B 概シテ良好 雨地 A 概シテ良好 B 概シテ良好	現制 比シタル色 ナキモ稍劣ル銃加熱ニ伴 ニ彈著漸次下降ス B 号銃 現制 比シタル色 ナキモ稍劣ル銃加熱ニ伴 ニ彈著漸次下降ス B 号銃 共ニ比シタル色 ナキモ稍劣ル銃加熱ニ伴 ニ彈著漸次下降ス B 号銃

見所	陸軍技術本部
A號銃機不良好ナリ 全試験ヲ通シテ全銃故障率0.32% 主ナル故障 装彈不良、突込、抽筒不良、円筒駐止不良等 日號銃概シテ可ナリ 全試驗ヲ通シテ全銃ノ平均故障率0.64% 主ナル故障 疏筒不良、突込後退不足、裝彈不良、抽筒不良等	陸軍技術本部
A號銃 機能良好ナリ 供試銃4ニ就キ發射彈ハ9回中9回 主ナル故障 裝彈不良、疏出不良、突込、円筒駐止不良 日號銃 各種ノ射撃故障多シ 供試銃3ニ就キ發射彈ハ9回中百五十回 主ナル故障 疏出不良、突込、裝彈不良、抽筒不良、不発等	陸軍歩兵學校
故障ノ発生ハ11kgニ比シ傳シテラサルモ故障ノ程度輕易シテ之ヲ除去簡易ナル特徴トス而テ故障ノ主ナル原因ニ彈倉機能ニアルヲ以テ修正セリ故故障ノ著シク減少シ得ベシ 特ニ日號銃ハ彈倉機能不良甚基因スル故障ヲ不良及突込多ク後述スル如ク之ヲ再改修ウ爲ササル限り密角ニ適セス 故障回数(三銃ノ平均) A號銃 11kg B號銃 17, 50, 18 (發射彈數不明)	陸軍騎兵學校
I.O.A.銃ダ必ズ不發ヲ生シモ大ナル影響アリ 日銃座標及噴渣ノ膠着ノ爲若シ短程銃能ヲ害ス但注油及手入れ依リ故障ノ減少シ得尚最後ノ察火突込ト爲リ易シ I.N.G. A.銃是肉子上下運動ヲ不能ナラシメ治塞ノ運動ヲ妨害セリ特ニ龍鏢於テハ2發乃至8發單發ヲナシ得タルニ 日銃初發ニ於テ活憲ノ前進力弱ク突込不足又彈倉内運送ノ降下整齊ナラス屢々突込ヲ生ゼリ第三次以降特ニ龍鏢ニ於テ	北滿冬季試驗

射擊操作難易總	携行便否	両機銃共輕量且片手ニテ 携行シ得ルヲ以テ極ニ便 一便利ナラン
△銃ハ日銃ニ比シ反動稍大ナ ルモ機銃共床尾ノ直線ト 爲レルト重量ノ偏倚ナリ且 握把ヲ附セルハ射撃操作 ヲ著シク便ナラシメタルモ 認ム		
高射射撃ニアリテハ日銃ハ危 險ノ懸念ニ從来ノ如キ射撃ニ名 ニテ射撃スル方法ハ安全施函難 シ 三脚架ニ裝スル射撃手ニ在リテハ 日銃ハ葉莖脚桿ニ激突シ射 撃ノ手ニ反撥ス 脚姿變換不便ナリ又脚頭	日銃輕量ニシメ8kg以内ト 爲ス雖モ又機銃ノ角度急 トナリ右キ疲勞シ易シ 銃身止ハ銃手ニシテ觸接ニ依 リ緩解スルコトアリ 握把ハ固定スルヲ可トス	△輕量ニシテ可ナリ但シ肩當 ル部分稍狭キヲ以テ肩上ノ中 定點ノ前方ニテ落チタル傾 向アリ右キ疲勞稍多シ 但シ土庫式ノ如クニシテハ疲勞 ナカハ勿論ナリ
而銃共輕易ニ束施シ得 ルノ利アルモ尚次ノ如キ缺 点アリ A 肩銃 脚頭ノ回轉輕キヲ失ス B 日銃 脚頭ノ固定ハ傾斜地ノ 射撃ニ於テ射撃手ニ不便ナリ	而銃銃ノ害 A 日銃 握把ノ位置ハ銃ノ重心ニ 一致セス B 日銃 握把ノ終始不良ニシテ 手ヨリ抜ケル感アリ	而銃銃共大ニ便利ニシテ土庫 式ニ比シ輕快ナル運動ニ適 ス 本機式ハ有利ナル点 1 射撃ノ行動輕快迅速 ナルニテ左キ手ニ彈 某ヲ携行シ得 2 屈身匍匐前進又後 退ニ便ナリ 3 腰ガメ射撃ヲ束施 シ得
而銃共可ナリ但日銃ハ△銃 ノ如ク脚頭ヲ旋回シ得ルヲ 可トス 踵鉄ヲ機型トセハ極メテ便 ナリ		A 日銃 銃ハ輕量ニシテ携用便ナリ B 日銃 △銃ニ大ニ差ナシ

率	速	性	中	堅	精	度	命	中
B 72.5 ^m 731.5	A 725 ^m 735.3			A、概々堅牢ミシテ実用上 ニ差支ナシ B、主要部品ノ耐久性十分 ナラス又銃身ノ命数短 シ			モ六〇米以上ニ於テハ 大ナル差異ナシ	陸軍技術本部
				B 一般ノ堅牢性十分ナラス殊ニ 円筒ノ如キ主要部品ノ毀損 ハ適當ナラス				陸軍歩兵學校
				B 可ナルモ A 一般ニ部品 稍薄弱 彈倉ハ同銃并強度増 加特ニ B 三於テ然リ 損傷部品 A 照折損 2 治塞隆 鼻折損 1 用心鉄駐蟻共ノ他 小部品隆脱ス B 銃身駐螺線緩解 2 円筒折損 治塞鈎部龜裂 油筒子折損 1 1 1			基本射擊 序列 3 2 1 A 11 B kg	陸軍騎兵學校
				A、堅牢性全般的ニ十分ナラス B、部品堅牢ナリ				北滿冬季試驗

易難、取扱入手並理解機能構造	易難、作操本ルケ於外野ニ特結合
A 尾筒部ノ手入稍困難ナリ 特別ノ手入具ヲ要ス B 活塞頭部ノ手入稍困難ナリ	
共三十二年式ニ比シ容易ニシテ日号ハA号ニ比シ稍ニ容易ナリ	共三十二年式ニ比シ容易ニシテ日号ハA号ニ比シ稍ニ容易ナリ

易難、射撃動作	易難、射撃動作	易難、射撃動作	陸軍技術本部
射撃動作ノ便ト爲レルト孔照門ノ採用ハ著シク射撃教育ヲ便ナラシムルナラ			陸軍技術本部
脚先端ヲ構型トセテ地區地物ノ利用射撃位置ノ移動等ヲ著シク有利ナラシム	日号銃ハ傾斜地ニ於テハ迅速ナル射撃開始困難ナリ、A、B銃共ニ直接銃ヲ依拠スルモ支障ナシ	固定ハ適當ナラス、日号銃ハ照準困難ナリ、又横桿脱落スルコト多シ	陸軍歩兵學校
日号銃ノ向脚ノ平行移動及銃身ノ固定ハ傾斜地ニ有地ニ於ケル射撃ニ不便、打撃後下方蹴出ハ地形地物ノ利用上ニ都合ナシ	明確ニ別來シ難キモ概略照準射撃特ニ故障、照準排除等ノ動作ハ稍難シ、確操作容易トナリシヲ以テ、一般射撃教育月就中ニ本教育ハ容易ナルヘシ	脚ノ平射時移動ハ傾斜地ニ於ケル射撃ニ便ナリ、照準ハ近距離ニ於ケル射撃時著シク難シ、床尾板ノ経路不良又横桿脱落シ易シ	陸軍騎兵學校
			北滿冬季試験

⑧ 数 容 収、倉 彈 及 式 様、匣 彈	否 適、數 倉 彈	量 動 移、 横 尺
彈匣ノ形シ短彈倉ヲ輕量且 低廉ナル物トシ之ヲ消耗由トシテ 使用シ得ル如クス 現試製彈倉及彈匣ノ層輕 量ニシ且其ノ機行及技術ヲ改良 ナシムル事モ併セテ研究改定告 スルヲ要ス	彈匣ノ數ハ4箇ニテ可ナリ	左右五箇位ト爲ス可トス
彈匣ノ樣式ハ乘馬ニテハ携 行甚タ不便ナリ故ニ接合 ミシテ適當ト觀ム難シ形ヲ 「ズック」製ノ如キ型式トスルヲ 可トス（彈匣ノ收容數ハ「ゴ」ヲ 可トスルカ如キモ研究ノ余地 アリ 理由 携帶（特乘馬時）ノ際ニ於 テ現樣式ノモノヨリモ平面部カ 体ニ接セル樣式トスル方可ナリ 彈匣ノ收容數ハ携帶上ヨリ ハ「ゴ」ヲ可トシ彈倉填込困 難ヲ顧慮セハ「ハ」トスルヲ可 トスルモ重量若大ナルヘキ ヲ以テ「ゴ」箇トシ彈匣數ヲ増	彈倉數ハ12ニテハ不足ナ リ少クモ現數ノ2倍ヲ得 ル要トスル如ク思惟セラル ルモ尙將來大ニ研究ノ余地 アリ	現在ニテ可ナリ
彈匣ノ技術ノ際開扉シ易シ 又彈倉ノ收容困難ナリ		

九

離 距 尺 照	値 價 消 光 夜 照 門	照 門	照 門 址	照 門 孔	
					陸軍技術本部
		夜光消ハ其ノ必要絶對的ナリ サルモ之ヲ散クルヲ便トスルコトアリ マシムルヲ試ケルトセハ尙大キクスル ヲ要ス		中径ハ2米ヲ可トス3米ハ薄 明時ニ於ケル照準稍容易ナ ルモ精度不良ナリ	陸軍歩兵學校
1500mニテ可ナリ		夜光消ハ必要トス 夜光消ハ價值ハ相當ナル モ照準ニ時間ヲ要スルヲ 以テ要全明瞭ナラシムル如 ク夜光消ハ之ヲ發見者法 ニツキ研究ヲ要ス		孔照門ハ可ナルモ薄明煙 中發射後遠方ニ於テハ テ照準困難ナルヲ以テスル 場合ニ於テモ照準ヲ容易 ナラシムル方法ヲ研究スル ヲ要ス	陸軍騎兵學校
					北滿冬季試驗

否適ノ、器具入手品属
現制ニテ可ナリ

銃側ニ於テハ、彈庫ノ能ハ	彈庫ノ能ハ	彈庫ノ能ハ	彈庫ノ能ハ
陸軍技術本部			
陸軍歩兵学校	日ノ甲型ヲ可トシ甲乙兩種ヲ各一箇ヲ要ス		
陸軍騎兵学校	加スルコトニ依リ後者ニ要ス 求ラザルコトヲ可トセン	日ノ甲型ヲ可トス 兩銃ノ彈庫ニハ携行 便ナレトモ、彈庫ニ開閉ヲ 要ス、且大甲ノ約二倍ノ力ヲ 要ス、且送彈不良ナリ、且 手ヲ以テ甲ノ予備品トシテ 整備スルヲ可トス	據ルハ、地物ナキ地ニ在リテ 彈庫ノ予備品ヲ携行 スルニ甲型ヲ使用シテ約一分 乙ニテ約二分ヲ要シ、相当 困難ナルモ、彈庫ハ可能ナリ
北滿冬季試験	A銃モハ、砂塵附着シ易シ 日銃ノ様式ヲ可トス		

第三回試製輕機關銃試驗綜合成績ニ基ク改修意見

銃			A 號ニ對スル改修事項	意見呈出者	處 置
一	銃ノ重量ヲハ冠以內トス	歩			極力研究スヘキモハ冠五〇前後トナラン
二	銃身加熱ニ因ル彈著降下防止	技、歩			研究ヲ要ス(要試驗)
三	銃身ノ駐止ハ更ニ確實ナラシム	歩			研究ヲ要ス
四	命中精度ノ向上	技、騎			要研究、某程度迄ハ可能ノ見込(要試驗)
五	發射反動ノ輕減	技			要研究、某程度迄ハ可能ノ見込(要試驗)
六	發射速度ノ緩和	技			困難ナル見込ナルモ極力研究上實現ヲ期ス
七	抽筒子發條ノ耐久性増加	技、北			可能ノ見込
八	引鉄機能ヲ確實良好ニス堅牢性増ス	技、歩、北			單發裝置ヲ廢シ改落ト爲ス
九	銃子及同軸ノ強度増加	技			可能ノ見込
一〇	尾筒ノ銃子通路ノ強度増加	技			可能ノ見込
一一	活塞後部ノ堅牢性ヲ増ス	騎			可能ノ見込

△號ニ對スル改修事項	意見呈出者	處置
一、彈倉駐止ノ機能ヲ一層確實ニス	技	可能
二、彈倉駐止ノ把ニ圓形ノ窓ヲ穿ツ	技、騎、北	彈倉ノ殘彈ヲ見得ルタメ
三、提把ノ位置ヲ銃ノ重心ニ近接セシム	騎、北	可能ノ見込
四、瓦斯唧筒ニ瓦斯匙ケヲ置ク	北	可能
五、四筒止ハ機能確實故障ナキモノトス	歩	機能確實ナラス故障ヲ誘起スルヲ以テ廢止ス
六、脚ノ堅牢性増加	騎、北	可能
七、脚頭ノ旋回ヲ更ニ緊定ス	歩、騎、北	可能
八、床尾ヲ約三〇センチ縮ス	技	可能研究上照準ノ容易ノ重量ノ輕減
九、照尺轉輪ノ旋回方向ヲ反對ニス	技	可能裝置ノ容易化
一〇、橫尺轉輪ヲ左側ニ裝置ノ確實性増ス	技、騎、北	可能
一一、橫尺ノ左右移動量ハ左右各五センチトス	歩	可能
一二、照星ノ夜光漆ヲ更ニ明瞭ト爲ス	歩、騎	困難
一三、照門ノ薄明ノ場合ニモ照準容易ナル如クス	騎	研究ヲ要ス

一、彈倉口部ノ耐久性増加	技、歩	要研究
二、彈倉ノ色ハ茶褐色トス	歩	可能
三、彈倉内ノ殘彈ヲ見得ル如クス	騎、北	可能
四、彈倉彈匣ヲ更ニ輕量ニス	歩	困難要研究
五、彈匣ハ開扉シ易シ改正ヲ要ス	北	要研究
六、彈匣ハ彈倉ノ出シ入レヲ容易ナラシム	北	可能
七、彈匣ハ携帶投擲ニ便ナル如ク改正	歩、騎、北	要研究
八、別案トシテ消耗品トシテ使用シ得ル彈倉ノ研究	歩	要研究
九、消焰器ヲ附ス	騎	忍ビ得レハ避ケ
一〇、銃口蓋ヲ更ニ堅牢ニス	騎	可能
一一、上方防塵板ハ開扉ニ際シ長轉ナル如ク	歩、北	可能
一二、負荷環ノ位置ヲ下ク	騎	可能

A 號銃ニ對スル改修事項	意見呈出者	處置
一、彈倉填実器ハ輕金屬製ト シ耐久性ヲ附与ス	歩騎、北	可能
二、彈倉填実器Bハ予備トス	歩騎北	可能

B 號銃ニ對スル改修事項	意見呈出者	所置
銃		
一、重量ヲ八磅以内トス	歩	要研究A號銃ヨリ困難ナリ(要試験)
二、銃身加熱ニ因ル彈著降下防止	歩、騎	要研究(要試験)
三、銃身ノ駐止ハ更ニ確實ニ改正	歩	要研究
四、銃身駐止ハ下方ニ向カシムルヲ要ス	歩	要研究(要試験)
五、銃身命數ノ延長	歩	可能(要試験)
六、活塞並円筒ノ耐久性増加	歩	不可能(根本的ニ設計更)
七、円筒止ハ機能ヲ更ニ確實ナラシム	歩	可能
八、藥莢ノ蹴出方向ハ右下方ヲ可トス	歩	可能
九、円筒叩筒ニ互期越ヲ設ケ	歩	可能
十、安全裝置ヲ更ニ確實ナラシム	歩	可能
十一、抽筒子ノ耐久性増加	歩	可能
十二、蹴筒様式ノ改正	歩	可能

B 號銃ニ對スル改修事項		意見呈出者	所 置
一、復坐はカニ余カヲ附与ス	技	要研究	
二、床尾板ヲA號銃ノ如クス	騎北	可能	
三、槓桿ノ脱出防止	技、歩、騎	可能	
四、規整子ノ裝置ヲ尙容易ナラシム	騎北	可能	
五、提把ノ滑リ止ヲ附シ旋回ヲ廉ス	技、歩、騎	可能	
六、尾筒ノ彈藥滑リ込部ノ研究	技	要研究(要試験)	
七、銃尾機關ノ摩擦部減小	北	要研究(設計変更)	
八、復坐はカヲ容易ニ交換シ得ル如クス	北	可能	
九、頁革ノ綴環ノ位置ヲ下ク	騎	可能	
一〇、照星ニ夜光漆ヲ裝置ス	騎	可能	
一一、照星ノ保護裝置ハA號銃ノ如クス	歩騎	可能	
一二、横尺ノ裝置ハ二層確實ナラシム	騎北	可能	
一三、横尺ノ左右移動量ハ左右各五密位トス	歩	可能	

一、照星ノ夜光漆ヲ裝置ス	騎	要研究(要試験)
二、照星ノ保護裝置ハA號銃ノ如クス	歩騎	可能
三、横尺ノ裝置ハ二層確實ナラシム	騎北	可能
四、横尺ノ左右移動量ハ左右各五密位トス	歩	可能
五、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
六、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
七、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
八、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
九、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
一〇、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
一一、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
一二、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
一三、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
一四、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
一五、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
一六、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
一七、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
一八、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
一九、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
二〇、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
二一、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
二二、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
二三、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
二四、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
二五、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
二六、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
二七、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
二八、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
二九、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
三〇、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
三一、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
三二、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
三三、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
三四、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
三五、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
三六、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
三七、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
三八、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
三九、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
四〇、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
四一、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
四二、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
四三、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
四四、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
四五、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
四六、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
四七、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
四八、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
四九、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
五〇、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
五一、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
五二、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
五三、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
五四、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
五五、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
五六、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
五七、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
五八、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
五九、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
六〇、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
六一、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
六二、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
六三、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
六四、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
六五、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
六六、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
六七、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
六八、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
六九、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
七〇、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
七一、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
七二、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
七三、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
七四、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
七五、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
七六、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
七七、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
七八、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
七九、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
八〇、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
八一、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
八二、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
八三、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
八四、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
八五、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
八六、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
八七、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
八八、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
八九、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
九〇、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
九一、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
九二、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
九三、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
九四、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
九五、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
九六、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
九七、脚ノ取付位置ヲ更ニ後方ニス	歩	可能
九八、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能
九九、脚頭ヲ旋回シ得ル如クス	歩騎、北	可能
一〇〇、脚ノ姿勢交換ヲ更ニ容易ニス	歩	可能

A 号輕機関銃 命中精度探究試験

試験、目的

本銃、銃身、冷熱に依り、其彈着點、著しく差を生ずる傾向あり、以て其原因、探究し併せて之に對策、研究せらる。

試験、方法

旧東京兵器製造所構内射場、於て各種試験、結果、支離、裝着法に其影響、命中精度、及ホス主たる原因タルヲ概ね認定し得ラルヲ以て影響、其ハヤルカ如キ裝着法ヲサセルモノ、就て300米、於て冷熱兩状態、於て半発、命中試験、實施し其状態ヲ調査ス。

高口予輕機関銃、銃口端造腔銃ヲ施セルニ号銃、以て同一、試験、實施し其状態、依り影響、状態ヲ調査ス。

試験期日、場所

五月二日、四日

富津

試験員

吉川中佐

B 号輕機関銃 反動測定試験

試験、目的

本銃、規整子、某程度、小ナラシムルキ、反動極小ヲ得、殆ど肩、應ミヤル程度、從來其例、見サル所ナリ反動、軽減、命中精度、向上、注銃砲、採用上、重大ナル影響、及ホス、勿論銃砲、設計上、於て重大ナル關係、有スルヲ以て其原因、探究し將來、設計審査上、資料ヲ得ムトス。

試験、方法

各種銃、反動量測定機上、取付テ射撃ヲ為シ其量、比較測定ス。規正子、変化シテ之ニ依ル反動量、変化、状態ヲ測定ス。

試験期日其他、前頁ニ同シ

命中試験 (平均値・探求)

月 日	時刻	射候	銃				照尺	射撃別	装射弾数	
			銃別	銃番号	銃身別	支銃部・構造				
5. 3 晴	2.20	1	5		5号銃 (空)	螺着式	200	單 発	試本 3 10	
	2.40	2			1号銃 (本)				試本 10 9	
	3.00	3			1号銃 (予)				試本 10 10	
	3.15	4			5号銃 (予)				試本 10 10	
	3.40	5	1		1号銃 (予)	規整子分離式	800	單 発	試本 4 10	
	3.55	6			5号銃 (予)				試本 10 2	
	4.10	7			5号銃 (予)				試本 10 10	
	4.40	8			5号銃 (本)				試本 10 10	
	5.00	9	12	5号銃 (本)	規整子分離式	72	單 発	試本 3 10 10		
5. 4 晴 後 曇	10.25	1	1		1号銃 (予)	規整子分離式	800	單 発	試本 10 10	
	10.40	2			5号銃 (予)				試本 10 10	
	11.00	3			5号銃 (予)				試本 10 10	
	11.15	4			5号銃 (空)				試本 10 10	
	11.30	5	5		1号銃 (本)	螺着式	200	單 発	試本 10 10	
	11.45	6			1号銃 (予)				試本 10 10	
	12.00	7			5号銃 (予)				試本 10 10	
	12.15	8			5号銃 (予)				試本 10 10	
	12.30	9			5号銃 (予)	銃込式 (おさ上)	500		試本 10 10	
	12.45	10			5号銃 (予)	試本 10 10				
	12.55	11			5号銃 (予)	支銃ノ離脱ス (耳折漏孔閉塞ス)			試本 5 10	
	1.00	12			5号銃 (予)	規整子分離式・ 支銃ノ最著ス (耳折漏孔閉塞ス)			試本 4 10	
	1.15	13	B	2	5号銃 (予)	200	300		單 発	試本 10 10
	1.30	14			5号銃 (予)					試本 10 10
	1.45	15			5号銃 (予)					試本 10 10
	2.00	16			5号銃 (予)					試本 10 10

射距離 300米 DB 10.5 3 晴 4 晴・曇 於 寧 津

射撃時期	標的	照準		平均		射撃	摘要
		上	右	重直	水平		
最初	4米板の (以下42)			270	165	古川中佐	軽三脚架ヲ用テ
30発連発後		2	2	225	170		
最初				270	225		
30発連発後				175	240		
最初				215	225		
30発連発後		2	2	225	205		
最初				175	190		
30発連発後				150	190		
最初		2	2	245	205		
30発連発後				205	235		
最初				240	205		
90発連発後		2	2	175	220		
最初				175	195		
90発連発後				130	175		
最初				310	130		
90発連発後				180	110		
最初				325	200		
90発連発後				120	245		
最初		2	2	250	205		
90発連発後				140	230		
最初				240	220		
90発連発後				270	270		
最初				170	175		
90発連発後				190	240		
最初		2	2	195	155		
90発連発後				110	155		

命中試験 (平均値・探究)

月 日	時刻	射撃	銃		銃身別	銃口部・構造	照尺	射撃別	発射弾数
			銃別	銃番号					
5.5	8.30	1	A	5	5号 (空)	螺 瓦新漏孔 閉塞ス	200	単発 (以下全)	試 本 10
		2				瓦孔 開放ス	200		10
		3				瓦孔 開放ス	200		10
	9.00	4				瓦孔 開放ス	200		10
		5				瓦孔 開放ス	200		10
	1.15	10			1号 (本)	螺著式			10
		11				瓦孔閉塞ス	200		10
		12				支施照望全卸 脱ス(照望ナレ)	200		10
	2.00	13				瓦孔閉塞ス	200		10
		14				螺著式			試 本 10
	3.10	19			2 本		400		試 本 10
		20							10
		6							試 本 10
	2.30	17			6 試製	(瓦新漏孔位置後 方ニシテ)	400		試 本 10
		18							10
	11.10	8			十一年式	21059 制式	300		10
		9							
5.6	4.06	5	A	5	1号 (本)	支施照望全卸 ヲ脱ス (照望ヲ附ス)	600		試 本 13 10 10
		6							
	4.25	7			5号 (空)	全 上	500		10 10
		8							

射距離 300米 照 10.5.5 晴 於 富 津

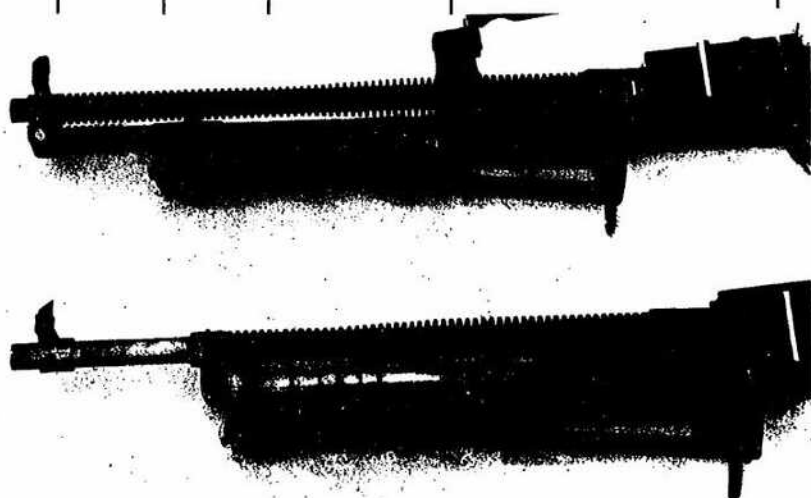
射撃時期	標 的	照準具		平均弾着点		射 手	摘 要
		上	右	垂 直	水 平		
最 初	4米板の (以下全)	2 (以下全)	2 (以下全)	200	185		
90度連発後				185	190		
冷却セム				240	175		
冷却状態				215	175		視察子ヲ脱ス
				305	180		視察子ヲ著ス
最 初				275	220		
90度連発後				85	255		
冷却セム				305	215		
最 初				150	225		
90度連発後				185	120		
最 初				235	195		銃ヲ横ニ倒シテ 射撃ス(上ノカニ)
90度連発後				235	85		
最 初				160	210		
90度連発後				100	210		
最 初				220	225		
90度連発後				185	215		
最 初				185	175		
90度連発後				195	175		
最 初				230	200		
90度連発後				255	210		
最 初				180	210		
90度連発後				180	200		

反動測定試験

小銃、射撃台=装置レ
其、後坐長ヲ比較測定ス

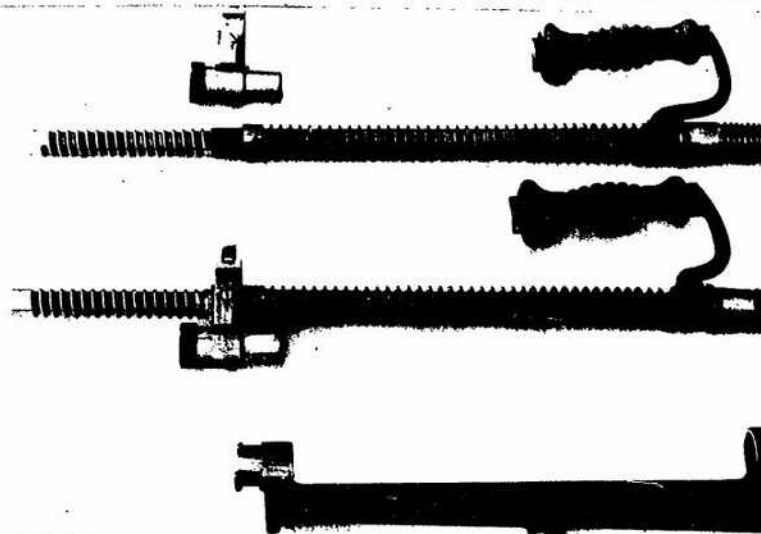
月 日	銃 種	銃 別	銃 番 号	原 形 子 分 画	其 他	反 動 量 (後 坐 長) 能	平 均
5. 5	A LMG	1	5		瓦斯漏孔閉塞ス	29. 33. 28. 29. 30	29
					同 開放ス	28. 31. 28. 28. 29	29
	B LMG	2		小		20. 20. 21. 21. 23	22
						24. 22. 21. 22. 23	22
		2		大		18. 15. 16. 18. 18	17
						18. 17. 17. 15. 15	17
		6			消焰器ヲ除ク	17. 16. 18. 15. 16	17
						17. 17. 18. 18. 19	18
	十一号式 LMG	31059	10	18	瓦斯漏孔位置ヲ 後方ニ改修シタル	24. 23. 24. 23. 23	23
						22. 22. 22. 21. 24	23
	丙自小	8				21. 23. 23. 23. 23	23
						22. 22. 24. 24. 22	23
	三八式 歩兵銃					28. 30. 30. 28. 28	29
						29. 29. 28. 29. 29	29
	四四式 騎銃	94969				32. 31. 31. 33. 33	32
						33. 32. 33. 33. 32	32

B号
施銃部ノ銃口端迄延長スルモノ

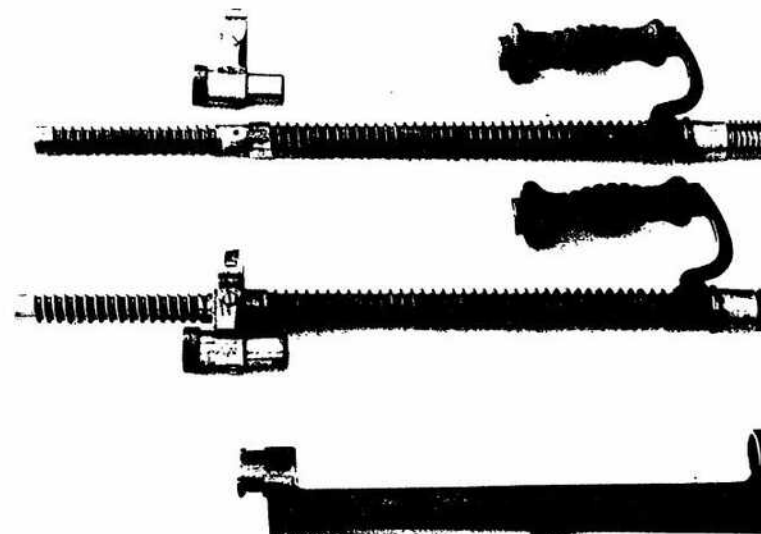


A号

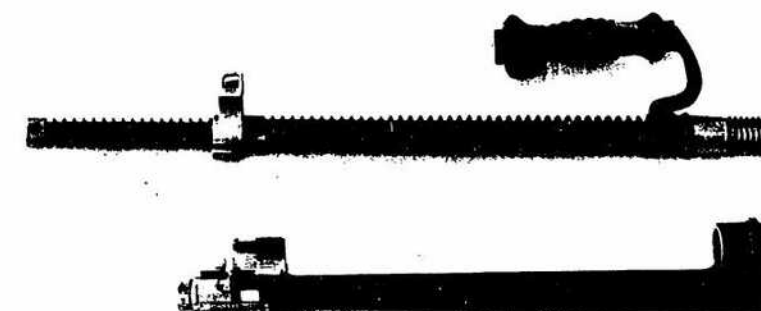
支箍螺着式



支箍嵌込式



規整子分離式



めくれず

本部長 岸本中將 } 八月三十日
第一部長 中島中將 }
總務部 小久保少佐 }
鑑器班 石塚大尉 } 八月三十日～九月一日

試製輕機関銃 第四回試驗要領
(步騎兵學校卜連合)

回次	報告年月	報告書號
一	昭和九、一〇	陸軍省試験部第二〇號
二	一〇、一	四號
三	一〇、五	五號

試製輕機關銃第四回試験要領 (步騎兵學校ト連合)

第一 試験ノ目的

第三次試製輕機關銃ノ當部ニ於テ實施セル試験並步騎兵學校ニ於テ實施セル實用試験ノ綜合成績ニ鑑ミ別紙改修要領ノ改修(現試製銃ニ加修シ得ルモノミ)ヲ加ヘタルA號輕機關銃ニ就キ其ノ改修ノ當否ヲ檢セントス
改修セル矣 別紙ノ如シ

第二 供試兵器及材料

一 試製A號輕機關銃

六

二三八式銃實包

四〇〇〇

第三 試験ノ方法

一 試験ヲ分ケテ陸軍技術本部委員ニテ計重スル試験及陸軍技術學校委員ニテ計重スル試験トス

ニ技術本部委員ニテ計画スル試験項目左ノ如シ

1. 命中試験 方眼のニ対シ

銃身加熱ニ伴フ彈着ノ移動量試験

照門孔ノ大小カ命中精度ニ及ボス影響

2. 銃身ノ制退裝置ト反動軽減ノ度

3. 其ノ他銃床ノ短縮脚頭ノ緊定引鉄ノ機能等カ射撃操作ニ及ボス影響(基礎的事項ノミ)

ニ歩騎兵学校委員ニテ計画スル試験項目 附表ノ如シ

試験計画ハ試験前日ニ現地偵察ノ上委員長ニ提出スルモ

四. 試験実施予定 附表ノ如シ

第四 試験期日及場所

一期 日 自昭和十年八月二十八日 至今 八月三十一日

ニ場所 富津射場

第五 試験委員

技術本部ヨリ参加スル委員

長 陸軍砲兵大佐 河内權五郎

步兵中佐 吉川喜芳

騎兵少佐 須藤所治

步兵学校ヨリ参加スル委員

將校 五名

騎兵学校ヨリ参加スル委員

將校 四名

右ノ外兩学校ヨリ下士官一兵二名宛参加スルモトス

附記

一. 委員ハ昭和十年八月二十八日午後 富津射場ニ集合シ

全八月三十一日會議終了後解散スルモトス

ニ. 本試験ニ要スル經費ハ陸軍技術本部ノ負担トシ経費ノ

旅費ハ實費、旅令給養ハ陸軍旅費規則第五表倍額以
トス

考		
1. 旅費	2. 旅令給養	3. 陸軍旅費規則第五表倍額
4. 旅費	5. 旅令給養	6. 陸軍旅費規則第五表倍額
7. 旅費	8. 旅令給養	9. 陸軍旅費規則第五表倍額
10. 旅費	11. 旅令給養	12. 陸軍旅費規則第五表倍額
13. 旅費	14. 旅令給養	15. 陸軍旅費規則第五表倍額
16. 旅費	17. 旅令給養	18. 陸軍旅費規則第五表倍額
19. 旅費	20. 旅令給養	21. 陸軍旅費規則第五表倍額
22. 旅費	23. 旅令給養	24. 陸軍旅費規則第五表倍額
25. 旅費	26. 旅令給養	27. 陸軍旅費規則第五表倍額
28. 旅費	29. 旅令給養	30. 陸軍旅費規則第五表倍額
31. 旅費	32. 旅令給養	33. 陸軍旅費規則第五表倍額
34. 旅費	35. 旅令給養	36. 陸軍旅費規則第五表倍額
37. 旅費	38. 旅令給養	39. 陸軍旅費規則第五表倍額
40. 旅費	41. 旅令給養	42. 陸軍旅費規則第五表倍額
43. 旅費	44. 旅令給養	45. 陸軍旅費規則第五表倍額
46. 旅費	47. 旅令給養	48. 陸軍旅費規則第五表倍額
49. 旅費	50. 旅令給養	51. 陸軍旅費規則第五表倍額
52. 旅費	53. 旅令給養	54. 陸軍旅費規則第五表倍額
55. 旅費	56. 旅令給養	57. 陸軍旅費規則第五表倍額
58. 旅費	59. 旅令給養	60. 陸軍旅費規則第五表倍額
61. 旅費	62. 旅令給養	63. 陸軍旅費規則第五表倍額
64. 旅費	65. 旅令給養	66. 陸軍旅費規則第五表倍額
67. 旅費	68. 旅令給養	69. 陸軍旅費規則第五表倍額
70. 旅費	71. 旅令給養	72. 陸軍旅費規則第五表倍額
73. 旅費	74. 旅令給養	75. 陸軍旅費規則第五表倍額
76. 旅費	77. 旅令給養	78. 陸軍旅費規則第五表倍額
79. 旅費	80. 旅令給養	81. 陸軍旅費規則第五表倍額
82. 旅費	83. 旅令給養	84. 陸軍旅費規則第五表倍額
85. 旅費	86. 旅令給養	87. 陸軍旅費規則第五表倍額
88. 旅費	89. 旅令給養	90. 陸軍旅費規則第五表倍額
91. 旅費	92. 旅令給養	93. 陸軍旅費規則第五表倍額
94. 旅費	95. 旅令給養	96. 陸軍旅費規則第五表倍額
97. 旅費	98. 旅令給養	99. 陸軍旅費規則第五表倍額
100. 旅費	101. 旅令給養	102. 陸軍旅費規則第五表倍額

附表

試製輕機関銃連合試驗實施豫定

日次	試驗項目	射距離	彈藥	銃數	摘要	備考
28日	委員集合並準備					
29日	銃身加熱=伴、彈着点偏移=開スル命中試驗	300米	加熱前 放 射 加熱后	10 120 10	銃身、冷却ヲ待テテ 各銃3回反覆ス	組 直 方 眼 的
		300米	3#照門 25#照門 2#照門	20 20 20		
		600米	全上	全上		
30日	照門孔、差=依ル 命中精度比較試驗				枝歩、騎=テ一回 迄各銃=テ實施 ス	本射擊間=於テ改修セル本項即 テ引鉄、機能、反動輕減、度、亦尾 短縮カ照準=及ホス影響、改修セ ル脚カ照準操作=及ホス影響等 ヲ檢ス
30日	1. 反動輕減、度 2. 引鉄、具合 3. 彈倉内、残彈ヲ見得ル如クセル装置、実用的價值 茲之=依リ円筒駐止、要否 4. 短縮銃床、照準、難易 5. 脚、姿勢变换並脚頭固定、程度 6. 照門孔、大小、照準、難易(實際目標=對)並命中精度、關係 7. 肩革離環、位置 8. 彈倉移行法、研究				生地=於テ實際的人像目標 =對テ簡單ナル狀況、下= 各種、射擊ヲ實施シ主トシ テ左記、如キ項目=就テ 研究射擊ヲ實施スルモト ス。 供試銃 各枝 3 彈 藥 各枝 1,500	1. 細部、計畫ハ兩實施學校=於テ現地 偵察、上立案ス 2. 本試驗項目以外所要=應シテ必要 ナル試驗ヲ實施スルヲ得。
31日	午前 試驗結果=基キ委員會ヲ開キ審議ス 午後 解散					

[illegible]

銃番号

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| 一、銃身加熱ニ依ル彈著降下防止ノ爲左記ニ案ヲ裁製ス | |
| 1. 支箍ヲ銃身ト一体トシ之ニ規整子室ヲ裝着ス | 5. 6. 9. 10 |
| 2. 規整子室ヲ分離シ脚ヲ瓦斯漏孔ノ位置ヨリ前方ニ | 4. 11. |
| 附ス | |
| ニ銃身ニ制退裝置ヲ設ク(反動軽減、命中精度向上) | 4. 9. 10. 11. |
| 三、引鉄ノ單發裝置ヲ廢ス(機能ノ確実ト機構簡易ノ爲) | × |
| 四、尾筒ノ彈倉駐子ノ把ニ窓ヲ設ク(彈倉ノ残彈ヲ見得ル爲) | 全部 |
| 五、床尾ヲ約三〇耗短縮ス(照準ヲ容易ナラシム) | 9. 11. |
| 六、脚頭ノ旋回ヲ緊定ス(射撃操作ヲ便ナラシムル爲) | 全部 |
| 七、脚頭ノ取付ヲ改ム(姿勢变换ヲ容易ナラシムルト共ニ堅牢トス) | 4. 11. |
| 八、照門孔ノ中径2.25. 3耗ノ三種ヲ裁製ス | 6. 9 |
| (照準ノ容易ト命中精度トノ關係ヲ研究シ照門孔ノ中径ヲ決定シントス) | |

一、彈藥離環ノ位置ヲ下ノ（頁銃ヲ便ナラシムル爲）

二、彈倉後面ニ穿孔ス（彈倉内ノ殘彈ヲ見得ル爲）

三、四筒駐子ヲ添ス（尾筒ノ堅牢性増加ト機構ノ簡易ノ爲）

四、彈倉進行囊ニ種裁製

（頁阻礙輕減ト進行ノ便ノ爲）尚彈倉ノ保護ノ良否ヲ顧慮
スルコト必要ナリ

本機行囊ハ實用試驗ニ附スル豫定

(第一回) 銃身加熱=伴、彈着点
偏移=関スル命中試験

射距離 300米

順	時刻	銃番号	銃姿勢	射撃別	銃外状態	発射弾数	標的	照準具(度)	平均	誤差
1	8.47	1号銃	固有脚	単発	加熱前	10	右 4米板	2	2	177.3 217.1
2					加熱後	10	左	1	1	81.8 204.0 8発命中
15	9.25	4			前	10	左	3	3	212.6 197.7
16					後	10	左	1	1	181.3 172.4
27	10.26		三脚架(低)		前	10	左	1	1	206.8 233.2
28					後	10	左	1	1	113.8 208.2
5	8.58		固有脚		前	10	右	2	2	168.1 196.3
6					後	10	左	1	1	77.0 186.6 9発命中
19	9.49	5			前	10	左	3	3	226.1 192.9
20					後	10	左	1	1	108.4 182.0
31	10.39		三脚架(低)		前	10	左	1	1	164.9 217.9
32					後	10	左	1	1	142.8 183.1
31	1.47		固有脚		前	10	右	1	1	138.7 235.6
32					後	10	左	1	1	89.3 180.0
9	9.07	6	固有脚		前	10	左	2	2	162.5 261.9
10					後	10	左	1	1	92.7 281.6
23	9.58				前	10	左	3	3	231.5 271.7
24					後	10	左	1	1	142.3 271.7
3	8.47	9	固有脚		前	10	左	2	2	133.6 222.4
4					後	10	左	1	1	5発命中
13	9.25				前	10	右	3	3	290.3 254.6
14					後	10	左	1	1	185.6 240.8
7	8.58	10	固有脚		前	10	左	2	2	138.2 229.4
8					後	10	左	1	1	84.9 156.1 7発命中
17	9.29				前	10	右	3	3	244.0 184.1
18					後	10	左	1	1	190.5 140.2

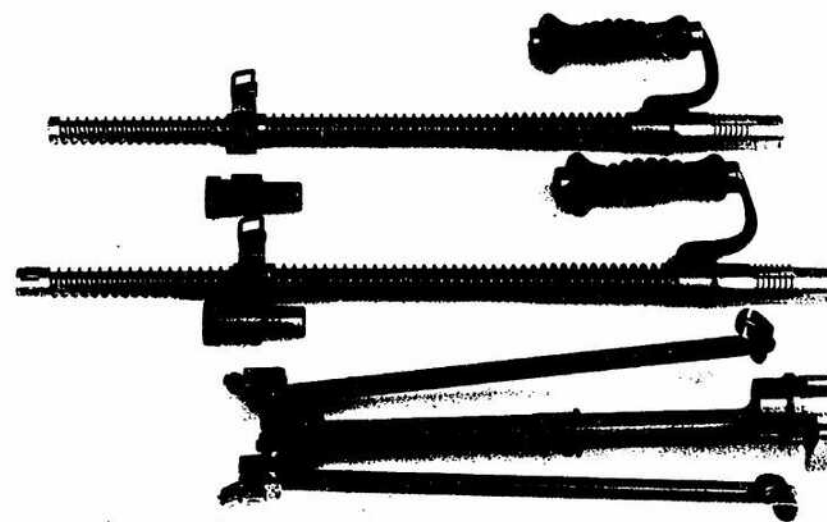
昭和10.

8月28日 晴

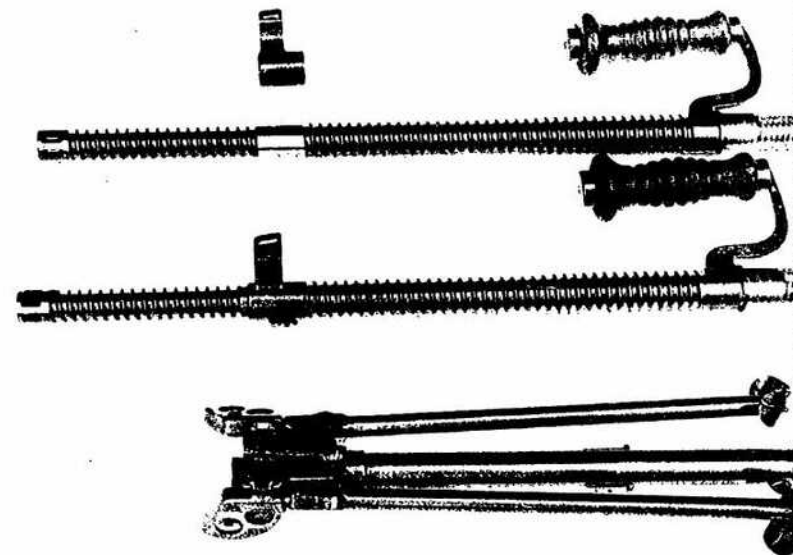
於富津

公算観望			20 公算観望			射手	摘要
全高	水平	全成	全高	水平	全成		
18.97	19.70	27.35	16.12	17.21	22.65	歩兵 中込軍曹	
13.27	14.91	19.96	41.04	18.02	44.82	"	
19.85	15.72	25.32	16.38	17.16	24.08	騎兵 橋本一等兵	
12.92	19.60	23.47	19.02	18.38	26.57	"	
10.48	18.50	21.26	9.22	12.42	16.24	騎兵 強間軍曹	
8.16	8.34	11.66	39.89	16.31	34.09	"	
14.18	13.81	19.79	14.28	12.23	16.94	歩兵 木下一等兵	
8.37	10.64	13.53	39.45	12.62	41.42	"	
19.50	17.23	26.02	20.11	16.14	25.03	騎兵 強間軍曹	60 米追加
20.72	15.86	26.09	52.26	18.96	55.59	"	
14.18	14.34	20.16	14.09	16.13	22.08	"	
16.00	19.92	24.02	18.16	20.03	27.03	"	
14.04	16.18	21.42	14.13	18.24	22.07	歩兵 越智一兵	支援銃部7機7弾肉
12.26	20.31	23.72	22.27	25.37	33.77	"	
14.43	9.01	17.01	22.96	18.15	30.30	"	
33.48	28.08	43.69	38.31	18.54	42.56	"	
29.67	31.30	43.12	22.91	24.04	31.56	騎兵 強間軍曹	150 米追加
37.15	16.78	40.76	46.24	22.15	51.27	"	横杆止駐栓解除
14.43	17.90	22.98				騎兵 兄玉一等兵	
12.20	5.09	13.20	19.91	17.33	26.29	歩兵 中込軍曹	
27.62	29.58	40.47	46.27	24.85	52.52	"	
15.32	12.55	19.80	13.19	11.31	19.29	騎兵 兄玉一兵	
11.07	10.07	14.96	23.71	35.14	42.39	"	
32.96	15.23	36.31	22.10	14.72	28.72	歩兵 木下一等兵	
14.25	18.21	23.12	52.12	23.79	57.56	"	

射撃時刻	銃番号	銃姿勢	射撃別	銃身状態	発射弾数	標的	照準	平均	誤差
29	10.31	三脚架(低)	單發	加熱前	10	右 4米板	3	217.1	214.0
30				加熱后	10			116.3	150.9
33	1.47	固有脚		前	10	左		194.7	178.5
34				后	10			99.6	67.4
11	9.16	固有脚		前	10		2	142.0	221.5
12				后	10			113.3	182.8
21	9.50	固有脚		前	10	右	3	245.2	238.0
22				后	10			209.4	207.3
25	10.17	三脚架(低)		前	10			224.0	270.0
26				后	10			193.6	254.1



公算距離	平均公算距離	射撃手	摘要
8.09	10.87	13.55	歩隊中込軍曹
11.61	18.28	21.65	騎隊中込軍曹
17.84	11.94	21.14	騎隊中込軍曹
15.86	11.58	19.63	騎隊中込軍曹
20.85	11.76	23.93	騎隊中込軍曹
18.98	17.14	20.91	騎隊中込軍曹
12.26	11.22	15.76	騎隊中込軍曹
16.32	8.53	18.41	騎隊中込軍曹
21.74	13.72	25.70	騎隊中込軍曹
12.93	13.29	18.47	騎隊中込軍曹



照門孔，差 = 依ル
命中精度比較試験

射距離 300 米

射順	時刻	銃番号	照門徑 (mm)	銃姿勢	射撃時	発射弾数	標的	照準誤差			平均
								上	右	偏差	
1	11.02	6	3.0	肩有脚	吊発	白 20	右4米板	3	2	312.9	258.6
2			2.5	青	20	青	263.6	252.9			
3			2.0	赤	20	赤	260.7	279.9			
10	11.20		3.0	白	20	白	192.6	231.7			
12			2.5	青	20	青	216.9	234.9			
14			2.0	赤	20	赤	202.7	244.7			
16	11.38		3.0	白	20	白	203.7	251.5			
17			2.5	青	20	青	243.9	234.4			
18			2.0	赤	20	赤	204.4	291.8			
22	11.51		3.0	白	20	白	301.3	282.7			
23			2.5	青	20	青	224.0	243.6			
24			2.0	赤	20	赤	255.5	258.9			
25	12.06	3.0	白	20	白	207.2	256.5				
26		2.5	青	20	青	215.7	261.9				
27		2.0	赤	20	赤	222.8	260.0				
4	11.02	9	3.0	白	20	左	白	218.0	246.9		
5			2.5	青	20	青	227.6	221.6			
6			2.0	赤	20	赤	257.7	232.4			
7	11.20		3.0	白	20	白	262.4	239.1			
8			2.5	青	20	青	214.8	218.4			
9			2.0	赤	20	赤	231.4	229.2			
13	11.35		3.0	白	20	白	170.9	224.1			
14			2.5	青	20	青	205.0	238.4			
15			2.0	赤	20	赤	181.7	221.5			

8月30日 晴 於富津

台	算	算	算	射手	摘	要
偏差	水平	台	誤			
30.68	12.99	35.56		歩		
15.22	15.40	21.65		中込軍曹		
21.00	15.66	26.19				
21.25	14.86	25.93		歩		
31.38	17.90	36.13		南部大尉		
28.83	31.28	42.54				
26.63	21.91	34.48		歩		
23.45	29.88	37.98		大橋大尉		
38.52	15.99	40.29				
24.81	38.80	47.09		歩		
24.63	14.16	28.39		藤林中尉		
20.34	18.37	28.08				
24.63	11.71	27.27		歩		
20.64	15.84	26.02		木下一等兵		
20.14	12.49	23.69				
29.22	22.88	37.11		騎		
22.70	14.99	27.20		兒玉一等兵		
14.18	16.95	21.71				
36.18	22.33	42.52		騎		
24.44	14.07	28.20		橋本一等兵		
19.06	15.85	24.79				
19.05	17.01	25.53		騎		
19.72	12.88	23.55		島倉中尉		
23.20	23.07	32.72				

時刻	時刻	銃番号	照門値	銃姿勢	射撃別	発射弾数	標的	照準尺	平均尺
19	11.49	9	3.0	固有脚	単発	白 20	花4米板	3	2
20			2.5	,	,	青 20	,	,	,
21			2.0	,	,	赤 20	,	,	,
28	12.06		3.0	,	,	白 20	,	,	,
29			2.5	,	,	青 20	,	,	,
30			2.0	,	,	赤 20	,	,	,
								1833	252.2
								136.7	272.1
								180.1	296.3
								185.0	242.9
								196.3	270.9
								194.0	270.7

八月三十日 気象表

時刻	天候	気圧	気温	湿度	風向	風速
前 8.00	晴	751.4	26.1	86	190	4.5
30		751.9	26.4		200	4.0
9.00		752.2	26.5			2.9
30		752.3	26.9	83		
10.00		752.4	27.2		210	3.3
30		752.6	27.3	79		5.6
11.00		752.7			220	
30			27.1	83	210	5.9
12.00		752.6		87		5.0
30		752.8	27.2	91		
1.00			27.4	87		
30		752.7	27.3	83		
2.00			27.7		210	5.9
30			27.6		210	6.7
3.00			27.7	79	240	3.3

公算	標	距離	射撃	摘要
25.43	24.17	32.96	射角中尉	
16.60	20.98	26.75		
18.61	17.37	25.45		
21.41	23.37	31.69	射角同軍曹	
11.55	11.48	16.28		
17.69	14.51	24.19		

(第2回) 銃身加熱に伴う弾着点
偏移=関スル命中試験

射距離 300米

射撃時刻	銃種	銃姿勢	射撃別	銃身状態	発射弾数	標的	照準具				平均
							上	右	左	下	
1	1.48	甲(造型)	固有脚	単発	加熱前 10 加熱後 10	右4米板	2	2	178.8	123.7	
2		4号							192.8	196.2	
3	1.48	乙(南部製)			前 10 後 10	左			112.7	180.5	
4		4号							180.5	180.5	
5	2.12	A	銃身基部に 筒-鉛着弾 是		前 10 後 10	右			116.0	174.9	
6									69.8	192.2	
7	2.34	5号	固有脚 銃口部木枕 -7倍托ス		前 10 後 10				218.4	159.7	
8									170.3	189.0	
9	2.26	A	固有脚 銃身基部に		前 10 後 10	左			223.1	148.5	
10									126.6	149.1	
11	2.51	6号	固有脚 銃口部木枕 -7倍托ス		前 10 後 10				281.0	108.4	
12									280.6	159.3	
13	3.07	A	固有脚 銃身-4号銃 12.19用7		前 10 後 10	右			214.3	160.1	
14									237.6	182.9	
15	3.30	A	固有脚 銃身-11号銃 12.19用7		前 10 後 10				187.9	179.1	
16		4号							114.1	196.3	
17	3.45	A	固有脚 銃身-11号銃 12.19用7		前 10 後 10	左	2		147.3	168.3	
18		5号							82.0	199.3	
19	4.04	4エツコ	固有脚		前 10 後 10				187.5	170.7	
20		6355号							147.1	193.8	

8月31日 小雨

於 富津

公算照準	公算照準	公算照準	公算照準	公算照準	公算照準	射撃	備考
6.88	12.33	14.11	8.84	11.90	18.02	吉川中佐	
10.80	19.07	21.91	9.12	33.34	34.56		
16.18	10.51	19.29				須藤少佐	銃身加熱部ノ輕合金ニテ製作 スルニテ改造シタル(正田ニテ)
15.86	9.91	18.90	11.11	8.47	16.33	吉川中佐	
12.11	7.03	14.00	25.32	5.98	26.01		
14.07	16.89	21.98	11.12	11.85	18.16	吉川中佐	照尺400
14.39	6.80	15.91	23.34	16.49	28.58		
14.70	15.14	21.10	19.84	16.06	26.18	須藤少佐	照尺400
24.98	17.37	30.42	42.46	16.04	45.39		
12.12	26.16	28.82	12.26	11.18	23.78	吉川中佐	
12.40	12.79	17.43	11.98	30.42	32.69		
15.18	17.23	22.96	15.75	20.59	25.92		照尺800
15.61	17.12	23.16					
13.45	12.94	18.66	32.95	12.75	35.33		照尺200
6.15	11.19	12.76					
11.56	10.37	15.53	29.74	14.44	33.06		照尺400
12.75	11.49	17.16					
21.11	9.18	23.02	20.52	12.14	23.84		
11.87	10.70	15.98					

(第三回) 銃身加熱に伴う弾着点
偏移=関スル命中試験

射距離 300米

射順	時刻	銃種	銃姿勢	射撃別	銃身状態	発射弾数	標的	照準誤 上 下	平均 誤 垂直 水平
11	9.20	甲(連=次製) 4号	固有脚	單發	加熱前 加熱后	10 10	右 4米板	2 2	187.1 177.3
12									181.7 195.2
17	11.20	A 4号	"	"	前 后	10 10	"	"	235.3 214.0
18									181.3 208.4
19	11.35	A 11号	"	"	前 后	10 10	左	"	172.4 180.5
20									156.8 188.5
13	9.35		"	"	冷間	10	右	"	230.1 214.0
14	9.40	乙	"	"	"	10	"	"	186.2 211.2
15	9.50	4号 (輕合金製) 放熱筒	"	連發 單發	" 加熱后	10 10	"	"	173.1 211.7
16	10.10		"	"					200.8 174.1
25	1.45		"	"	冷間	10	"	"	210.6 183.0
26	1.50	乙	"	"	引 銃	10 10	"	"	193.4 197.8
27	1.53	2号 (輕合金製) 放熱筒	"	連發 單發	" 加熱后	10 10	放 300	"	203.3 209.3
28	2.20		"	"					203.5 226.7

9月2日 小雨 於富津

公算弾道			20発公算弾道			射手	摘 要
垂直	水平	合成	垂直	水平	合成		
12.59	15.90	20.28	10.04	13.20	16.58	吉川中佐 (以下全)	照尺500
8.89	10.51	13.76					
13.01	5.88	14.27	24.70	9.45	26.44		照尺500
17.96	13.01	22.18					
7.41	3.39	8.15	10.53	7.59	12.98		約150発位=放熱筒前部1様 合部及銃身中央部能裂ス
9.66	8.55	13.20					
10.25	23.52	25.65					約300発位=放熱筒前部1様 接合部能裂ス
16.20	13.40	21.02					
16.47	22.31	27.73					
16.57	13.97	21.68					
21.46	14.43	25.86					
13.83	18.00	22.69					
13.23	11.01	17.21					
20.58	18.75	27.84					

試製銃口制退器試験 9月2日 津市

時刻	銃種	銃姿勢	規格子 分四	制退器	銃後退量 毎回 平均	射手
	甲号輕機 10号	試製反動測定用射撃台 (三脚架)	2.2	有リ	11. 12. 10	吉川中佐
					10. 10. 12	
					10. 10. 12	
					12	
			2.2	無シ	15. 15. 15	
					15. 15. 15	
					15. 15. 15	
					15	
			0	有リ	21. 18. 20	19
					20. 18. 20	
					18. 20. 18	
					18	
			0	無シ	18. 22. 20	22
					19. 20. 23	
					26. 20. 25	
					23	

氣象表

月・日	時刻	天候	気圧	気温	湿度%	風向°	風速 ^m
8.31	1.00	小雨	756.9	21.7	90	60	7.14
	3.00		756.7	21.6	85	.	"
	2.00		756.9	21.8	90	.	6.66
	3.00		.	21.3	"	20	10.00
	3.00		.	21.1	"	30	"
	3.30		757.2	20.7	95	10	"
	4.00		757.4	20.3	.	30	8.33
	3.00		757.5	20.2	.	40	"
	9.00	小雨	759.9	19.1	100	10	5.55
	3.00		759.8	19.3	.	340	7.69
9.2	10.00	降	759.7	19.8	.	10	"
	3.00	つ	759.5	20.3	89	20	"
	11.00	止	"	19.8	95	10	"
	3.00	ん	759.4	19.9	.	40	7.14
	12.00	止	"	20.0	"	.	5.55
	3.00	ん	759.1	.	89	30	5.88
	1.00		758.9	20.5	.	20	5.00
	2.00		758.7	.	.	60	"
	2.30		758.6	20.4	95	"	"

命中試験

射順	時刻	銃	種	銃ノ姿勢	撃別	銃身状態	発射弾数	標的	照準
1	10.30	正	番	輕三脚架(低)	單發	冷間	10	四米板	上
2						加熱後	90	右	2
3						同	90		
22	1.05		5	固有脚 銃身基部(尾筒附部) 銃身基部(尾筒附部) 力=7.8等寸射撃ス	"	冷間	10	九	
23						加熱後	90		
4						同	10		
5			6	輕三脚架(低)		冷間	10		
6						加熱後	90		
7						同	90		
29	1.50			固有脚 万力用比緯付	"	冷間	10		
30						加熱後	90	右	
31	2.00			万力除		同(引続)	10		
7	10.45	A	9	輕三脚架(低)		冷間	10		
8						加熱後	90		
9						同	90		
24	1.25			固有脚 万力用比緯付	"	冷間	10		
25						加熱後	90		
10						同	10		
11			12	輕三脚架(低)		冷間	10	九	
12						加熱後	90		
26	1.45			固有脚 万力用比緯付	"	冷間	10		
27						加熱後	90	右	
28				万力除		同(引続)	10		

昭和十年十一月八日 (晴)

於 富 津

平均	水平	公算	照準	射手	捕要
223.6	307.6	7.95	6.64	10.56	歩隊
162.6	299.6	14.15	7.30	15.92	石黒伍長
152.7	303.4	2.99	7.30	12.29	
158.4	240.9	13.19	8.16	15.51	吉川中佐
118.1	224.2	9.87	12.65	16.04	
249.9	195.1	10.23	12.41	20.19	
185.5	188.2	14.97	12.47	19.48	
192.2	190.9	14.08	16.13	21.41	小田一等兵
187.6	182.6	16.29	13.51	21.16	
197.1	167.4	25.04	8.55	24.79	
166.5	181.5	11.94	11.49	16.57	
146.9	80.2	11.67	24.45	27.09	
108.5	118.6	21.12	12.65	24.62	唐原一等兵
102.0	146.9	12.82	12.20	24.77	
95.6	129.4	23.91	18.21	30.05	吉川中佐
105.7	136.3	18.66	9.49	20.96	
180.8	249.6	6.59	9.73	11.75	
141.5	248.9	12.61	14.00	18.84	
128.8	249.1	9.44	8.50	12.70	石黒伍長
176.7	250.9	22.36	25.22	33.71	
140.7	257.6	10.66	14.51	18.01	
171.5	239.0	13.98	18.71	23.36	

射順	時刻	銃 区	砲 番号	銃, 姿勢	射撃別	銃身状態	発射弾数	標的	照準 上	照準 下
13	11.15			軽三脚架 (低)	単発	冷間	10 90	右	2	2
14						加熱後	10 90			
15			4714			同	10 90			
32				同		冷間	10 90		2	2
33						加熱後	10 90			
16	11.25					冷間	10 90			
17						加熱後	10 90			
18			20849	同		同	10 90			
34						冷間	10 90	左		
35						加熱後	10 90			
19	11.25					冷間	10 90			
20						加熱後	10 90			
21			8434	同		同	10 90			
36						冷間	10 90	右		
37						加熱後	10 90			
38	3.40	A	5	固有脚		冷間	10 90	左		
39						加熱後	10 90			
40	4.10	十一年式	8434	同		冷間	10 90			
41						加熱後	10 90			

平均長		公算距離		射撃	摘要
垂直	水平	垂直	水平		
224.5	186.0	12.29	14.97	19.37	小田一等兵
152.4	209.1	18.42	28.26	33.73	
152.9	193.0	9.12	12.47	15.45	
233.8	199.8	16.11	8.16	18.06	
146.5	179.9	8.91	12.38	15.25	唐原一等兵
236.2	167.0	8.73	9.62	13.07	
210.9	186.8	5.22	12.69	13.72	
199.8	194.9	9.84	10.42	14.33	
197.0	168.2	12.30	11.01	16.51	吉川中佐
183.9	179.3	14.68	16.44	18.61	
203.4	173.0	9.09	7.31	11.67	
147.6	159.3	9.44	19.92	22.04	
154.2	167.8	30.33	11.23	32.34	石黒伍長
269.3	177.0	20.00	14.75	24.85	
245.6	182.2	16.68	13.94	21.74	石黒伍長
230.0	230.7	16.57	16.13	23.12	
163.1	240.9	18.09	16.31	24.36	吉川中佐
185.5	174.5	7.04	7.93	10.60	
134.0	175.7	13.01	13.10	18.46	

小倉工廠の借用、検査用眼鏡=テ照準線、真横のミル=発射前、発射後、照準、変化ナキモ固有、照準、照門=テ照準スルハ熱、為陽炎甚シク照準困難ナリ

A号軽機関銃 寒気機能試験

冷凍準備	回次	第一次	第二次
	冷凍室へ天幕降架 ヲ入レテル時期 全上温度 供試銃、状態 供試銃、状態 其他	12月9日午前9時10分 -25°C 銃、内外、脂油分ヲ輕ク拭除ス 各彈倉=30発裝填彈込=入レ蓋閉メテ (16彈倉) 銃、結合、ニテテ、強ク復生ハ取リ掛ケテ	第一次試験終了後引銃ヲ 其條、状態=テ冷凍室=放置ス
試験	時期 温度	12月10日午後1時30分~2時 -30°C	12月12日午後2時~2時30分 -40°C
	成績	銃番号 9 10 11 12 良好 前装填=於テ引銃引テ引銃引テ後、 前進進レ送器入(解部復生ハ取リ掛ケテ) 良好 前装填=於テ引銃引テ引銃引テ後、 前進進レ送器入(解部復生ハ取リ掛ケテ) 良好 前装填=於テ引銃引テ引銃引テ後、 前進進レ送器入(解部復生ハ取リ掛ケテ)	遊底、送器、前進、不十分ナリ 即チ更ニ底面=更リテ遊底、前進、止ム 同上 良好 9、10号、ニテ=同レ
摘要	摘要	規格子分画、各銃共2.	規格、分、各銃共2.

昭和十一年十一月九日~十四日
於 科所冷凍室

試験官 { 河内大佐
吉須川中佐
須藤少佐

第三次
12月13日午前10時 -45°C 11号銃、銃、内外、脂油完全=拭除ス 12号銃、銃、遊底、送器其他内部=科研 (篠田中佐) 研究中、脂油充分塗布ス
12月14日午前10時~11時 -50°C
良好 規格分画、引銃引テ前進不足、引銃引テ方面ニト セバ可ナリ

部外秘

陸技壹銃要第一四號

昭和十一年十月
陸軍技術本部訓令

試製A號輕機關銃第五回命中試驗要領

第二章 試驗ノ目的

銃身加熱ニ伴フ彈着点降下ヲ防止スル目的ヲ以テ左記ノ如ク修正ヲ加ヘタル試製A號輕機關銃ニ就キ其ノ修正ノ適否ヲ檢セムトス

尙同時ニ十一年式輕機關銃ニ就キ同様ノ試驗ヲ實施シ參考ニ資セムトス

左記

一 多數彈ヲ牽射スルマ銃身尾筒瓦斯唧筒等ノ局部的膨脹ニ依リ銃身軸ノ変化ヲ来タストノ見解ニ基キ瓦斯唧筒ト尾筒トノ接合部ヲ緊密ナラシムル急遊隙部ヲ錐着セルモノニ銃身ノ着脱様式カ銃身ノ結合狀態ニ変化ヲ来タシムル原因トナルトノ見解ニ基キ銃身ヲ尾筒ニ固定セルモノ

三熱容量ヲ大ナラシメ且銃身振動ヲ軽減スル目的ヲ以テ銃身ノ肉厚ヲ増大セルモノ

第二 供試銃及彈藥
一試製A號輕機關銃

内訳

銃身ヲ尾筒ニ固定セル銃(内肉厚大ナルモノ) 一

尾筒ト瓦斯唧筒トヲ鋳著セル銃

二同銃ノ銃身(肉厚大ナルモノ)

三十一年式輕機關銃(新品)

全 右 (中古品)

四試製A號輕機關銃屬品及彈倉

五十一年式輕機關銃屬品及彈匣

六銃身軸検査銃

七命中用三脚架

七

三

四

三

四

四

若干

若干

二

二

第三 試驗ノ方法

命中試驗

左記ノ如キ命中射撃ヲ實施シ平均彈着点変移ノ景況ヲ調査ス

射距離 三〇〇米

射法

冷 間 一〇分

の外放射 九〇〃

直 後 一〇〃

銃ノ冷却ヲ待チテ三回復行

銃種

試製A號輕機關銃

1. 銃身ヲ尾筒ニ固定セルモノ

2. 全 肉厚ヲ増大セル銃身

3. 尾筒ヲ瓦斯唧筒ニ鋳著セルモノ

二

一

四

4. 全

肉厚ヲ増大セル銃身ト交換

三

5. 銃身ヲ尾筒ニ固定セル銃ハ更ニ尾筒ヲ瓦斯噴筒ニ鋳造シテ再射ス

十一年式輕機関銃

1. 新 品

四

2. 中古品

四

以上ノ命中試験ノ際銃身軸検査鏡ヲ用テ銃身軸変移ノ景況ヲ検査實射ノ成績ト對照調査ス

試験實施ノ予定 附表ノ如シ

第四 試験ノ期△及場所

本試験ハ昭和十年十二月三十一日ヨリ一月二十四日まで
四△間 富津射場ニ於テ實施ス

第五 試験員

陸軍砲兵大佐 河内権五郎
歩兵中佐 吉川喜芳
騎兵少佐 須藤研治

試製A號輕機関銃命中試験實施予定表

銃種 其ノ他		日			
		21日	22日	23日	24日
尾筒	銃身	射撃ノ方法			
員數	命中	命中	命中	命中	命中
1. 銃身固定	2	第一命中	10發	命中	命中
2. 同	1	の外放射	90發	命中	命中
3. 音通	1	50發連發命中	10發	命中	命中
4. 尾筒鋳造	3	命中	10發	命中	命中
5. 同	4	の外放射	90發	命中	命中
6. 銃身固定	2	90發連發命中	10發	命中	命中
7. 同	4	の外放射	90發	命中	命中
8. 新試製	1	命中	10發	命中	命中
9. 11号新品	4	第三命中	10發	命中	命中
10. 11号中古品	4	連發命中	100發	命中	命中
命中射撃実施予定回数		準	備	57回	55回
				20回	

命中射撃ハ其ノ平均彈着点及公算躲避ヲ調査シ比較研究ス

備考

1. 各銃共第一次第二次ノ命中射撃ヲ實施ス

2. 第三次命中射撃ハ彈着ノ降下量著シテ銃2挺ヲ決定シテ各銃1回宛實施ス

3. 銃種第1.2.3ノ銃ハ命中射撃終了後尾筒ヲ瓦斯噴筒ニ鋳造スルモノトス

4. 以上ノ外試験結果ニ依リ現地ニテ加修シ得ル程度ノモノハ修正ヲ加ヘ要ニ試験ヲ實施スルコトアルヘシ

5. 射距離ハ300mトス

月.日	時頃	時刻	銃番号	銃の状態	銃身		銃撃姿勢	射撃別	発射弾数	照尺
					番号	摘要				
12.22	11	11.32	12	尾筒瓦斯 明筒170弾 著々2発!	12		陸上脚架 (低)	單發	冷 10 放 射 90 加熱後 10	500
	12	36				(以下同)	(以下同)	冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	30	3.08						冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	31	10		同上	12			冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	32	13						冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	13	11.55	13	瓦斯明筒 彈着不 (新銃)	1	銃身止同銃 半同駐極式 (新)			冷 10 放 射 90 加熱後 10	800
	14	58						冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	33	2.20						冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	34	23		同上	1	同上		冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	35	27						冷 10 放 射 90 加熱後 10		
36	3.40	6		銃身尾筒 固定	6			3.4発弾着中波 の外5.6発連射入之 逐次繰返し銃身 120秒に弾を加熱 し弾着降下量 1発止	300	
12.23	1	9.22	10		4	肉厚大(新)			冷 10 放 射 90 加熱後 10	700
	2	26						冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	15	11.10						冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	16	14		4	同上		冷 10 放 射 90 加熱後 10			
	17	18						冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	3	9.39	10			長銃身 (銃身117/50 ^{mm} 長)			冷 10 放 射 90 加熱後 10	900
	4	43						冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	27	1.24						冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	28	26				同上		冷 10 放 射 90 加熱後 10		
	29	29						冷 10 放 射 90 加熱後 10		

照準差		平均		公算		距離		銃身軸検査鏡	照準差	射手
上	右	量直	水平	量直	水平	合	成	軸牌1長4200mm	軸牌1長4450mm	
2	2	239.3	241.8	10.73	9.69	14.46		約50mm上 1mm右へ	上下左右変化ナシ	吉川中佐
		205.7	221.7	6.99	16.25	17.69				
(X下回)		240.4	220.7	10.59	17.07	29.09				
		197.7	221.4	9.69	17.18	19.70				
		190.5	171.5	9.44	12.28	16.29		変化ナシ	変化ナシ	
		184.9	173.4	14.26	17.69	22.72		約40mm上 20mm右へ	変化ナシ	
		198.4	128.5	10.26	13.63	17.06				
		204.9	167.6	7.66	8.01	11.08				
		178.0	138.1	22.45	19.35	27.64				
		181.6	154.8	18.35	17.46	25.32		約20mm降下	変化ナシ	
		222.6	221.1	17.11	14.72	22.52				
		197.8	125.5	7.13	9.53	11.90		変化ナシ	変化ナシ	
		230.2	224.0	22.10	17.64	28.21				
		159.0	240.1	13.72	16.66	21.58		変化ナシ	変化ナシ	
		160.7	234.4	11.14	22.28	24.91				
		243.3	239.6	13.69	21.67	25.63				
		210.0	294.8	10.34	17.32	20.17		変化ナシ	変化ナシ	
		258.0	275.2	10.69	24.24	26.49				
		220.6	250.7	17.46	14.65	22.79				
		193.1	246.4	11.87	23.24	26.10		変化ナシ	変化ナシ	

月日	時刻	銃番号	銃の状態	銃の番号	銃の摘要	銃の型別	銃の弾数	銃の尺
5	2.51	6	尾筒瓦斯 射撃時 着て2分	6	銃身尾筒 固定式	軽口銃架 (低)	冷間 放熱 加熱後	10 90 10
6	55	6		6		(以下同)		300
18	11.29	6	同上	6	同上	(以下同)	冷間 放熱 加熱後 放熱 加熱後	10 90 10 90 10
19	31	6	同上	6	同上			同上
20	35	6	同上	6	同上			同上
7	10.05	5	同上	5	肉厚大		冷 放熱	10 90
8	08	5	同上	5	肉厚大		放熱	10
21	11.43	5	同上	5	同上		冷 放熱 放熱	10 90 10
22	46	5	同上	5	同上		放熱	10
23	49	5	同上	5	同上		放熱	10
12.23	9	9	同上	9	肉厚大 (新)		冷 放熱	10 90
10	28	9	同上	9	同上		放熱	10
24	1.07	9	同上	9	同上		冷 放熱 放熱	10 90 10
25	10	9	同上	9	同上		放熱	10
26	14	9	同上	9	同上		冷 放熱 放熱	10 90 10
27	2.04	9	同上	9	同上		放熱	10
37	7	9	同上	9	同上		冷 放熱 放熱	10 90 10
38	9	9	同上	9	同上		放熱	10
11	10.35	11	同上	11	同上		冷 放熱	10 90
12	29	11	同上	11	同上		放熱	10
20	1.37	11	同上	11	同上		冷 放熱 放熱	10 90 10
21	39	11	同上	11	同上		放熱	10
32	41	11	同上	11	同上		放熱	10

銃	銃	平均	平均	平均	平均	銃の検査結果	銃の検査結果	銃の検査結果
銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃
2	2	2393	2390	11.44	13.00	17.31	約1.10m降下	約40m降下
(以下同)	(以下同)	121.3	2448	14.88	15.50	21.49		
		250.3	223.1	16.36	12.03	20.31		
		111.1	221.8	13.08	17.85	22.13	約1.10m降下	約40m降下
		133.2	2390	10.16	19.25	21.77		
		192.8	185.2	8.09	9.78	12.69		
		129.1	178.9	10.62	10.60	15.00		
		186.0	195.7	12.55	16.95	21.09		
		138.9	194.8	17.00	11.90	20.75	約40m降下	約10m降下
		118.2	2190	14.65	26.20	30.02		
		221.2	228.6	8.38	14.15	16.45		
		168.3	211.2	14.83	16.43	22.13	変化ナシ	変化ナシ
		220.1	229.3	11.85	6.20	13.37		
		196.8	225.6	11.37	13.72	17.82	変化ナシ	変化ナシ
		148.3	230.3	13.76	15.82	20.97		
		177.1	274.6	17.99	12.85	22.01		
		160.9	261.4	15.60	7.23	17.19	約20m降下	変化ナシ
		151.1	234.7	17.00	22.77	28.42		
		191.7	196.9	17.73	14.54	22.93	変化ナシ	約10m上
		165.3	178.1	20.94	21.29	29.86		
		196.5	219.8	13.81	13.72	19.47		
		160.5	212.1	14.88	16.47	22.20		
		156.1	197.4	18.07	17.46	25.13	変化ナシ	変化ナシ

月・日	射順	時刻	銃種番号	銃の状態	銃身番号	射撃姿勢	射撃別	発射弾数	照尺
	7	10.18	十一年式	新銃	固有	軽三脚架	単発	冷放 10 熱放 90	300
	8	20	9560	新銃	固有	(低)	(以下同)	冷放 10 熱放 90	
	9	23				(以下同)	(以下同)	冷放 10 熱放 90	
	10	45		尾筒瓦斯 噴筒11号 着せし	2	普通		冷放 10 熱放 90	700
	11	48						冷放 10 熱放 90	
	12	51						冷放 10 熱放 90	
	19	11.36						冷放 10 熱放 90	
	20	38	10	同上	3	肉厚大		冷放 10 熱放 90	同上
	21	42						冷放 10 熱放 90	
	22	3.15						冷放 10 熱放 90	
	23	18		同上		長銃身		冷放 10 熱放 90	同上
12.24	24	21						冷放 10 熱放 90	1000
	13	11.02		尾筒瓦斯 噴筒11号 着せし	6	銃身尾筒 固定		冷放 10 熱放 90	300
	14	7						冷放 10 熱放 90	横丸
	15	10	6					冷放 10 熱放 90	
	25	3.33						冷放 10 熱放 90	
	26	36		同上	6	同上		冷放 10 熱放 90	300
	27	39						冷放 10 熱放 90	
	16	11.21						冷放 10 熱放 90	
	17	23	12	同上	12	普通		冷放 10 熱放 90	500
	18	26						冷放 10 熱放 90	
	28	3.48						冷放 10 熱放 90	
	29	56	13	瓦斯噴筒 尾筒1号 着せし	0	銃身止 固定		冷放 10 熱放 90	800
	30	59						冷放 10 熱放 90	

準 右	準 左	平均 値	平均 値	公 算 値	公 算 値	銃身軸検査銃-依準尺差 軸尺長200mm 軸尺長450mm	射手		
2	2	123.8 207.0	197.1 217.3	8.30 9.44 6.17 7.28	9.52 6.97 12.33 17.63	12.63 9.31 17.63	約20mm下 10°左へ	約10mm右へ	吉川中佐
(以下同)		50.0 56.2	205.0 201.8						
		207.0 112.4 188.1	217.3 158.0 212.7	8.91 9.44 10.43 11.33	9.64 10.96 14.35 18.28	13.13 15.13 18.28	約20mm右へ	約10mm上へ 20°左へ	
		244.3 185.7 164.5	232.3 261.3 245.5	14.52 11.31 14.52	6.68 16.41 10.96	15.98 19.93 18.19	変化ナシ	約10mm下へ	
		142.8 82.2 283.0	241.0 252.1 346.4	6.16 15.15 16.57	8.57 19.14 18.96	10.55 24.41 25.94	重複ナシ		
		227.2 111.4 92.0	213.4 216.3 234.3	9.38 9.44 9.44 3.79	10.00 16.20 12.76	13.71 25.40 13.68	約20mm下 40mm右へ	約50mm下へ 20°左へ	
		278.1 133.8 118.8	232.1 238.1 238.6	16.84 9.12 17.68	10.76 17.87 14.54	19.98 20.06 22.89	重複ナシ		
		215.7 189.2 172.8	232.1 203.6 201.4	11.44 11.22 12.55	7.95 6.13 14.47	13.93 12.77 19.15	約40mm下へ 30°左へ	約20mm下へ	
		234.5 216.7 195.5	146.4 161.6 163.9	9.00 18.75 12.38	11.12 17.39 15.06	14.65 25.57 19.50	重複ナシ		

氣象表

昭和十年
富津

月日	時刻	天候	気温℃	湿度%	風向	風速	
12.22	前 10.00	快	75.6.4	7.0	8.5	5	5.2.6
	11.00		75.6.0	7.6	7.9	5.0	6.2.5
	0.00		75.5.0	7.6	8.5	4.0	1.2.8
	1.00	晴	75.4.5	7.8	8.5	0	0.8.2
	2.00		75.3.4	8.7	7.9	0	0
	3.00		75.3.5	8.3	8.5	3.0	1.6.6
	4.00		75.4.0	8.5	8.5	7.0	0
12.23	前 9.00	快	76.3.7	4.4	6.2	0	5.0.0
	10.00		76.3.9	6.0	5.9	0	4.0.0
	11.00		76.3.8	6.9	5.6	5	5.0.0
	0.00	晴	76.3.5	7.3	5.6	7.0	2.5.0
	1.00		76.3.0	7.9	5.2	6.0	0
	2.00		76.3.0	7.9	5.2	7.0	0
	3.00		76.3.4	7.8	6.2	12.0	0
4.00	76.3.5	7.1	6.6	0	0		
12.24	前 9.00	快	76.5.4	3.3	8.2	9.0	3.2.2
	10.00		76.5.0	5.0	7.0	9.0	2.2.2
	11.00		76.4.6	5.8	7.1	5.0	0.7.5
	0.00	晴	76.4.0	6.1	6.5	3.0	3.3.3
	1.00		76.3.5	7.0	6.6	4.0	1.6.6
	2.00		76.3.5	8.2	6.2	1.5	4.1.7
	3.00		76.3.2	7.8	6.2	8.0	4.0.0
4.00	76.3.2	7.3	6.6	9.0	3.5.6		

陸軍技術要領

試製A號輕機関銃命中試験要領

昭和十一年一月
陸軍技術本部調製

第一 試験ノ目的

第五回命中試験ノ結果銃身加熱ニ伴フ彈着點降下ノ主ナル原因ト認メラルル矣ヲ捕捉シ得タルヲ以テ其ノ矣ニ更ニ完全ナル改修ヲ加ヘ其ノ成果ヲ確認セントス

第二 供試兵器及彈藥

試製A號輕機関銃

五

尾筒ト瓦斯唧筒トノ振着ヲ更ニ完全ニス

三八式銃実包

五〇〇〇発

第三 試験ノ方法

一、三百米ニ於テ左記ノ如キ命中射撃ヲ実施シ平均彈着點ノ変移ヲ調査ス

射法

冷間 單發 一〇發
 的 放射 九〇發
 直後 單發命中 一〇發
 二、實際的ニ人像的ヲ設置シ實際的射撃ヲ實施シ彈着修正ノ
 能否ヲ檢ス

第四 試驗ノ期日及場所

本試驗ハ昭和十一年一月十一日ノ西日陸軍富津射場ニ於
 テ實施ス

試驗員

陸軍砲兵大佐	河内 權五郎
陸軍砲兵中佐	吉川 喜芳
陸軍騎兵少佐	須藤 研治

部外秘

昭和十一年一月
陸軍技術本部訓令

第三回試製輕機関銃審査報告

部外秘

試製新様式輕機関銃審査ニ就テ

昭和十一年一月二十八日
陸軍技術本部

- 一 試製新様式輕機関銃（A號及B號銃）審査ノ判決経過及成績概要ハ別紙ノ如シ
- 二 右判決ニ基キA號輕機関銃ヲ試製九六式輕機関銃ト命名シ尔後次ノ如置ヲ採ル
- （一）十年度中ニ図面ノ整備ヲ完了ス
- （二）試験銃約一〇〇挺ヲ十一年度初頭ヨリ造兵廠及南部銃製作所ニテ製作ヲ開始シ十一年九月乃至十二月間毎月概テ平等ニ製作ス
- （三）試験銃ハ歩騎兵學校及北滿部隊ニ交付シ十一年度中ニ大規模ノ實用試験ヲ實施ス
- （四）試験銃ノ註文檢査試験實施等ハ技術本部担任ス

第三回試製輕機関銃 審査報告

判決

第三回試製輕機関銃（A號銃及B號銃）ハ各種試驗ノ成績ニ鑑ミルニA號銃ヲ採用スルヲ可トス

理由

試製A號輕機関銃ハ發射機能良好ニシテ重量輕ク相當ノ耐久性ヲ有シ銃身加熱ニ伴フ彈着點ノ降下モ解決シ得テ命中精度ヲ向上シ得タリ而シテ尚研究改善ヲ要スル處無キニ非スルモ更等ハ銃ノ根本的設計變更ヲ要スルヲ如キ事項ニ非ス然ルニ試製B號輕機関銃ハ發射機能概不良ナルモA號銃ニ比スレハ稍劣リ重量ハA號銃ニ比シ約一兩重ク主要部品（活塞遊底等）ノ耐久性亦十分ナラス命中精度ハA號銃ニ比シ稍優レルモ特ニ優秀トハ言ヒ難シ而シテ打殼藥莢ノ下方露出ハ銃手ニ依ル高射々撃ヲ殆ト不可能ナラシメ且輕三

部

試製新樣式輕機関銃審査ニ就テ

昭和一二・一・二八
陸軍技術本部

一試製新樣式輕機関銃（A號及B號銃）審査ノ判決經過及

脚架ノ使用ニ不利ナル点抄カラス從テ之等ノ改修所要事項
中ニハ銃ノ根本的設計變更ヲ要スルモノ抄シトセス故ニA
銃銃ヲ採用スルヲ可ナリト認ム

供 試 火 器

第三回試製A號輕機関銃

本銃ハ第二回試製輕機関銃甲號銃及乙號銃ノ審査成績
ニ基テ兩種銃ノ長所ヲ採リ當部ニ於テ設計シ株式公社
南部銃製作所ヲシテ試製セシメタルモノトス

試製B號輕機関銃

本銃ハ「チエツ」輕機関銃ノ様式ニ則リ當部ニ於テ設計シ
造火廠ニ於テ試製セシメタルモノトス

丙銃ノ諸元 附表第一ノ如シ

試験成績ノ綜合

一 審査ノ經過及成績ノ概要ハ附表第二ノ如シ

二 技術本部基礎試験北滿試験歩騎兵學校實用試験ノ成績ハ

附錄第一ノ如シ

十年六月以上ノ試験結果ヲ綜合シA號銃ヲ採用スルニ決シ

尔後實用試験ノ結果ニ基テ附錄第二ノ如ク修正ヲ行ヒ

十一年一月歩騎兵學校トノ實用試験ヲ實施シ之ニ基テ更ニ

附錄第三ノ如ク修正ヲ行フニ決シ審査ヲ終了セリ

依テ明年度試製スル輕機関銃ニ在リテハ總テ試験結果ニ基

テ改修意見ヲ充足ス

試製新様式輕機関銃審査ニ就テ

昭和十一年八月
陸軍技術本部

附表第一

試製輕機関銃諸元表

諸元	A 號 銃	B 號 銃
銃全長	一米一五〇 (原形30號短銃)	一米〇一五
銃身長	〇米五五〇	〇米五五〇
銃全重量	八磅〇〇〇	九磅二〇〇
銃身重量	一磅九四〇	二磅四〇〇
容 射 高	〇米三二〇—〇米二八〇	〇米三五五—〇米二九〇
後坐距離、長寸	〇米五五〇	〇米三二〇
後坐距離、抗力	七磅〇〇〇—三磅四〇〇	一三磅〇〇〇—四磅五〇〇
部 品 数	一四五箇	一二六箇

部 品 数

試製新樣式輕機関銃密査ニ就テ

昭和一、二、三、八
陸軍技術本部

一、試製新樣式輕機関銃（A 號及 B 號銃）密査、判決経過及

附錄一

李

第三回試験機開統審査経過、概要	昭和9年—同11年
試験日次	

廣陽縣志

試製新樣式輕機関錠留査ニ就テ

陸昭
軍技
術本
部

一、試製新樣式輕機關銃（A號及B號銃）審查，判決經過及

卷之六

四六

第三回試驗輕機関審査經過，概要

函数表第11

第三回 試製輕機關銃試驗綜合成績表

判	決	所見(統)
陸軍技術本部	而砲鏡共細部ニ於テハ研究改修ヲ要スル点多シカラズト雖モ技能概シテ良好モシテ命中精度又現制輕機銃ニ比シ若シキ煙色ナキヲ以テ尙実施學校ノ実用試驗ニ附シ実用ノ意見ヲ徵セントス	
陸軍歩兵學校	A日砲鏡共相當多數噴ク彈射スルトキハ彈道著シク低下(West Point)スルヲ以テ遠シク射撃ヲ改善シ実用試驗ヲ爲ス B砲鏡ハ性能良好ニシテ故障極少ナルヲ認ム C砲鏡ハ殆ト總無近シ然ルモ日砲鏡ハ機構若干A砲鏡ニ比シ簡便ナルモ重量アル部品ノ數極少ナルシテ各種ノ故障亦相當多ク且重量大ナルヲ以テA砲鏡式ヲ採用シ之レハ別項ノ改修ヲ加フルヲ建議トス A日砲鏡共ニ命中精度ヲ他一層向上スルト共ニ抗堪力ヲ増加スルヲ要ス	
陸軍騎兵學校	A日砲鏡開鏡六十度式ニ比シ輕便ナルヲ認メ取扱い易特ニ戰場ニ於ケル行動輕快ナルヲ共ニ實用ニ適スルヲ認ム 而シテ日砲鏡ハ結構機能不良シテ砲鏡部ニ條件ヲ擇リ著低下スル傾向アルモ他全般ノ成績良好ナルヲ以テ之ヲ暫ク保留ヲ修正スルヲ得ハ制式ヲ定ムルヲ可トス A砲鏡ハ全般ノ成績ハ日砲鏡ヲ稍カク劣ルモ日砲鏡ノ故障修正困難ナルヲ以テ制式ヲ定ムルヲ可トス 砲鏡部於ケル構造堅實困難ナルノ不利アルヲ以テ舊有數ノ増加ヨリコト不利ノ緩和ニ努ムルヲ要ス	
北滿冬季試驗	另選(T.O.P.N.G.)附近ニ於テ既ニ寒氣影響ヲ受ケル自前ノ機能円滑ノ缺點ヲ如シ更ニ改進スルヲ試驗スルハ非ハ實用ニ適否ヲ適確ニ判定セシム A砲鏡輕便シテ使用便ナルモ全般ノ性能ニ附シテ要ス	A日砲鏡共機能上ノ故障點有ラス然レトモ之等ノ故障點ニ要所影響ヲ依ルモノトハ即斷シ難シ且シ常溫ニ於テモ

川區撥款救濟災民

續卷之四

[illegible]

試製新樣式輕機関錠番査ニ就テ

陸昭
軍技一
術本二
部八

試製新様式輕機関銃審查ニ就テ

昭和二年
陸軍技術本部

度精中命	能機撃射種特	能機撃射
A号銃 現制銃ニ比シ大ナル爆色 ナキモ精効ル銃加給ニ伴 ヒ彈著漸次下降ス B号銃 現制銃ニ比シ單著連發 共300米ニ於テハ稍優シ	仰俯射 A概シテ良好 B概シテ良好 機射撃 A概シテ良好 B不 被込砂射撃 A概シテ可 B概シテ良好 冷凍室内射撃(100C) A良好 B不 不火射撃 A良好 B概シテ良好	
而銃共命中精度ノ向上ヲ要ス	砂地 A日露銃共防塵障壁又多少 ノ砂侵入ハ機能ニ差支ナシ 岩石地 A銃ハ可ナルモB銃ハ果実 跳ニヨリ絶對危險ヲトハ斷定 シ得ス 傾斜地 Aハ可ナルモBハ迅速ナル射 撃開始ニ不利 雨水 A日露銃共支障ヲ認メス	
概テ良好ナルモ銃ニ依リ 多少差異アリ又ハ日ハ極 米射撃ノ増加ニ伴ヒ彈著 低下シキ傾向アリ 機関射撃 序列 3.1. A 2. B 11. B		機関射撃後修正後故障 A号銃 B号銃 10.4 B号銃
		公若キニ突込及突込不足ヲ生 ルノミナラズA銃ニ反シ其 射撃能整齊ニシテ实用的 價值ハ概テ十分ナリ

能機撃射	見所	
全銃機能良好ナリ 全銃機能通シテ全銃故障 率0.32% 主ナル故障 装彈不良、突込、抽 不良、円筒駐止不良等 B號銃概シテ可ナリ 全銃機能通シテ全銃 故障率0.64% 主ナル故障 疏密不良、突込後機 足、裝彈不良、抽筒不 良等		陸軍技術本部
A號銃 機能良好ナリ 供試銃4ニ就テ機関射撃 中九回 主ナル故障 装彈不良、突込不良、突 円筒駐止不良 B號銃 各種射撃故障多 供試銃B號ニ就テ機関射撃 中五回 主ナル故障 疏密不良、突込後機 抽筒不良、不發等		陸軍歩兵學校
故障率生ハ共11.1%ニシ 機関射撃ノ程度輕 易ニシテ之ヲ除去簡易ナリ 特機ト入用シテ故障ノキ 原因ハ機能機能ニシテ 之ヲ修正ヨリ故障ノ著シク 減少シ得ベシ 特ニB號銃ハ機能機能不 良ニ基因スル故障ノ不發及 突込多ク後述スル如ク之ヲ 再改修ヲ爲サル限リ實用 ニ堪ヘス 故障回数(三銃平均) A号銃 B号銃 11.1% 17.50.18 (米射撃數不明)		陸軍騎兵學校
1. NO. A銃ニ於テ不發ヲ生シ 主ナル影響アリ 日露銃ニ比シ機能機能 高シキ機能機能ヲ著ス 但注油及手入れノ後故障ノ減 少シ得ル最後ノ果ハ突込ト 爲リ得シ 2. NO. A銃機関射撃ニ付 動カズ能ナラズシテ治癒 ヲ妨害セリ特ニ機能機能 2. 彈力著シキ機能機能 タルノミ 日露銃ニ比シ突込ノ治 癒ノ前進力弱ク突込不足 又機能機能機能ノ低下著 ナラス機能機能ヲ生セリ 第三次以降特ニ機能機能 於テ	生スヘキ故障ナルノミナラズ内地 ニ於ケル試験ノ場ノ相當表 損セリト思惟セラルルヲ以テ 特ニ勇進ノ低下少ク且命中耐 久性ニ關シテ十分ナル試験 ヲ實施シ得サリキ	北滿冬季試験

試製新様式輕機関銃留査ニ就テ

昭和二年二月
陸軍技術本部

射撃操作難易	携行 / 便否
A銃ハ日銃ニ比シ反動稍大ナルモ同機銃共床車ニ直線ト爲レルト重量ノ偏倚ナリ且握把ヲ附セルハ射撃時操作ヲ著シク便ナラシメタルモト認ム	高機銃共輕重量片ノキニテ携行時得ルヲ以テ極メテ便利ナラン
高射撃機銃アリテハ日銃ハ危險處上從來ノ如ク射撃ニ名ミテ射撃スル方法ハ安全困難ナラン	A. 輕重量シテ可ナリ但肩重當ル部介稍狭キヲ以テ肩ノ不安定思フ且前方ニテリ落カレ向アルナリ右手ノ操作稍多シ但士軍式ノ比ニハスレハ機銃少ナリハ機銃ナリ B. 輕重量シテスレハ9kg以内ト爲ス中又又機銃ノ角度愈トナリ右手ノ操作少シ機銃止ハ銃手ノ肩機銃ニ依リ機銃スルコトアリ握把ハ固定スルヲ可トス
高射撃機銃ニ對シテハ日銃ハ利アルモ尚次ノ如キ缺點アリ A. 脚銃 脚銃ノ回轉輕ニ矢ノ脚銃ノ固定ハ傾斜地ノ射撃並機銃ニ不便ナリ	高機銃共大便利ニシテ士軍式ニ比シ輕快ナル運動ニ適ス 本機銃有利ナル点 1. 射撃ノ行動輕快迅速ナルミナス左キニ機銃ヲ携行シ得 2. 肩重輕前進又後退ニ便ナリ 3. 機銃ノ射撃ニ實施シ得 高機銃ノ害 A. 脚銃 握把位置ハ銃ノ重心ニ一致セス B. 脚銃 握把ノ終始不良ニシテ手ヨリ抜ケ能ハスナリ
高射撃機銃アリテハ日銃ハA銃ノ如ク脚銃ヲ旋回シ得ルヲ可トス 踵銃ヲ機銃トセハ極メテ便利ナリ	A. 脚銃 銃ノ輕重量シテ操作便利ナリ B. 脚銃 A. 銃ニ比シテ

命中	精度	堅牢	性能	速度
陸軍技術本部 モ六〇米以上ニ於テハ大ナル差異ナシ	A. 機銃堅牢ニシテ重量上無異ナシ B. 主要部品耐久性十分ナク又銃身ノ命數短シ	A. 機銃堅牢ニシテ重量上無異ナシ B. 主要部品耐久性十分ナク又銃身ノ命數短シ	A. 機銃堅牢ニシテ重量上無異ナシ B. 主要部品耐久性十分ナク又銃身ノ命數短シ	A. 機銃堅牢ニシテ重量上無異ナシ B. 主要部品耐久性十分ナク又銃身ノ命數短シ
陸軍歩兵學校	A. 部品ハ一般堅牢ニシテモ引鉄部ノ堅牢性不十分ナリ又機銃ノ離脱スルモノハ一般堅牢性十分ナラス殊ニ円筒ノ如キ主要部品ノ製造ハ適當ナラス	A. 部品ハ一般堅牢ニシテモ引鉄部ノ堅牢性不十分ナリ又機銃ノ離脱スルモノハ一般堅牢性十分ナラス殊ニ円筒ノ如キ主要部品ノ製造ハ適當ナラス	A. 部品ハ一般堅牢ニシテモ引鉄部ノ堅牢性不十分ナリ又機銃ノ離脱スルモノハ一般堅牢性十分ナラス殊ニ円筒ノ如キ主要部品ノ製造ハ適當ナラス	A. 機銃堅牢ニシテ重量上無異ナシ B. 主要部品耐久性十分ナク又銃身ノ命數短シ
陸軍騎兵學校 基本射撃 序列 1. B 2. A 3. B	日可ナルモA. 一般部品稍薄弱 機銃ハ高射撃機銃度増加特ニ於テ然リ 損傷部品 A. 脚銃損傷 2. 治塞隆 鼻部損傷 1 用心鉄部損傷其ノ他 小部品離脱ス B. 銃身損傷機銃解 2 円筒折損 1 活塞損傷 1 油筒折損 1	日可ナルモA. 一般部品稍薄弱 機銃ハ高射撃機銃度増加特ニ於テ然リ 損傷部品 A. 脚銃損傷 2. 治塞隆 鼻部損傷 1 用心鉄部損傷其ノ他 小部品離脱ス B. 銃身損傷機銃解 2 円筒折損 1 活塞損傷 1 油筒折損 1	日可ナルモA. 一般部品稍薄弱 機銃ハ高射撃機銃度増加特ニ於テ然リ 損傷部品 A. 脚銃損傷 2. 治塞隆 鼻部損傷 1 用心鉄部損傷其ノ他 小部品離脱ス B. 銃身損傷機銃解 2 円筒折損 1 活塞損傷 1 油筒折損 1	A. 堅牢性全般約十分ニス B. 部品堅牢ナリ
北満冬季試驗	A. 堅牢性全般約十分ニス B. 部品堅牢ナリ	A. 堅牢性全般約十分ニス B. 部品堅牢ナリ	A. 堅牢性全般約十分ニス B. 部品堅牢ナリ	A. 堅牢性全般約十分ニス B. 部品堅牢ナリ

試製新様式輕機関銃審査ニ就テ

昭和二年一月二日
陸軍技術本部

易難、取扱入手並に理解機能機構	易難、作操本ルケ於外野ニ特合解
A、尾筒部ノ手入稍困難ナリ 特別ノ手入具ヲ要ス B、活塞頭部ノ手入稍困難ナリ	
共二十一年式ニ比シ容易ニシ テ日号ハA号ニ比シ更ニ容易ナリ	共二十一年式ニ比シ容易ニシ ニシテ特ニ野外ニ於ケル本 操作ハ簡易ナリ

易難、地利物	易難、育致射	易難、作操射	
脚ノ六端ヲ機型トシテハ地區 地利ノ利用射擊位置ヲ移 動等ヲ著シク有利ナラシム ニシ	射擊操作ノ便ト爲レルト 孔照門ノ採用著シク射 擊教育ヲ便ナラシムルナラ ン		陸軍技術本部
日号銃ハ傾斜地ニ於テハ迅速 ナル射擊開始困難ナリ A、日銃共地利ニ直接銃ヲ依 スルモ支障ナシ		固定ハ適當ナラズ 日照星覆ハ照準困難ナリ 又横桿脱落スルコト多シ	陸軍歩兵學校
日号銃ノ面脚ノ五行移動 及銃身軸ノ固定ハ傾斜地 ニ於テハ射擊ニ不 便 打散莖英ノ下方蹴出ハ特 ニ地形地利ノ利用上ニ都 合ナシ	明確ニ射撃シ難キモ揚銃照 準射擊特ニ故障豫防排 除等ノ諸操作ハ構造堅 確操作容易トナリシヲ以テ ニ射撃教育就中基 本教育ハ容易ナルヘシ	脚ノ平射時移動ハ傾 斜地ニ於ケル射撃ニ不 便ナリ 照星覆ハ近距離ニ於テ ハ射撃時薄暮煙中等 ノ照準困難ナリ 床尾板ノ経始不良又横 桿脱落シ易シ	陸軍騎兵學校
			北満冬季試験

試製新様式輕機関銃審查ニ就テ

昭和二年一月
陸軍技術本部

總數容收ノ倉彈及式樣、匣彈	否適、數倉彈	量動移、橫尺
彈匣ノ廢シ、彈倉ヲ輕量且低廉ナル物トシテ之ヲ消滅トシテ使用シ得ル如クス 現試製彈倉及彈匣ノ層輕量ニシ且其ノ構造及收容ノ容易ナラシムル事モ併セテ研究改善スルヲ要ス	彈匣ノ數ハ4箇ニテ可ナリ	左右五箇位ト爲ス可トス
彈匣ノ樣式ハ素直ニテハ構行ニ支障ナシ、且彈匣ノ構造ニテ適當ト認メ難シ形ヲ「スリ」製スル如ク型式トスルヲ可トス。彈匣ノ收容數ハ30ヲ可トスルカ如キモ研究ニ余地アリ 理由 携帶(荷重)時ノ際、彈匣ノ構造モ、ヨリモ平面部ヲ體ニテ樣式トスルヲ可ナリ 彈匣ノ收容數ハ携帶上ヨリハ30ヲ可トシ彈匣ノ構造ノ困難ヲ顧慮セハ4トスルヲ可トスルモ、重量若大ナルヲ以テ3箇トシ彈匣數ヲ増	彈倉數ハ2ニテハ不足ナリ少クモ現數ノ2倍ヲ彈倉トスル如ク思惟セラルルモ尙將來大ニ研究ニ余地アリ	現在ニテ可ナリ
彈匣ノ收容數ハ4トスルヲ可トスルモ、重量若大ナルヲ以テ3箇トシ彈匣數ヲ増	彈匣ノ收容數ハ4トスルヲ可トスルモ、重量若大ナルヲ以テ3箇トシ彈匣數ヲ増	彈匣ノ收容數ハ4トスルヲ可トスルモ、重量若大ナルヲ以テ3箇トシ彈匣數ヲ増

九

照尺距離	照門、夜光、清光、價値	照門、夜光、清光、價値	照門、夜光、清光、價値
	夜光、清光ハ其ノ心算、絕對的ナリサルモ之ヲ故クルヲ使トスルコトアリ之ヲ誤クルトセハ尙大キクスルヲ要ス	中徑ハ2.5mmヲ可トス3.0mmハ薄明時ニ於ケル照準稍容易ナリトモ精度不良ナリ	陸軍技術本部
1,500mニテ可ナリ	夜光、清光ハ其ノ心算、絕對的ナリサルモ之ヲ故クルヲ使トスルコトアリ之ヲ誤クルトセハ尙大キクスルヲ要ス	孔照門ハ可ナルモ薄明煙中、數動後、彈ノ射撃ニ於テ照準困難ナルヲ以テ之ヲ廢止シテ、照準ヲ容易ナラシムルヲ要ス	陸軍步兵學校
	夜光、清光ハ其ノ心算、絕對的ナリサルモ之ヲ故クルヲ使トスルコトアリ之ヲ誤クルトセハ尙大キクスルヲ要ス	孔照門ハ可ナルモ薄明煙中、數動後、彈ノ射撃ニ於テ照準困難ナルヲ以テ之ヲ廢止シテ、照準ヲ容易ナラシムルヲ要ス	陸軍騎兵學校
			北滿冬季試驗

試製新様式輕機関銃審査ニ就テ

昭和十一年八月
陸軍技術本部

品名	
	現制ニテ可ナリ

彈倉 實弾 容積	銃 側 於 =	銃 側 於 =	銃 側 於 =	銃 側 於 =	銃 側 於 =	銃 側 於 =
陸軍技術本部						
陸軍歩兵学校						
陸軍騎兵学校						
北満冬季試験						

3. 11
10.5
11
11

第三回 裁製輕機閉鏡試驗綜合結果ニ基キ改修セシ事項

一、銃ノ重量ヲ八磅以内トス	步	改正済	置
二、銃身加熱ニ因リ彈着降下防止	按歩	研究済	
三、銃身ノ駐止ハ更ニ確實ナラシム	歩	改正済	
四、發射速度ノ緩和	按	緩和シ得タリ	
五、抽筒子糸條ノ耐久性増加	按、北	増加セリ	
六、彈倉駐止ノ機能ヲ一層確實ニス	按	改正済	
七、彈倉駐止ノ把ニ凹形ノ窓ヲ穿ツ	按、騎北	改正済	
八、握把ノ位置ヲ銃ノ重バニ直接セシム	騎北	改正済	置
九、瓦斯噴筒ニ瓦斯逃ケヲ置ク	北	改正済	
一〇、脚ノ堅牢性増加	騎北	改正済	
一一、脚頭ノ旋回ヲ更ニ堅定ス	歩、騎北	改正済	置
一二、床尾ヲ約三〇センチ短縮ス	按	改正済	

試製新樣式輕機関錠審査ニ就テ

陸昭
軍技
術本
部

三 照門ハ薄明ノ場合ニ照準容易ナル如ク	騎	改正済
四 上方防楯板ハ開扉際シ夜間セリ如ク	歩北	改正済
五 負革翻環ノ位置ヲ下ク	騎	改正済
六 彈倉内ハ改彈ヲ見得ル如ク	騎北	改正済

附録第三

十一年一月最後ノ實用試験ニ基キ今後改修スヘキ事項

A 號ニ対スル改修事項	要否 見	処置
一 引鉄機能ヲ確實良好ニ堅牢性ヲ増ス	技歩北	軍装装置ヲ廢シ機能ヲ確實トス
二 銃子及同軸ノ發度増加	技	堅牢ニナシ得
三 尾筒ノ銃子通過ノ發度増加	技	全 右
四 活塞後部ノ堅牢性ヲ増ス	騎	全 右
五 山筒止ハ機能確實故障ナキモノトス	歩	改正シ得
六 横入ノ左右移動量ハ左右各五密位トス	歩	可能
七 照星ノ夜光劑ヲ更ニ明瞭トナス	歩騎	可能
八 彈倉ノ色ハ茶褐色トス	歩	可能

部

試製新様式輕機関銃審查ニ就テ

昭和十一年一月
陸軍技術本部

鄂
分
試製新様式輕機関銃審查ニ就テ

昭和
陸軍技術本部

めくれず

試製九六式輕機關銃改正事項

昭和十七年二月六日
陸軍技術本部

試製九六式輕機關銃（試製爲銃銃）改正事項次ノ如シ

- 1、制退裝置ヲ廢止シ銃劍ヲ裝着シ得ル如クスルコト。但シ規整子ノ分
量ニ關係セサル如クスルコト
- 2、銃身止駐栓ニ楔入スヘキ切削部ノ中徑ヲ大ニシ且前方ニ餘裕ヲ附ス
ル如クス
- 3、銃身止駐栓ノ把部ノ木ヲ「フアイバー」トシ尙照準ヲ妨害セサル如
クスルコト
- 4、銃身提把ノ位置ヲ轉下方ニシ且右耗後方ニスルコト
- 5、瓦斯噴筒ノ銃身托架ヲ波肉スルコト
- 6、規整子ヲ附銷銅トシ黃金色トス
- 7、消塵駐子ニ軸ヲ設クルコト
- 8、照準止メヲ附スルコト
- 9、門子蓋覆ヲ前方ニ屈折シ得ル如クスルコト

- 10、逆鉤ノ終始ヲ變ヘルコト
- 11、單發裝置ヲ廢止ス
- 12、彈倉止メノ窓ヲ小ニスルコト
- 13、彈倉口蓋ハ板金ニテ製作シ得ル如クス
- 14、標桿ノ莊子ヲ確實強固ニスルコト
- 15、取出窓ヲ大ニスルコト
- 16、抽筒子發條ノ衰損セサル如クスルコト
- 17、用心鐵ト銃床トノ結合部ヲ強固ニスル爲メ耗宛長クスルコト
- 18、照門ノ穴ヲ3耗ニスルコト
- 19、照門ノ移動量ヲ左右各6密位トシ目盛ハ0.5密トスルコト
- 20、照門ヲ移動スルニ「右ヘ」ノ號令ニテ把部ヲ右廻シ「左ヘ」ニテ把部ヲ左廻シニテ行ヒ得ル如クスルコト
- 21、照門ヲ移動スル把部ノ大サヲ大ニスルコト
- 22、照門ノ横表尺ノ部ヲ確實強固ニスルコト
- 23、横表尺ノ部ヲ圓形ニスルコト

- 24、照尺轉輪ノ幅ヲ大ニシ且強固ニスルコト
- 25、照尺坐ノ取付ヲ確實強固ニスルコト
- 26、照尺坐ノ高サヲ低クス
- 27、照星ノ夜光塗料ノ幅ヲ2耗トスルコト
- 28、右脚ヲ貫銃セル時脊ニ當ラサル様ニスルコト
- 29、脚頭ばねノ裝著法ヲ變更スルコト
- 30、前方貫革ノ纒環ノ位置ヲ尙少シ後方ニス
- 31、發射速度ハ規整子15ノ時30發ニテ秒、2耗ノ時3秒位ニスルコト
- 32、彈倉ヲ強固ニスル爲メ溝ヲ3條トスルコト、尙彈倉ハ茶褐色

(160名)
(140名)

昭和十一年二月八日

試製輕機關銃（見本トシテ提供セルモノ）ト試製九六式輕機關銃（第十三號銃）トノ異ナル點次ノ如シ

- 1、銃身ト尾筒トノ結合ヲ駐栓式ニ改ム
 - 2、尾筒ト瓦斯唧筒トノ結合ヲ螺着ヲ以テス
 - 3、用心鐵ト尾筒トノ結合ヲ蟻ヲ以テ挿入シタル後駐栓ヲ以テ結合ス
 - 4、脚頭部ヲ少シ變更ス
 - 5、引鐵機構ヲ少シ變更ス
 - 6、小螺子ヲ以テ結合セル部ヲ協力僅少ニス
- 尙其他ニ於テ小部分ニ改正ヲ行フ

めくれず

尚其計ニ付テ小部候事迄五ニ付テ

○小部千ニ以テ餘合ナハ部ニ附テ計也ニス

○○部總計ニ付テ變更ス

○○部總計ニ付テ變更ス

又

○小部千ニ以テ餘合ニ附テ計也ニ付テ變更ス

○小部千ニ以テ餘合ニ附テ計也ニ付テ變更ス

○小部千ニ以テ餘合ニ附テ計也ニ付テ變更ス

○小部千ニ以テ餘合ニ附テ計也ニ付テ變更ス

○小部千ニ以テ餘合ニ附テ計也ニ付テ變更ス

同部十一部二日八日

軍

試製九六式輕機關銃作業準備ニ就テ

技術本部

一 試製九六式輕機關銃ヲ昭和十二年度ヨリ整備ニ着手シ得ル爲別紙第一一技術本部擔任一及別紙第二一造兵廠擔任一ノ如ク準備ヲナスモノトス

二 別紙第一及別紙第二ノ業務實施ニ方リテハ技術本部及造兵廠ハ密接ナル連絡ヲ保持シ出來得ル限り互ニ其ノ成果ヲ利用シ得ル如ク努力スルモノトス

三 別紙第一及第二ハ作業準備ノ大綱ヲ示スモノユシテ第一項ノ主旨ニ反セサル範圍内ニ於テ業務ノ進捗ニ伴ヒ適宜變更スルモノトス

別紙第一

技術本部擔任ノ準備

陸軍

マ方 針

試製九六式輕機關銃ノ審查概々終了セシヲ以テ十一年度ニ於テ約百挺試製銃ヲ造兵廠及南部銃製作所ニ於テ製作シ大規模ノ實用試驗ヲ實施シ併セテ別紙第二造兵廠ノ準備ト連繫シ製造研究ヲ實施セントスルニ在リ

マ擔任箇所

技術本部、造兵廠及南部銃製作所協同擔任シ技術本部之カ統制ニ任スルモノトス
試製銃ハ造兵廠及南部銃製作所ニ於テ各約五〇挺ヲ製作スルモノトス

マ進捗豫定大綱

期 間	擔 任 箇 所	進 度
自昭和十一年二月 至全 三月	技術本部、南部銃 製作所、造兵廠	圖面、細目名稱表調製 現品研究

全	四月	技術本部、造兵廠	現品及圖面研究
全	五月	技術本部	試製銃注文
自全	十月	造兵廠、南部銃	試製一九月乃至十二月間
至全	十二月		彈道試驗 耐久試驗 北滿試驗 步騎兵學校實用試驗
自全	十月	技術本部	
至昭和十二年三月			

實施要領

- 1、三月末迄ニ技術本部ニ於テ圖面及細目名稱表調製
- 2、二月中旬造兵廠ニ第三次試製銃ニテ貸與
- 3、四月初旬假圖面及假細目名稱表ヲ造兵廠ニ交付
- 4、四月中旬技術本部、造兵廠、南部銃ノ當事者會合シ別紙第二第四項ニ關スル打合セヲ行フ
- 5、打合セノ結果ニ基キ圖面ヲ訂正シ五月初旬技術本部ヨリ造兵廠及南部銃ニ試製銃ヲ注文

陸軍

- 6、試製銃ニ必要ナル製作基準具ハ造兵廠ニ於テ設計シ技術本部製作ノ上所要箇所ニ交付
- 7、屬品像備品携行囊等審査未了ノモノハ銃本体ト同時ニ竣工シ得ル如ク技術本部ニ於テ擔任處置スルモノトス
- 8、試製銃ノ検査ハ技術本部ニ於テ實施ス

造兵廠擔任ノ準備

方針

技術本部ニ於テ審査セシ試製九六式輕機關銃ニ關シ主トシテ製造容易ニシテ部品ノ交換性ニ富ム精度良好ナルモノヲ製作セムトスル見地ヨリ更ニ徹底的ニ檢討研究シ一方技術本部受託注文ノ試作ヲ實施シツツ修正スヘキ點ハ十二分ニ之ヲ修正スヘキ手續ヲ爲シ昭和十二年度ヨリ各所ニ於テ實施スヘキ多量製作ニ支障ナカラシムル如ク當廠主動的立場ニ立チ製作圖、検査具、取付具及製造要領等ヲ定メントス

前項研究ニ方リテハ單ニ經始上ノ問題ニ止マラス使用材料ニモ之ヲ及ボスモノトス但シ實包ハ現制歩騎銃用ノモノヲ使用スルモ之カ變更ヲ要スル場合ニハ現制歩騎銃ニ使用セラルヘキモノタルコトヲ前提トスルモノトス

三擔任箇所

方針ニ示ス事項ハ名古屋工廠並小倉工廠及使用實包ノ關係上火工

廠ノ當事者之ヲ協同擔任シ造兵廠本部ニ在リテハ主トシテ技術部
 之カ統制ニ任シ常務的ニ處理スルモノトス但シ昭和十一年度技術
 本部受託注文ノ分ハ從來ノ試作品ニ準シ名古屋工廠及小倉工廠之
 ヲ擔任スルモノトス

進捗豫定大綱

方針ニ基キ之カ進捗ヲ豫定スルコト左ノ如シ

期 別	期 間	進 度
第 一 期	自昭和十一年二月 至同 四月	現品並圖面ノ研究
第二期以降	進捗ヲ定ム	

實施要領

イ、第一期 由二月
至四月

- 1、技術本部ヨリ現品ニ擬借用ス
- 2、二月中旬迄本部並火工廠ニ於テ現品ニ就キ研究ス
- 3、二月中旬工廠長會議ノ際工廠長ニ供覽ス

陸 軍

- 4、右終了後各一銃ヲ名古屋工廠及小倉工廠ニ送付ス
- 5、技術本部ヨリ圖面ヲ受領一三月末ト豫定ス一セハ工廠ハ備
ニ現品ニ就キ研究シタル所ニ基キ更ニ圖面ニ照シ再檢討ノ
上修正或ハ製造上統一ヲ要スル點等ヲ研究シ四月中旬迄兵
廠本部、火工廠、名古屋工廠及小倉工廠ノ當者會合シ打合
ヲ爲ス一技術本部當事者ノ會同ヲ求ム一
- 6、右打合ニ於テ協議スヘキ事項左ノ如シ
 - A、修正或ハ製造上統一ヲ要スル事項
 - B、製作圖面並其ノ擔任工廠ニ關スル事項
 - C、検査具設計並其ノ擔任工廠ニ關スル事項
 - D、取付具設計並其ノ擔任工廠ニ關スル事項
 - E、製造要領作成ニ關スル事項
 - F、昭和十一年度技術本部受託注文試作ニ關スル事項
 - G、右各項ニ基キ第二期以降進捗豫定ニ關スル事項
 - 7、右打合ニ基キ試作ニ關シテハ更ニ技術本部ト表向協議スル

モノトス

口、第二期以降（自五月）

第二期以降ノ進捗豫定大綱決定後定ム

めくれず

冷熱 = 北 初速偏差測定

17th Apr. 1936

射順	時分	銃番	彈種	落高	假速	平均	初速	銃身
1	1.55	No. 75 (08.65)	三八	348.1	686.9			1
2	2.00		八	348.7	685.5	686.2		
			銃	346.2	691.2			
			実	345.5	692.8	692.0		
			包	346.7	701.7			
3				346.7	690.1	691.2		
4	2.03			350.7	681.1			
				349.8	683.0	682.0		
5				345.8	692.1			
				345.7	692.3	692.2		
6				347.8	687.5			
				348.0	687.1	687.3		
7	2.05			345.3	693.3			
				"	693.3	693.3		
8				345.4	693.0	692.3		
				346.1	691.4			
9				344.8	694.4			
				343.8	696.8	695.6		
10				345.1	693.7			
				344.5	695.1	694.4		
11				343.4	697.7			
				342.0	701.0	698.8		
12				342.2	682.2			
				342.2	684.4	683.3		
13				343.9	696.5			
				343.2	698.2	695.4		
14				345.8	692.1			
				344.5	695.1	693.6		
15				340.4	704.8			
				337.9	706.0	705.8		
16				344.8	694.4			
				344.1	696.1	695.3		
17	2.13					(692.6)	速100	
				343.8	683.0		速100	
1	2.15			348.5	686.0	684.5	速100	
2	2.40						速100	
3	2.41			346.0	691.6		速100	
				345.8	692.1	691.7		
4				356.7	668.1			
				356.0	669.6	668.9		
5				356.0	669.6			
				355.0	671.7	670.7		
6				356.8	667.9			
				356.0	667.6	665.8		
7				350.8	680.8			
				350.0	682.6	681.7		
8				351.6	679.1			
				351.4	679.3	679.2		
9				349.7	683.3			
				350.0	682.6	683.0		
10				349.8	687.5			
				346.9	688.6	688.6		

射順	時分	銃番	彈種	落高	假速	平均	初速	銃身
11		No. 75 (08.65)	三八	346.4	690.7			
12			八	345.8	692.1	691.4		
			銃	349.1	684.6			
13			実	350.1	682.4	683.5		
			包	342.8	699.1			
14				341.7	701.7	700.5		
				347.9	687.3			
15				347.5	688.2	687.8		
				348.0	687.1			
16				347.9	687.3	687.2		
				349.9	682.8			
17				346.9	685.6	684.8		
				346.7	690.1	689.9		
18	2.33			347.8	687.5			
				348.2	686.6	687.1		
						(683.9)		

めくれず

冷熱 = 北 初速偏差測定

17th Apr. 1936

射順	時分	銃番	彈種	落高	假速	平均	初速	銃
1	1.55	16.75 (0.6.6)	三八	348.1	686.9	686.2		軍 1
2	2.00			348.7	685.5			
3				346.2	691.2			
4	2.03			345.5	692.8	692.0		
5				346.7	692.7			
6				346.7	690.1	691.2		
7				350.7	691.1			
8				347.8	683.0	682.0		
9				345.8	692.1			
10				345.7	692.3	692.3		
11				347.8	687.5			
12				348.0	687.1	687.3		
13	2.05			345.3	693.3			
14				345.4	693.3	693.3		
15				346.1	691.4	692.2		
16				344.8	694.4			
17				343.8	696.8	695.6		
18				345.1	693.7			
19				344.5	695.1	694.4		
20				343.6	697.7			
21				342.0	701.0	698.8		
22				342.2	682.2			
23				342.2	684.4	683.3		
24				343.9	696.5			
25				343.2	698.2	698.4		
26				345.8	692.1			
27				344.5	695.1	693.6		
28				340.4	704.8			
29				337.7	706.0	705.8		
30				340.8	694.4			
31				344.1	696.1	695.3		
32	2.13					(692.6)		連 100
33				347.8	683.0			軍 1
34	2.15			348.5	686.0	684.5		
35	2.40							連 100
36				346.0	691.6			軍 1
37	2.41			345.8	692.1	691.7		
38				356.7	688.1			
39				356.0	669.6	668.9		
40				356.0	669.6			
41				355.0	671.7	670.7		
42				356.8	667.9			
43				356.0	667.6	665.8		
44				350.8	680.8			
45				350.0	682.6	681.7		
46				351.6	679.1			
47				351.4	679.3	679.2		
48				347.7	683.3			
49				350.0	682.6	683.0		
50				347.8	687.5			
51				346.9	688.6	688.6		

100 發 50

No	年	月	日	午前	午後	時	分開始	分終了
天	候	目	米命中試験					
銃種	第	番	號	射距離	米			
照準點	上下	20						
照準點	左右	30						
射手	高	低	角					
氣	壓	射期	上	下	右	左	標的番號	
1	32		168					
2	160		202					
3	174		213				標的種類	
4	152		266					
5	74		405				銃依托法	
6	170		345					
7	252		335					
8	268		387				脚	種
9	268		377					
10	295		445					
11	288		172				射	法
12	302		258					
13	382		265					
14	323		310				發射彈數	
15	353		305					
16	385		360				試射、命中、	
17								
18								
19								
20								
總	計	389.8	477.3					
平	均	點	24.36	27.83				
平均點	ヲ	超過						
平均點	ヲ	超過						
平均點	ヲ	超過						
兩者	ノ	差	68.00	54.43				
平均點	ト	超過						
平均點	ヲ	超過						
兩者	ノ	差	67.96	54.41				
剩	餘	合	計	135.96	108.84			
平	均	餘	差				記表者	
公	算	餘	差	7.42	5.94			
合	成		9.50					

55.06 35.28

銃

めくれず

裏面白紙

冷熱 = 北 初速偏差測定

17th Ap. 1936

射順	時分	銃番	彈種	落高	假連	平均	市連	銃種
1	1.55	16.75 (02.65)	三八	348.1	686.9			軍1
2	2.00			348.7	685.5	656.2		
3				346.2	691.2			
4	2.03			345.5	692.8	692.0		
5				346.7	692.9			
6				346.7	692.9	691.2		
7	2.05			350.7	691.1			
8				347.8	683.0	682.0		
9				345.8	692.1			
10				341.7	692.3	692.3		
11				347.8	687.5			
12				348.0	687.1	687.3		
13	2.05			345.3	693.3			
14				"	693.3	693.3		
15				345.4	693.0			
16				346.1	691.4	692.3		
17				344.8	694.4			
18				343.8	691.8	695.6		
19				345.1	693.7			
20				344.5	695.1	694.4		
21				343.6	697.7			
22				342.0	701.0	699.4		
23				342.2	682.2			
24				342.2	684.4	683.3		
25				343.7	691.5			
26				343.2	698.2	698.4		
27				345.8	692.1			
28				344.5	695.1	693.6		
29				340.4	704.8			
30				337.7	706.0	705.8		
31				344.8	694.4			
32				344.1	696.1	695.3		
33	2.13					(692.6)		100
34				347.8	683.0			軍1
35	2.15			348.5	686.0	684.5		
36	2.40							100
37	2.41			346.0	691.6			軍1
38				345.8	693.1	691.9		
39				356.7	688.1			
40				356.0	669.6	668.9		
41				356.0	669.6			
42				355.0	671.7	670.7		
43				356.8	667.9			
44				356.0	667.6	665.8		
45				350.8	680.8			
46				350.0	682.6	681.7		
47				351.6	679.1			
48				351.1	679.3	679.2		
49				349.7	683.3			
50				350.0	682.6	683.0		
51				347.8	687.5			
52				346.9	687.6	688.6		

100發	
No	年 月 日
天 候	回 目
銃 種 第 番 號	照 尺 距 離 (射 角)
溫 度	射 手
氣 壓	射 順
濕 度	上 下
風 向	1 32
風 速	2 160
米	3 174
實 製 香	4 152
包 種 類	5 74
造 號	6 170
年	7 252
月	8 268
日 號	9 268
總 計	10 295
平 均 點	11 288
平 均 點 不 超 過 積	12 302
平 均 點 不 超 過 積	13 302
平 均 點 不 超 過 積	14 323
平 均 點 不 超 過 積	15 353
兩 者 差	16 385
平 均 點 不 超 過 積	17
平 均 點 不 超 過 積	18
平 均 點 不 超 過 積	19
平 均 點 不 超 過 積	20
兩 者 差	389.8
剩 餘 合 計	24.36
公 算 餘 差	68.00
合 成	67.96
公 算 餘 差	135.96
合 成	7.42

55.06

冷 習	
No	年 月 日
天 候	回 目
銃 種 第 番 號	照 尺 距 離 (射 角)
溫 度	射 手
氣 壓	射 順
濕 度	上 下
風 向	1 188
風 速	2 232
米	3 297
實 製 香	4 310
包 種 類	5 345
造 號	6 312
年	7 336
月	8 345
日 號	9 404
總 計	10 315
平 均 點	11 350
平 均 點 不 超 過 積	12 384
平 均 點 不 超 過 積	13 390
平 均 點 不 超 過 積	14 438
平 均 點 不 超 過 積	15 472
兩 者 差	16 346
平 均 點 不 超 過 積	17
平 均 點 不 超 過 積	18
平 均 點 不 超 過 積	19
平 均 點 不 超 過 積	20
兩 者 差	546.4
剩 餘 合 計	383.5
公 算 餘 差	23.97
合 成	40.05
公 算 餘 差	41.57
合 成	40.05
公 算 餘 差	80.10
合 成	83.16
公 算 餘 差	4.37
合 成	4.54

19.10

20.61

裏面白紙

[Faint, illegible text on the left page, possibly a list or table of contents]

[Faint, illegible text on the right page, possibly a list or table of contents]

